

# 出雲神庭荒神谷遺跡 第2冊

(発掘調査報告 図版編)

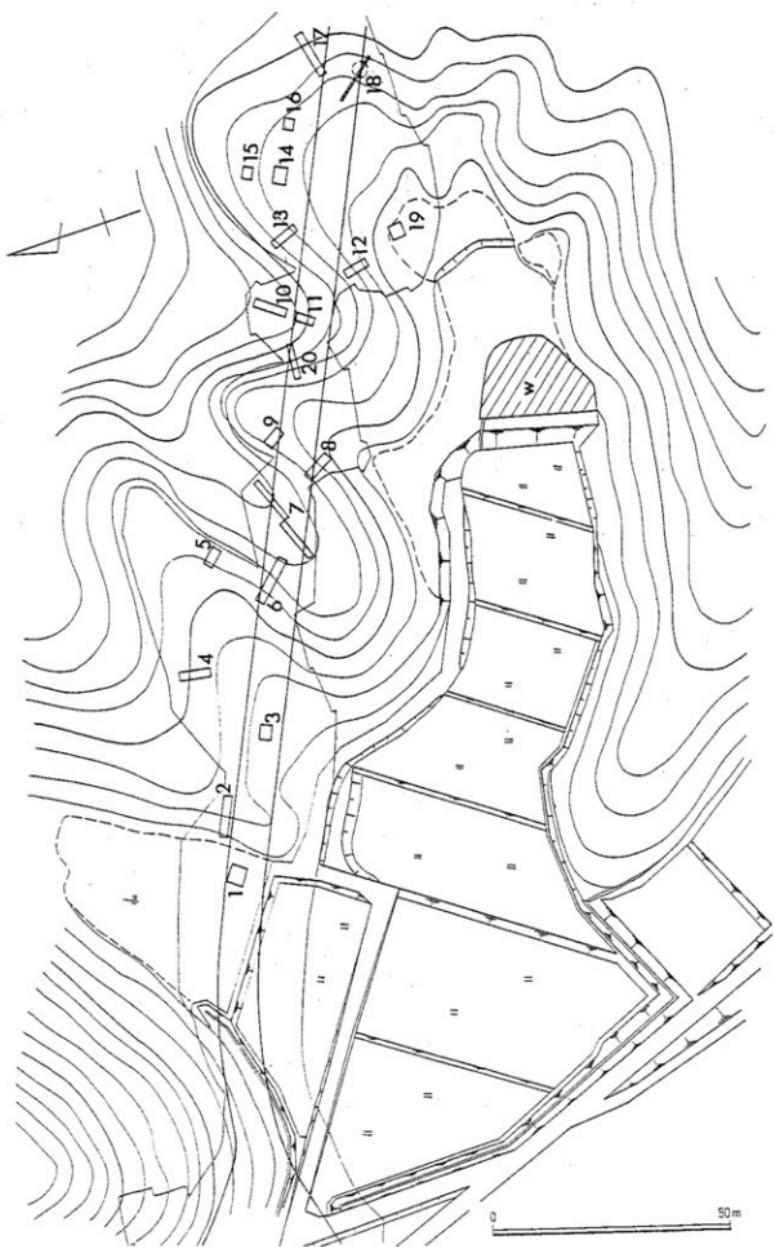
1996年

島根県教育委員会

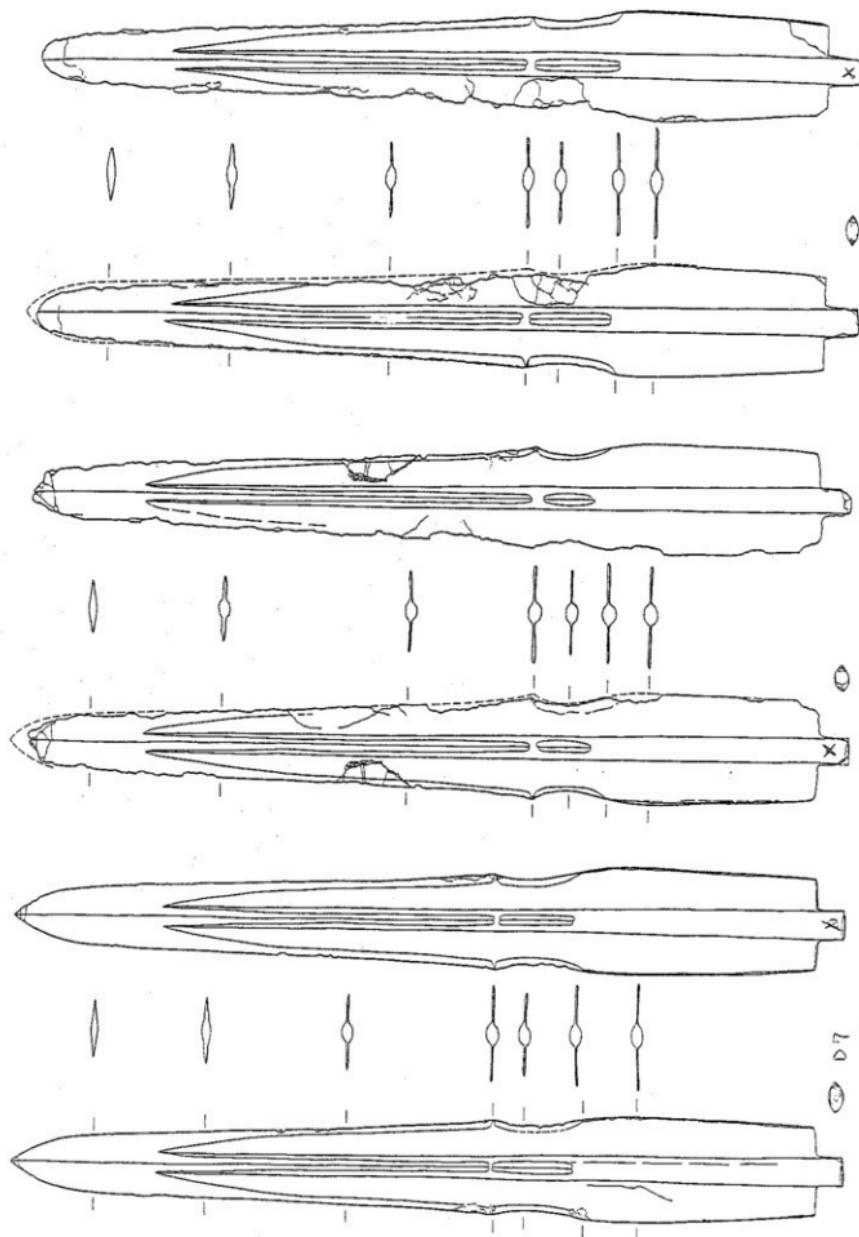
以下を補足してください。

農道建設予定地と試掘調査箇所

図版2



図版127 D7 X印のものれ



# 出雲神庭荒神谷遺跡

## 第2冊

### 図版編目次

- |  |                                   |
|--|-----------------------------------|
| 図版 1 荒神谷遺跡周辺の地形                        | (正面から)                            |
| 図版 2 農道建設予定地と試掘調査箇所                    | 図版 27 銅鐸・銅矛取り上げ直後の埋納坑の<br>状況      |
| 図版 3 第1~7試掘坑土層図                        | 図版 28 銅鐸・銅矛埋納坑(完掘後の状況)            |
| 図版 4 第8試掘坑銅剣発見位置と土層断<br>面図             | 図版 29 1986年度調査 谷底部溝状遺構            |
| 図版 5 第9~20試掘坑土層図                       | 図版 30 1986年度調査 谷底部土層図             |
| 図版 6 年度別調査区位置図                         | 図版 31 1988年度調査箇所と土層断面図            |
| 図版 7 1984年度調査前地形図及び調査範<br>囲            | 図版 32 1989年度調査箇所と土層図および<br>拡張部平面図 |
| 図版 8 銅剣埋納坑上層の土器出土状況                    | 図版 33 1990年度調査箇所                  |
| 図版 9 加工段上面の焼土と炭化物                      | 図版 34 1990年度トレンチ土層断面図(1)          |
| 図版 10 加工段と埋納坑覆土上面のピット                  | 図版 35 1990年度トレンチ土層断面図(2)          |
| 図版 11 銅剣埋納坑覆土(黄白色粘質土)の<br>検出範囲         | 図版 36 銅剣(A1・A2・A3)                |
| 図版 12 銅剣出土状況(写真測量図)                    | 図版 37 銅剣(A4・A5・A6)                |
| 図版 13 銅剣埋納坑と銅剣出土状況                     | 図版 38 銅剣(A7・A8・A9)                |
| 図版 14 銅剣配列状況(A列)                       | 図版 39 銅剣(A10・A11・A12)             |
| 図版 15 銅剣配列状況(B列)                       | 図版 40 銅剣(A13・A14・A15)             |
| 図版 16 銅剣配列状況(C列)                       | 図版 41 銅剣(A16・A17・A18)             |
| 図版 17 銅剣配列状況(D列)                       | 図版 42 銅剣(A19・A20・A21)             |
| 図版 18 1984年度調査区地形測量図                   | 図版 43 銅剣(A22・A23・A24)             |
| 図版 19 1984年度調査区土層堆積状況                  | 図版 44 銅剣(A25・A26・A27)             |
| 図版 20 銅剣埋納坑底面                          | 図版 45 銅剣(A28・A29・A30)             |
| 図版 21 銅鐸・銅矛 <sup>さめつる</sup> 埋納坑の埋土検出状況 | 図版 46 銅剣(A31・A32・A33)             |
| 図版 22 銅鐸・銅矛埋納坑土層図                      | 図版 47 銅剣(A34)                     |
| 図版 23 銅鐸・銅矛埋納坑土層図・ピット断<br>面図           | 図版 48 銅剣(B1・B2・B3)                |
| 図版 24 埋納坑および銅鐸・銅矛出土状況                  | 図版 49 銅剣(B4・B5・B6)                |
| 図版 25 銅鐸・銅矛の出土状況(側面から)                 | 図版 50 銅剣(B7・B8・B9)                |
| 図版 26 埋納坑および銅鐸・銅矛出土状況                  | 図版 51 銅剣(B10・B11・B12)             |
|  | 図版 52 銅剣(B13・B14・B15)             |
|  | 図版 53 銅剣(B16・B17・B18)             |

- 图版 54 铜劍 (B19 · B20 · B21)  
图版 55 铜劍 (B22 · B23 · B24)  
图版 56 铜劍 (B25 · B26 · B27)  
图版 57 铜劍 (B28 · B29 · B30)  
图版 58 铜劍 (B31 · B32 · B33)  
图版 59 铜劍 (B34 · B35 · B36)  
图版 60 铜劍 (B37 · B38 · B39)  
图版 61 铜劍 (B40 · B41 · B42)  
图版 62 铜劍 (B43 · B44 · B45)  
图版 63 铜劍 (B46 · B47 · B48)  
图版 64 铜劍 (B49 · B50 · B51)  
图版 65 铜劍 (B52 · B53 · B54)  
图版 66 铜劍 (B55 · B56 · B57)  
图版 67 铜劍 (B58 · B59 · B60)  
图版 68 铜劍 (B61 · B62 · B63)  
图版 69 铜劍 (B64 · B65 · B66)  
图版 70 铜劍 (B67 · B68 · B69)  
图版 71 铜劍 (B70 · B71 · B72)  
图版 72 铜劍 (B73 · B74 · B75)  
图版 73 铜劍 (B76 · B77 · B78)  
图版 74 铜劍 (B79 · B80 · B81)  
图版 75 铜劍 (B82 · B83 · B84)  
图版 76 铜劍 (B85 · B86 · B87)  
图版 77 铜劍 (B88 · B89 · B90)  
图版 78 铜劍 (B91 · B92 · B93)  
图版 79 铜劍 (B94 · B95 · B96)  
图版 80 铜劍 (B97 · B98 · B99)  
图版 81 铜劍 (B100 · B101 · B102)  
图版 82 铜劍 (B103 · B104 · B105)  
图版 83 铜劍 (B106 · B107 · B108)  
图版 84 铜劍 (B109 · B110 · B111)  
图版 85 铜劍 (C1 · C2 · C3)  
图版 86 铜劍 (C4 · C5 · C6)  
图版 87 铜劍 (C7 · C8 · C9)  
图版 88 铜劍 (C10 · C11 · C12)  
图版 89 铜劍 (C13 · C14 · C15)  
图版 90 铜劍 (C16 · C17 · C18)  
图版 91 铜劍 (C19 · C20 · C21)  
图版 92 铜劍 (C22 · C23 · C24)  
图版 93 铜劍 (C25 · C26 · C27)  
图版 94 铜劍 (C28 · C29 · C30)  
图版 95 铜劍 (C31 · C32 · C33)  
图版 96 铜劍 (C34 · C35 · C36)  
图版 97 铜劍 (C37 · C38 · C39)  
图版 98 铜劍 (C40 · C41 · C42)  
图版 99 铜劍 (C43 · C44 · C45)  
图版 100 铜劍 (C46 · C47 · C48)  
图版 101 铜劍 (C49 · C50 · C51)  
图版 102 铜劍 (C52 · C53 · C54)  
图版 103 铜劍 (C55 · C56 · C57)  
图版 104 铜劍 (C58 · C59 · C60)  
图版 105 铜劍 (C61 · C62 · C63)  
图版 106 铜劍 (C64 · C65 · C66)  
图版 107 铜劍 (C67 · C68 · C69)  
图版 108 铜劍 (C70 · C71 · C72)  
图版 109 铜劍 (C73 · C74 · C75)  
图版 110 铜劍 (C76 · C77 · C78)  
图版 111 铜劍 (C79 · C80 · C81)  
图版 112 铜劍 (C82 · C83 · C84)  
图版 113 铜劍 (C85 · C86 · C87)  
图版 114 铜劍 (C88 · C89 · C90)  
图版 115 铜劍 (C91 · C92 · C93)  
图版 116 铜劍 (C94 · C95 · C96)  
图版 117 铜劍 (C97 · C98 · C99)  
图版 118 铜劍 (C100 · C101 · C102)  
图版 119 铜劍 (C103 · C104 · C105)  
图版 120 铜劍 (C106 · C107 · C108)  
图版 121 铜劍 (C109 · C110 · C111)  
图版 122 铜劍 (C112 · C113 · C114)  
图版 123 铜劍 (C115 · C116 · C117)

- |                           |                                     |
|---------------------------|-------------------------------------|
| 図版124 銅劍 (C118・C119・C120) | 図版159 4号銅鐸                          |
| 図版125 銅劍 (D1・D2・D3)       | 図版160 5号銅鐸                          |
| 図版126 銅劍 (D4・D5・D6)       | 図版161 6号銅鐸                          |
| 図版127 銅劍 (D7・D8・D9)       | 図版162 銅矛 (1号・2号)                    |
| 図版128 銅劍 (D10・D11・D12)    | 図版163 銅矛 (3号・4号)                    |
| 図版129 銅劍 (D13・D14・D15)    | 図版164 銅矛 (5号・6号)                    |
| 図版130 銅劍 (D16・D17・D18)    | 図版165 銅矛 (7号・8号)                    |
| 図版131 銅劍 (D19・D20・D21)    | 図版166 銅矛 (9号・10号)                   |
| 図版132 銅劍 (D22・D23・D24)    | 図版167 銅矛 (11号・12号)                  |
| 図版133 銅劍 (D25・D26・D27)    | 図版168 銅矛 (13号・14号)                  |
| 図版134 銅劍 (D28・D29・D30)    | 図版169 銅矛 (15号・16号)                  |
| 図版135 銅劍 (D31・D32・D33)    | 図版170 その他の遺物                        |
| 図版136 銅劍 (D34・D35・D36)    | 図版171 島根県内出土の銅劍 (伝竹矢・伝島根・竹田・横田八幡宮)  |
| 図版137 銅劍 (D37・D38・D39)    | 図版172 県内出土の銅劍 (志賀奥1~3号)             |
| 図版138 銅劍 (D40・D41・D42)    | 図版173 県内出土の銅劍 (志賀奥4~6号)             |
| 図版139 銅劍 (D43・D44・D45)    | 図版174 中四国地方出土の関連銅劍(新莊波介・イヅチ頭・西大路土居) |
| 図版140 銅劍 (D46・D47・D48)    | 図版175 中四国地方出土の関連銅劍(瓦谷1~4号)          |
| 図版141 銅劍 (D49・D50・D51)    | 図版176 中四国地方出土の関連銅劍(瓦谷5~7号)          |
| 図版142 銅劍 (D52・D53・D54)    | 図版177 中四国地方出土の関連銅劍 (源田)と銅矛 (瓦谷)     |
| 図版143 銅劍 (D55・D56・D57)    | 図版178 県内出土の銅鐸 (志賀奥1号)               |
| 図版144 銅劍 (D58・D59・D60)    | 図版179 県内出土の銅鐸 (志賀奥2号)               |
| 図版145 銅劍 (D61・D62・D63)    | 図版180 県内出土の銅鐸 (伝出雲)                 |
| 図版146 銅劍 (D64・D65・D66)    | 図版181 県内出土の銅鐸 (伝熊野)                 |
| 図版147 銅劍 (D67・D68・D69)    | 図版182 県内出土の銅鐸 (中野1号)                |
| 図版148 銅劍 (D70・D71・D72)    | 図版183 伝徳島県脇町出土銅鐸                    |
| 図版149 銅劍 (D73・D74・D75)    | 図版184 鑄造実験石型取り出し後と研磨後               |
| 図版150 銅劍 (D76・D77・D78)    | 図版185 鑄造実験砂 (土) 型取り出し後と研磨後          |
| 図版151 銅劍 (D79・D80・D81)    | 図版186 鑄造実験砂 (土) 型甲張り落とし後と研磨後        |
| 図版152 銅劍 (D82・D83・D84)    |                                     |
| 図版153 銅劍 (D85・D86・D87)    |                                     |
| 図版154 銅劍 (D88・D89・D90)    |                                     |
| 図版155 銅劍 (D91・D92・D93)    |                                     |
| 図版156 1号銅鐸                |                                     |
| 図版157 2号銅鐸                |                                     |
| 図版158 3号銅鐸                |                                     |

## 凡　例

- 1 本書は、出雲神庭荒神谷遺跡発掘調査報告書の第2冊図版編である。
- 2 本書には、神庭荒神谷遺跡出土青銅器のほか、島根県内出土銅剣・銅鐸、中国四国地方の中細形銅剣のうち、一部について掲載した。島根県内の銅鐸については、実測図のあるものについて、中国四国地方の銅剣については、神庭荒神谷遺跡の報告書作成事業に伴い実測したもの、あるいはこの事業を委嘱した調査員が実測していたものを本人の了解を得て掲載したが、整理期間の問題から掲載を断念したものも多い。
- 3 神庭荒神谷遺跡出土銅剣の実測は島根県埋蔵文化財調査センター・島根県古代文化センターの職員のほか、岩永省三、吉田 広、金津まり子、津森真弓、永島いずみ、佐藤綾子、中村陵子、高山 剛、田中昭久、矢野克治が行い、銅剣の計測表の中に各々の実測者名を明記した。銅矛、銅鐸はすべて柳浦俊一が実測し、その他の遺物については堀江五十鈴、津森真弓、金津まり子が実測した。

また、神庭荒神谷遺跡以外の青銅器の実測者あるいは出典は次のとおりである。

伝竹矢・伝島根銅剣・瓦谷銅矛 足立克己 竹田銅剣 岩永省三、堀江五十鈴

横田八幡宮銅剣 勝部 昭、金津まり子 志谷奥銅剣 永島いずみ、佐藤綾子

新莊波介・瓦谷銅剣 吉田 広、足立克己、松本岩雄

イヅチ頭・西大路上井・源田銅剣 吉田 広

志谷奥銅鐸『志谷奥遺跡』鹿島町教育委員会 1976年

伝出雲銅鐸 春成秀爾「最古の銅鐸」『考古学雑誌』70-1 1984年

伝熊野銅鐸 勝部 昭「出雲・隱岐発見の青銅器」『古文化談叢』8 1981年

中野1号銅鐸 三木文雄『日本出土青銅器の研究』1995年

伝徳島県脇町銅鐸 柳浦俊一

鋳造実験銅剣 吉田 広、金津まり子、佐藤綾子、村田裕一

- 4 本書に掲載した地形図や遺構図は、必要に応じて縮率を変えており、縮尺を統一していないが、出土遺物については、基本的に銅剣1/3、銅鐸2/5、銅矛1/4に統一した。ただし、銅鐸の一部については1/3ないし1/4に縮小した。また、その他の遺物は土器を1/3、石製品を1/2とした。
- 5 神庭荒神谷遺跡出土青銅器については各図面の前ページに個々の計測表並びに観察表を載せた。各青銅器の計測位置は右図のとおりである。

- 6 神庭荒神谷遺跡出土銅剣実測図（図版36～図版155）の配列は、銅剣の保管・管理状況を把握し易くするために、収納箱内の配列と同じにした。

- 7 神庭荒神谷遺跡出土銅剣実測図では、欠損部分と鉤掛けを区別するため、両者を次のようにそれぞれ別の網目で表現した。

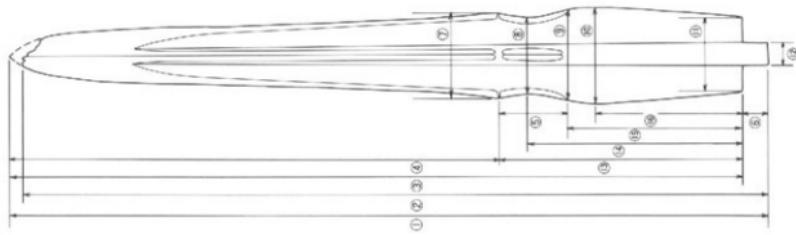
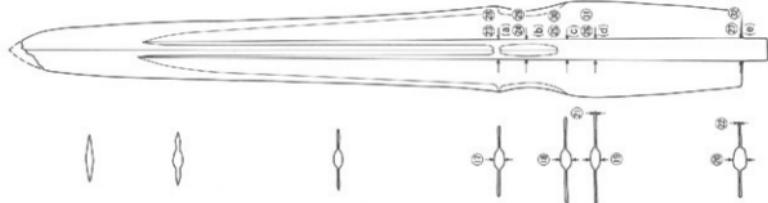
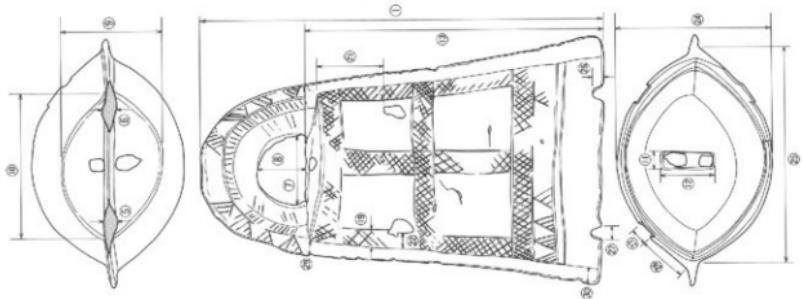
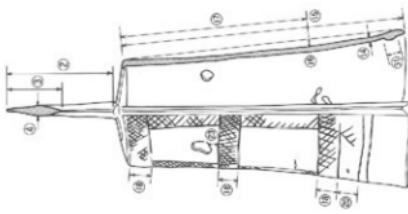


欠損



鉤掛け

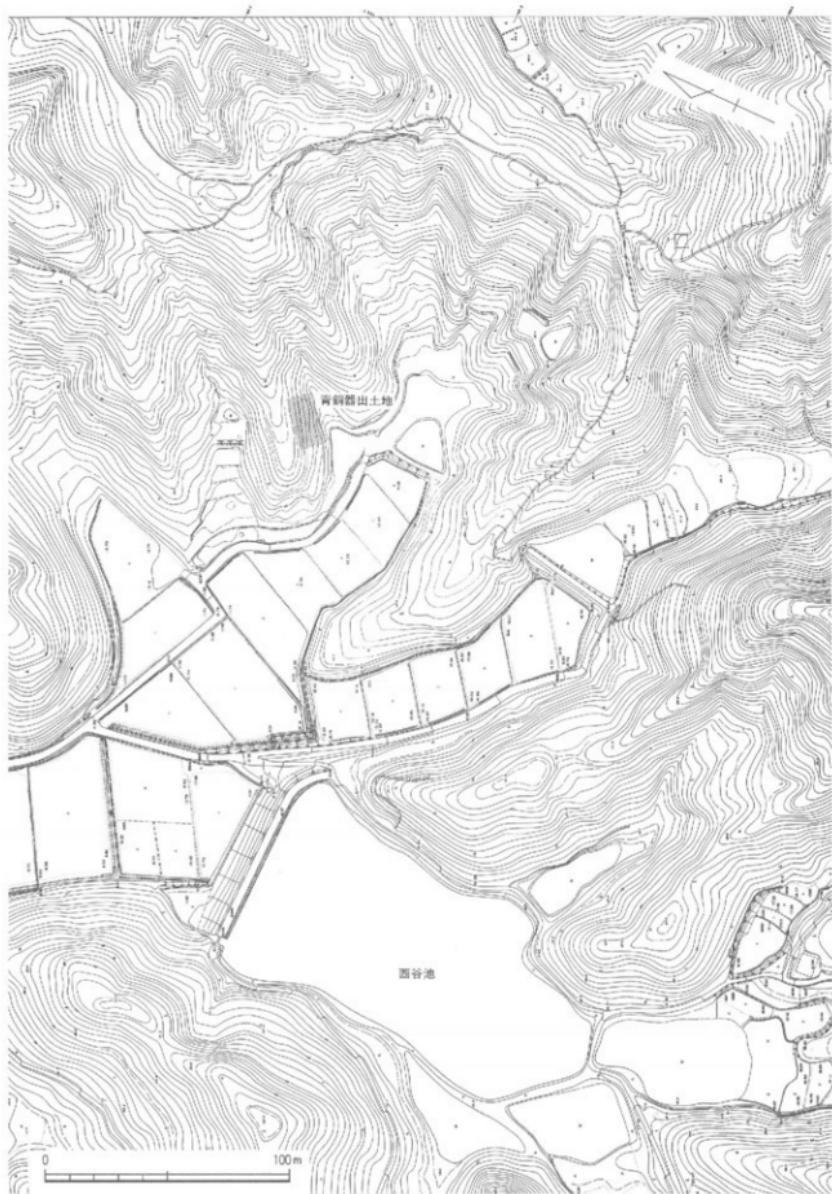
- 8 神庭荒神谷遺跡出土銅剣の計測表のうち、「分類」は第1冊第2部第5章第1節(2)で行ったクラスター分析に基く分類を指す。「色調」は財団法人日本色彩研究所監修、日本色研事業株式会社発行の『Color System』のうち、「マンセルカラーシステム」の色相記号で表示した（銅鐸・銅矛の表中の「色調」も同様）。また、「復」は復元、「推」は推定、「平」は平均値をそれぞれ表わしている。遺存状態のI～IVは保存修理以前の劣化ランクイング（第4冊参照）を意味している。なお、銅の蛍光X線の欄の「色調」は第3部第2章の銅の調査の報告に基いている。

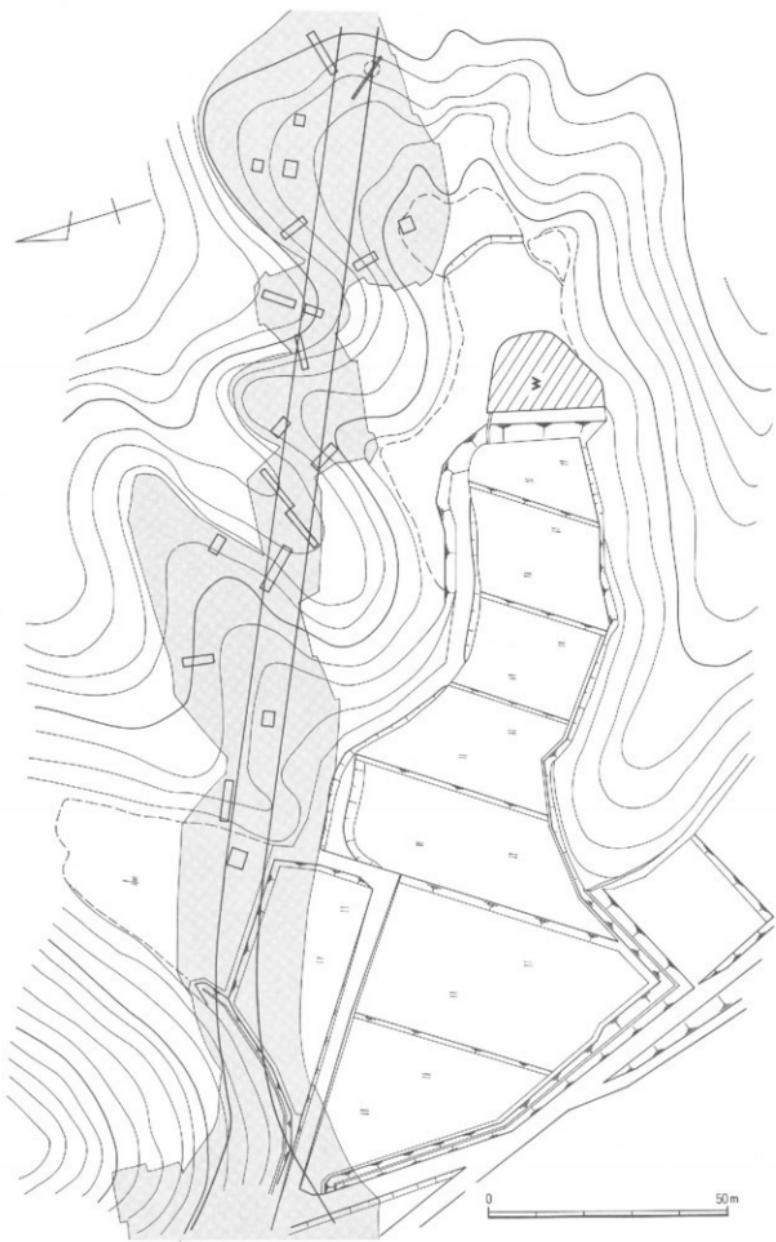




荒神谷遺跡周辺の地形

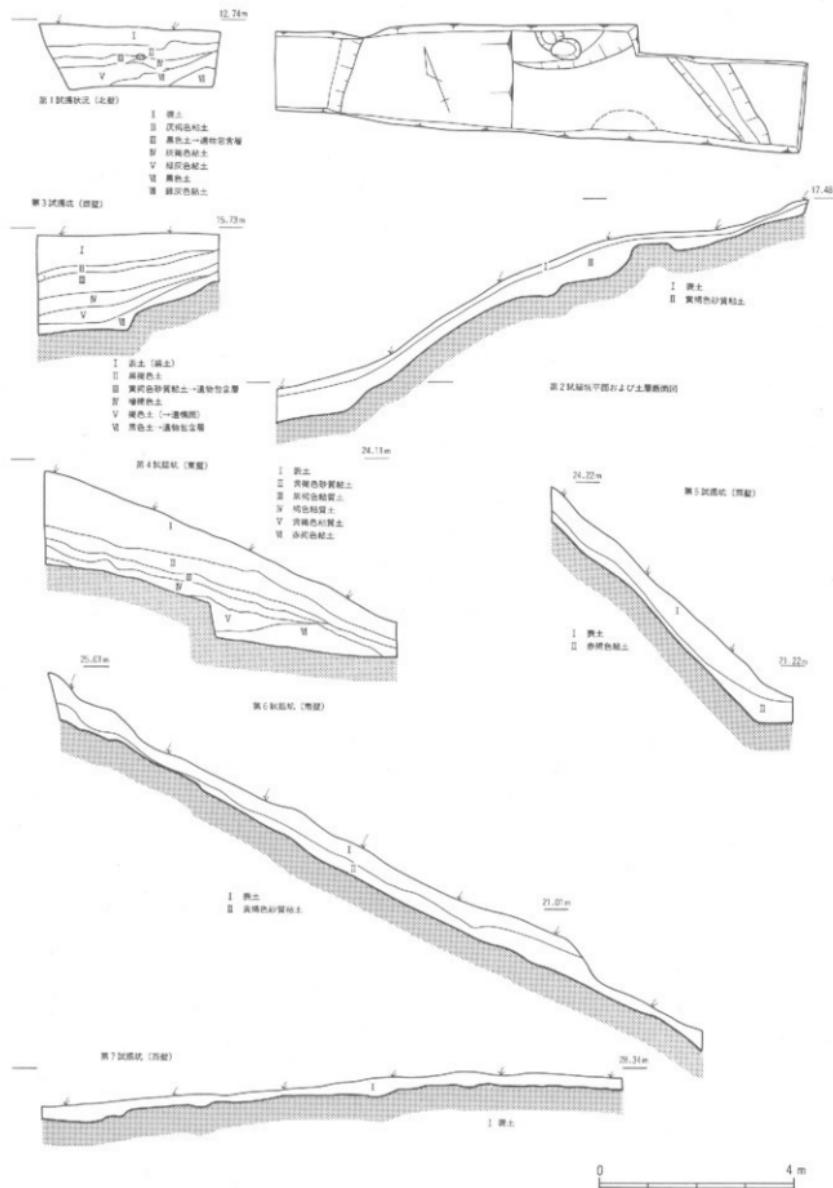
図版 1





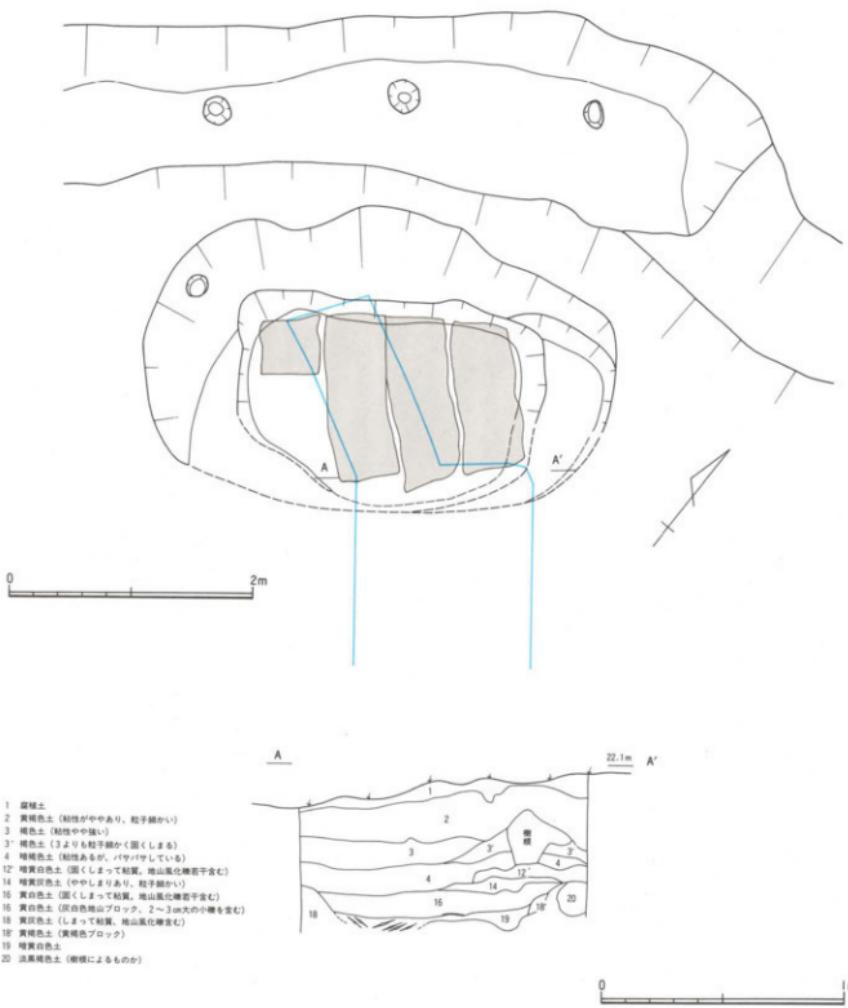
第1～7試掘坑土層図

図版3



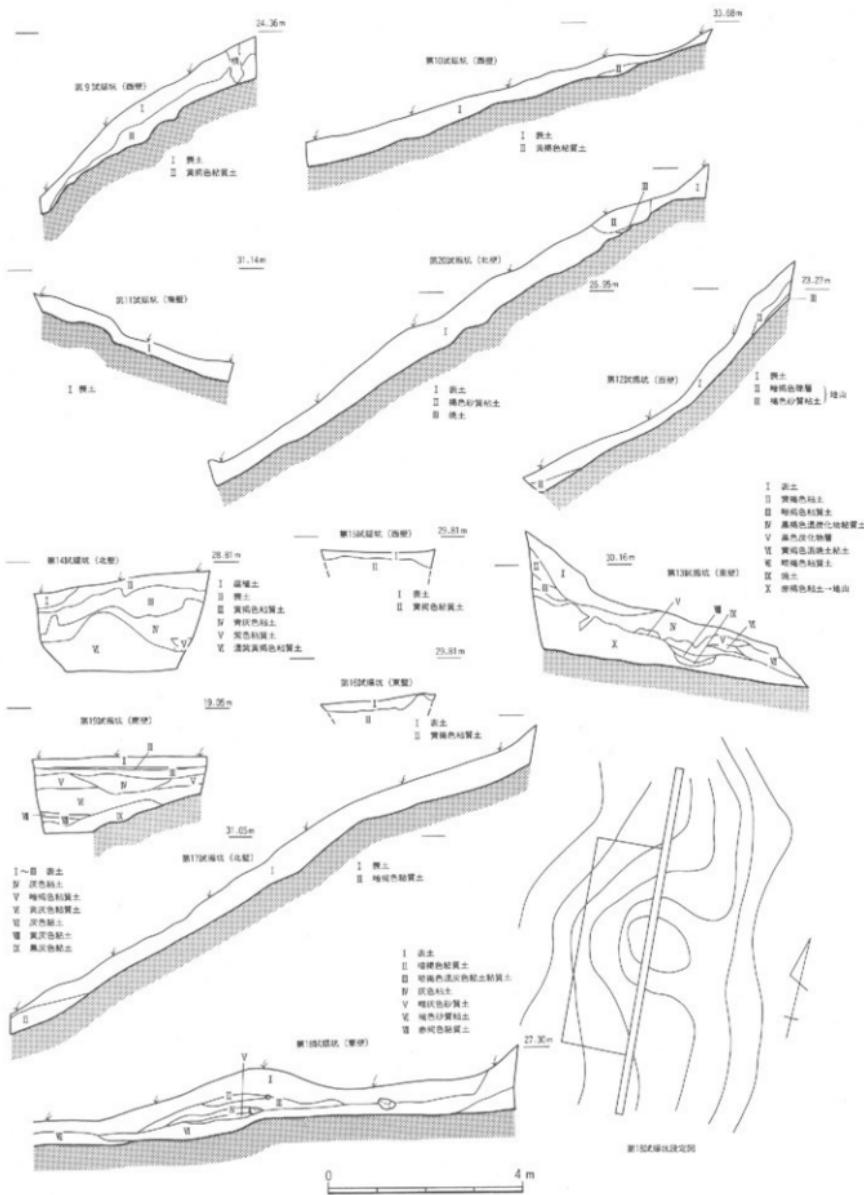
第8試掘坑銅劍發見位置と土層断面図

図版4



第9～20試掘坑土層図

図版5



年度別調査区位置図

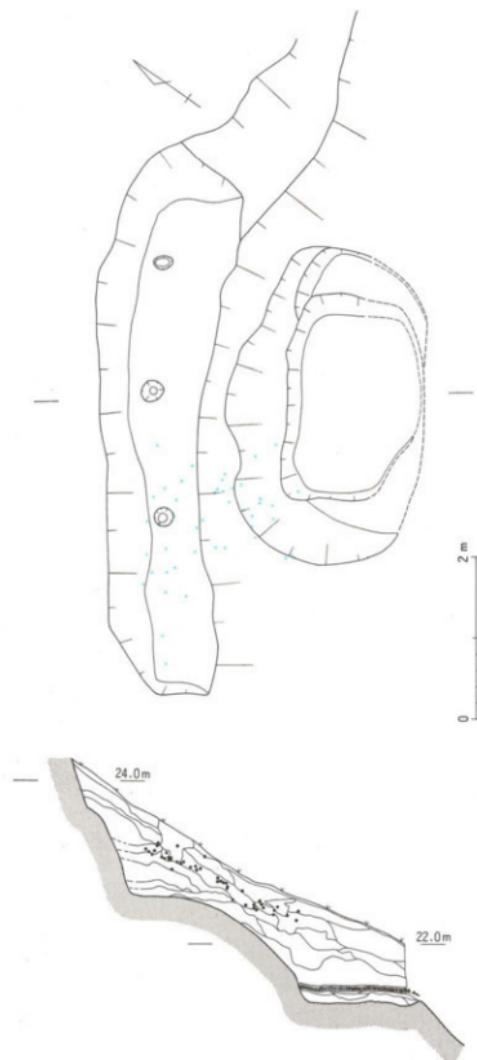
図版6

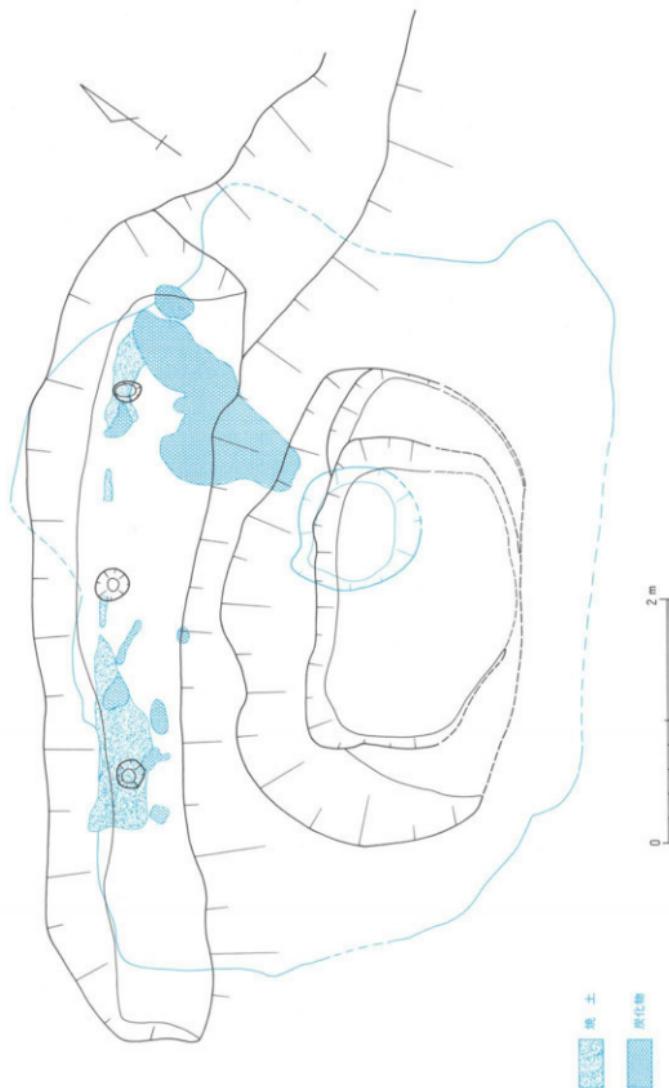


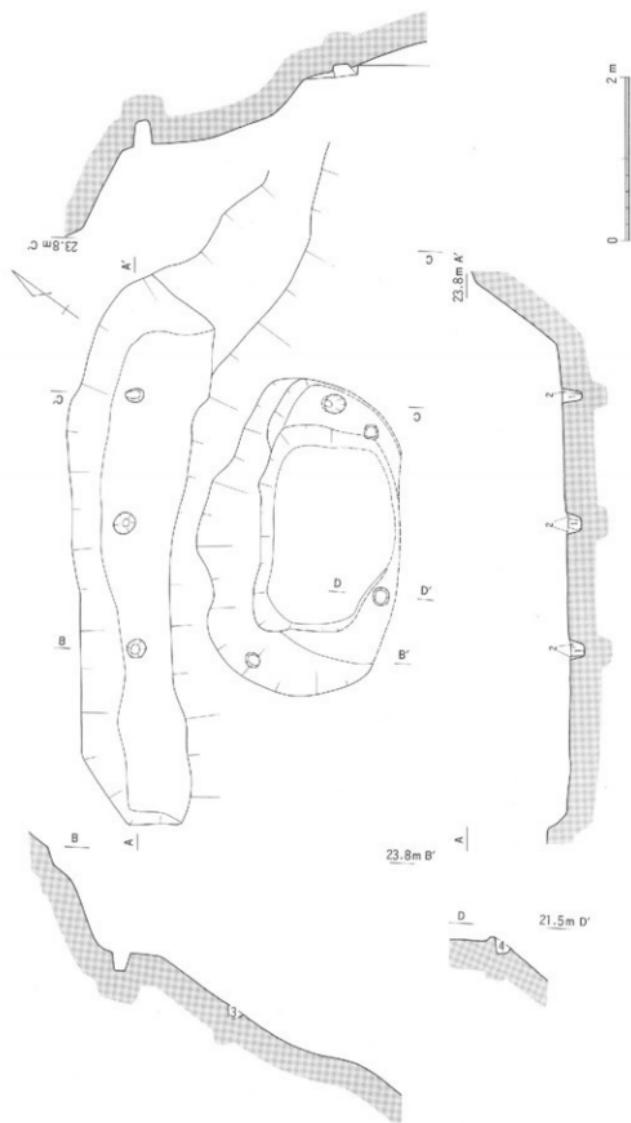


銅剣埋納坑上層の土器出土状況

図版8

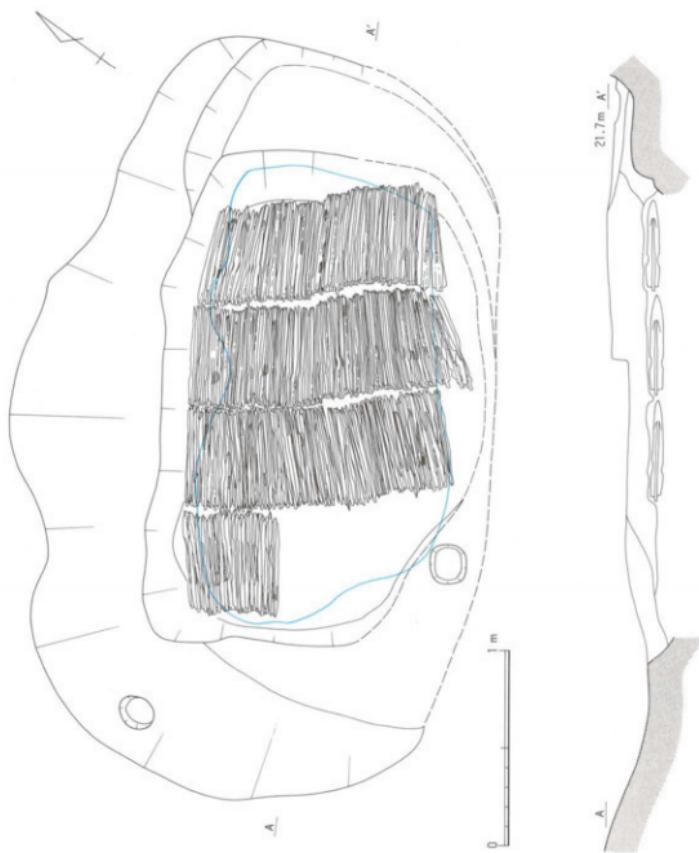






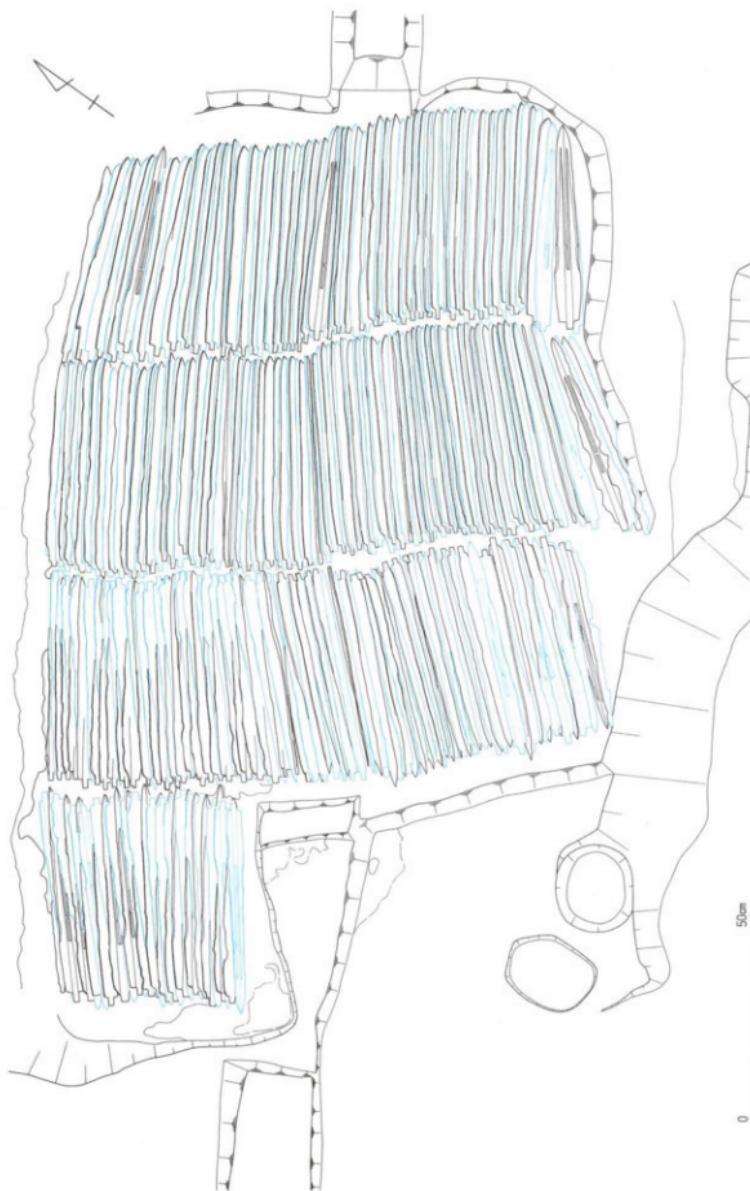
銅剣埋納坑覆土（黄白色粘質土）の検出範囲

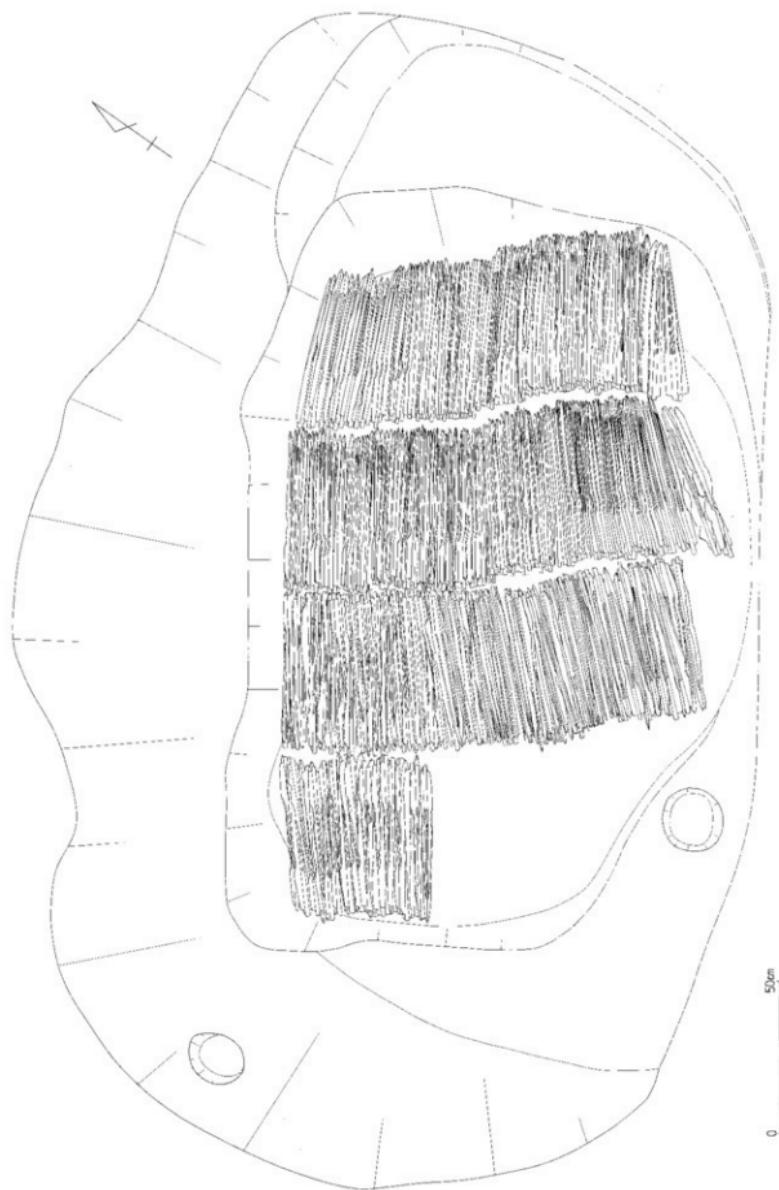
図版11



銅剣出土状況（写真測量図）

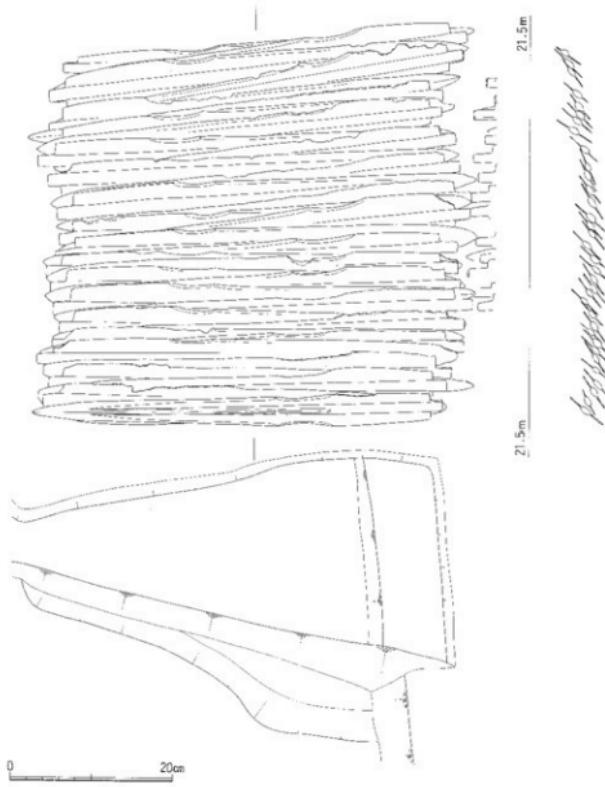
図版12





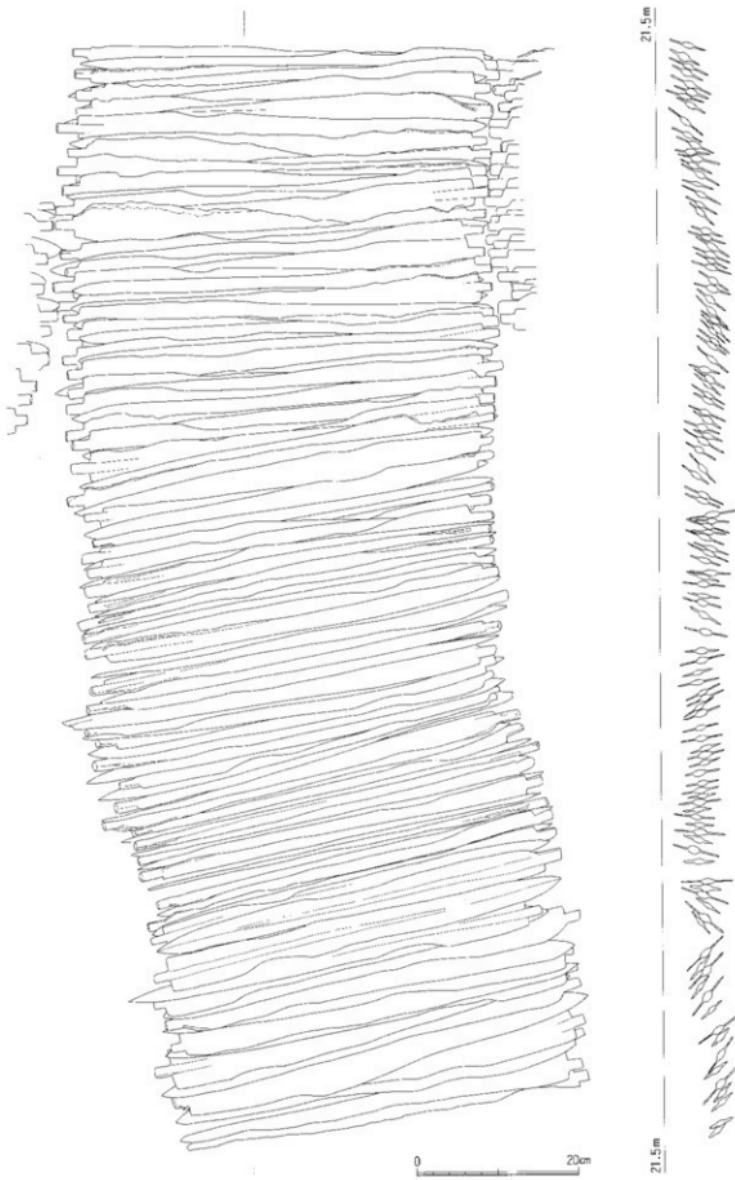
銅劍配列狀況（A列）

圖版14



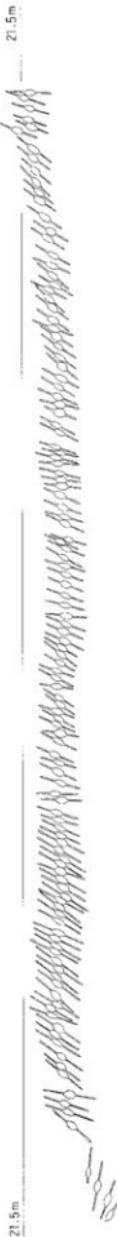
銅劍配列状況（B列）

図版15



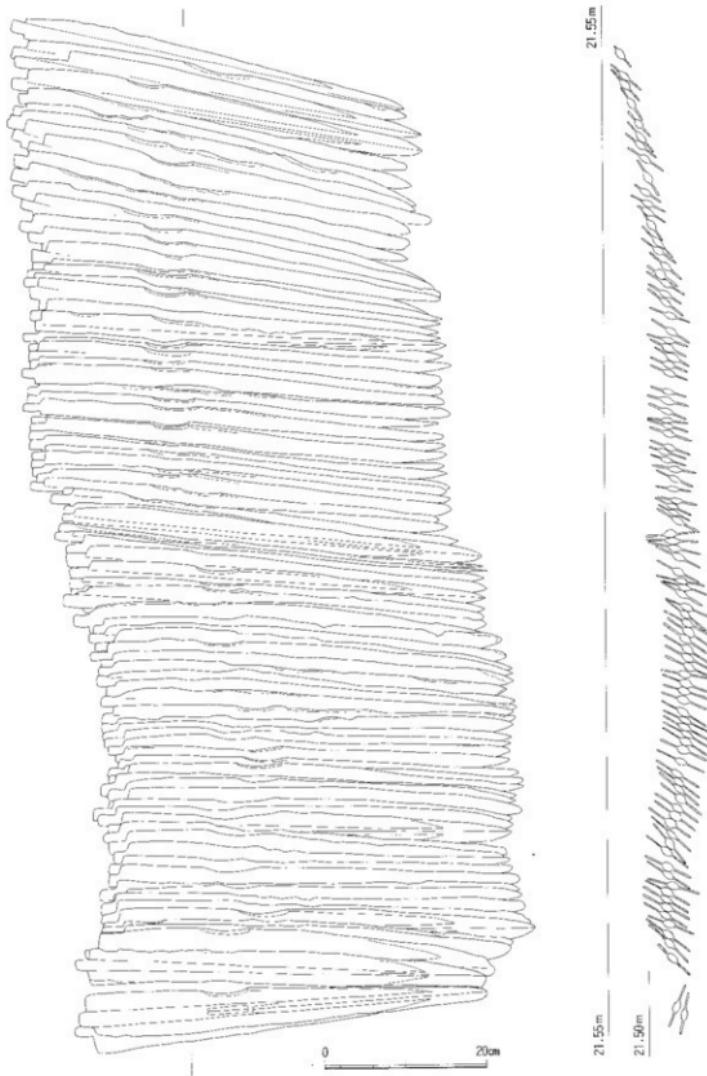
銅針配列状況（C列）

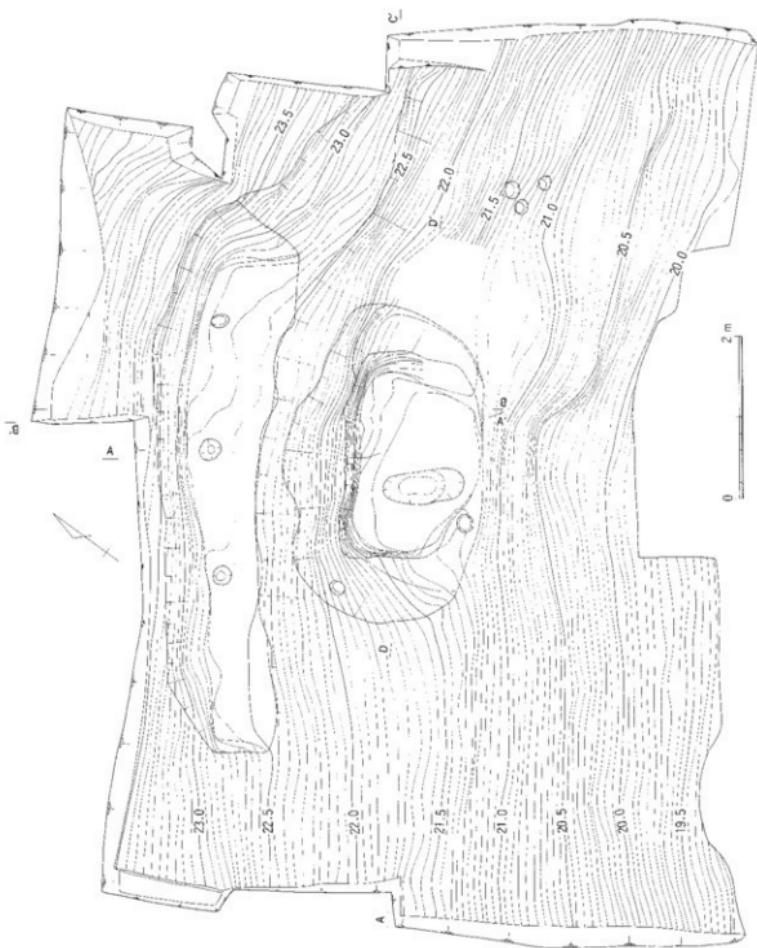
図版16



銅針配列狀況（D列）

圖版17





1984年度調査区土層堆積状況

図版19



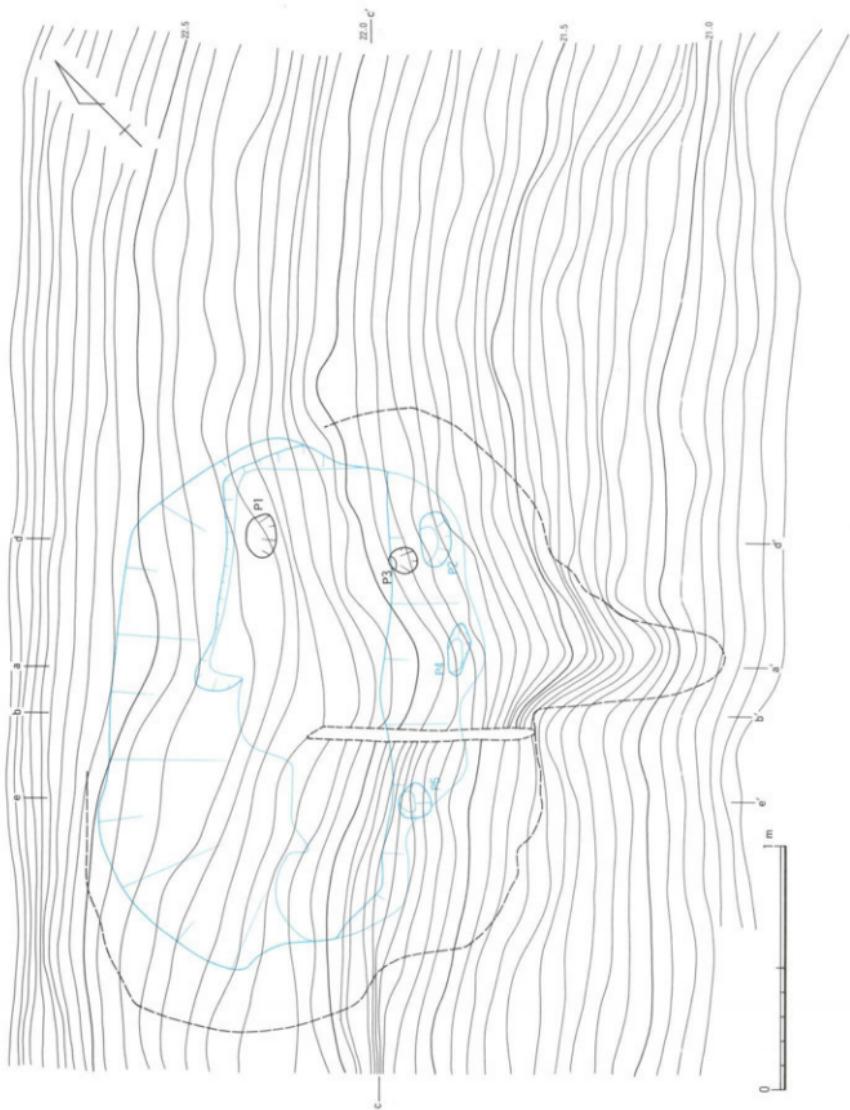
銅剣埋納坑底面

図版20



銅鐸・銅矛埋納坑の埋土検出状況

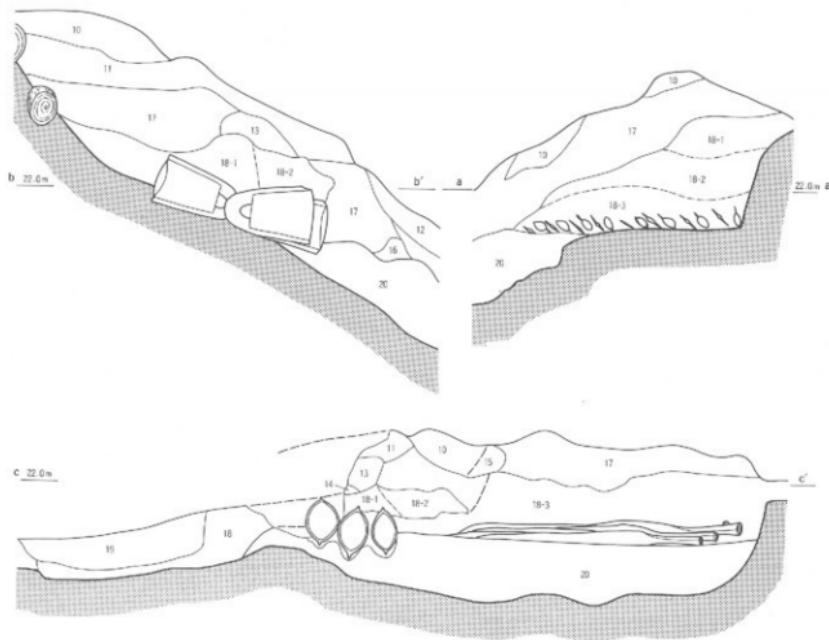
図版21



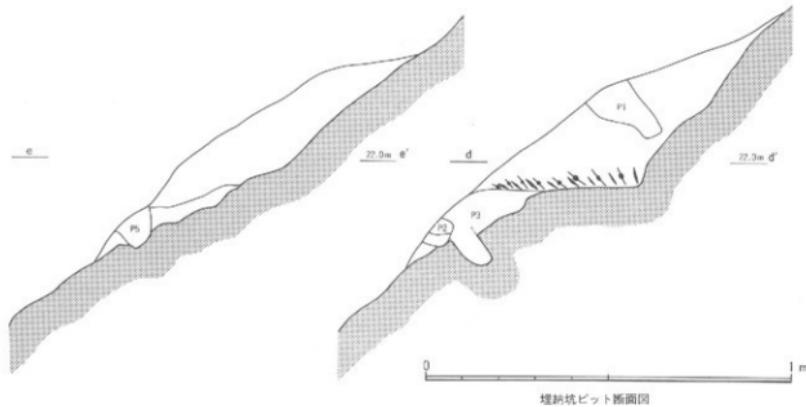
銅鐸・銅矛埋納坑土層図

図版22

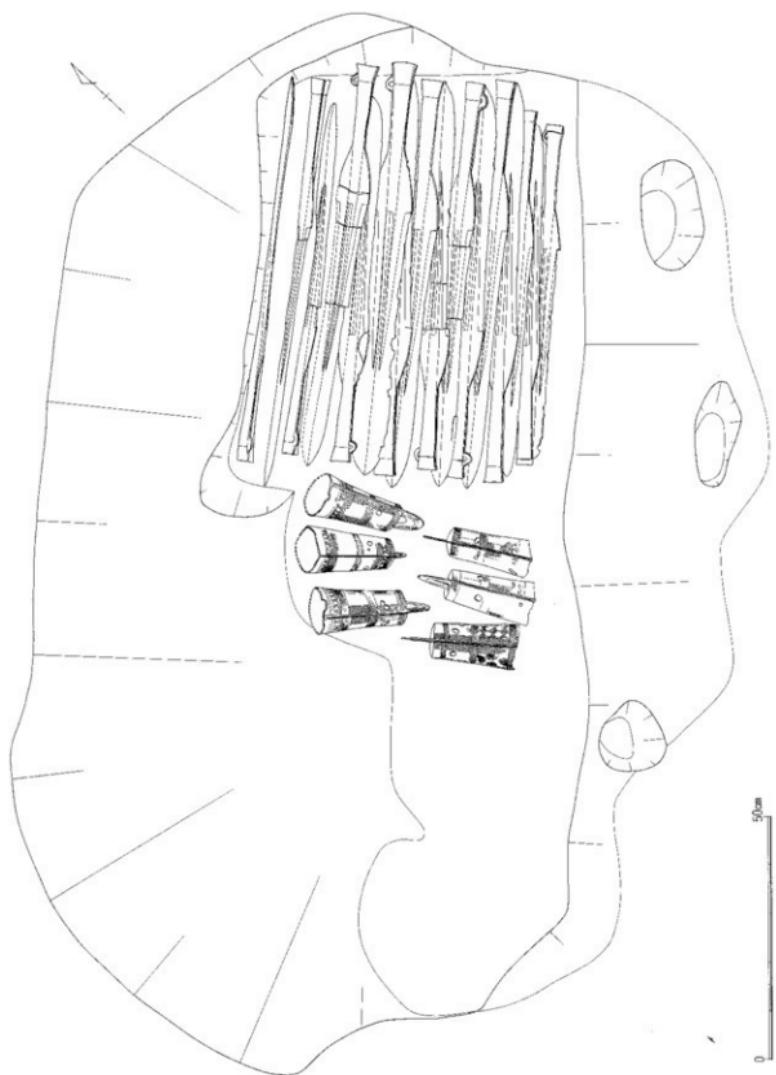




埋納坑土層図（土層名は図版22と同じ）

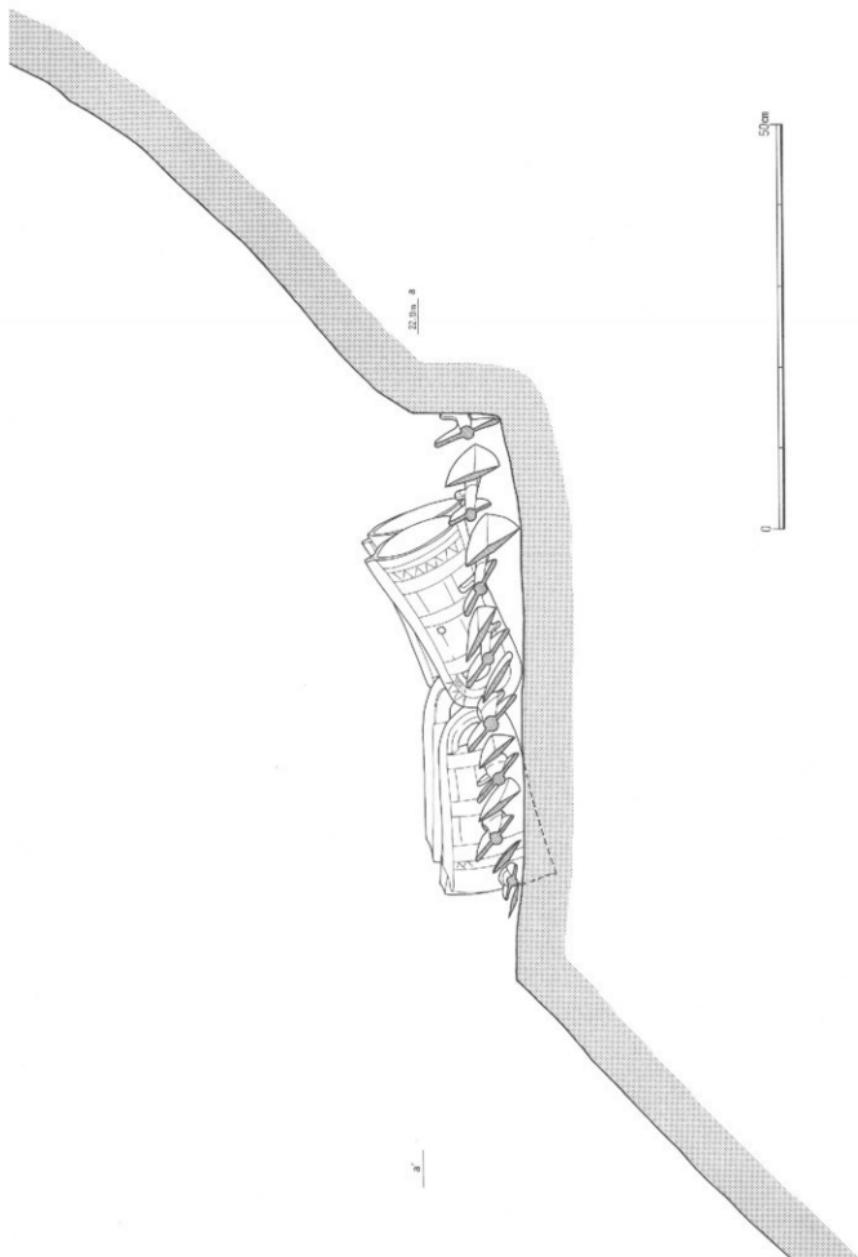


埋納坑ピット断面図



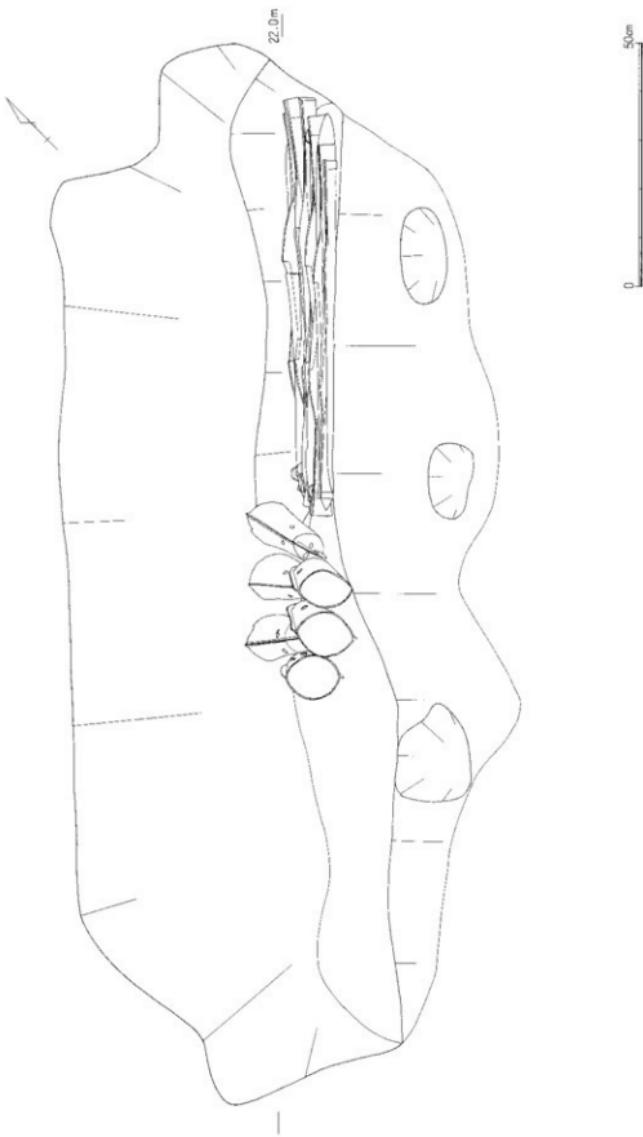
銅鐸・銅矛の出土状況（側面から）

図版25



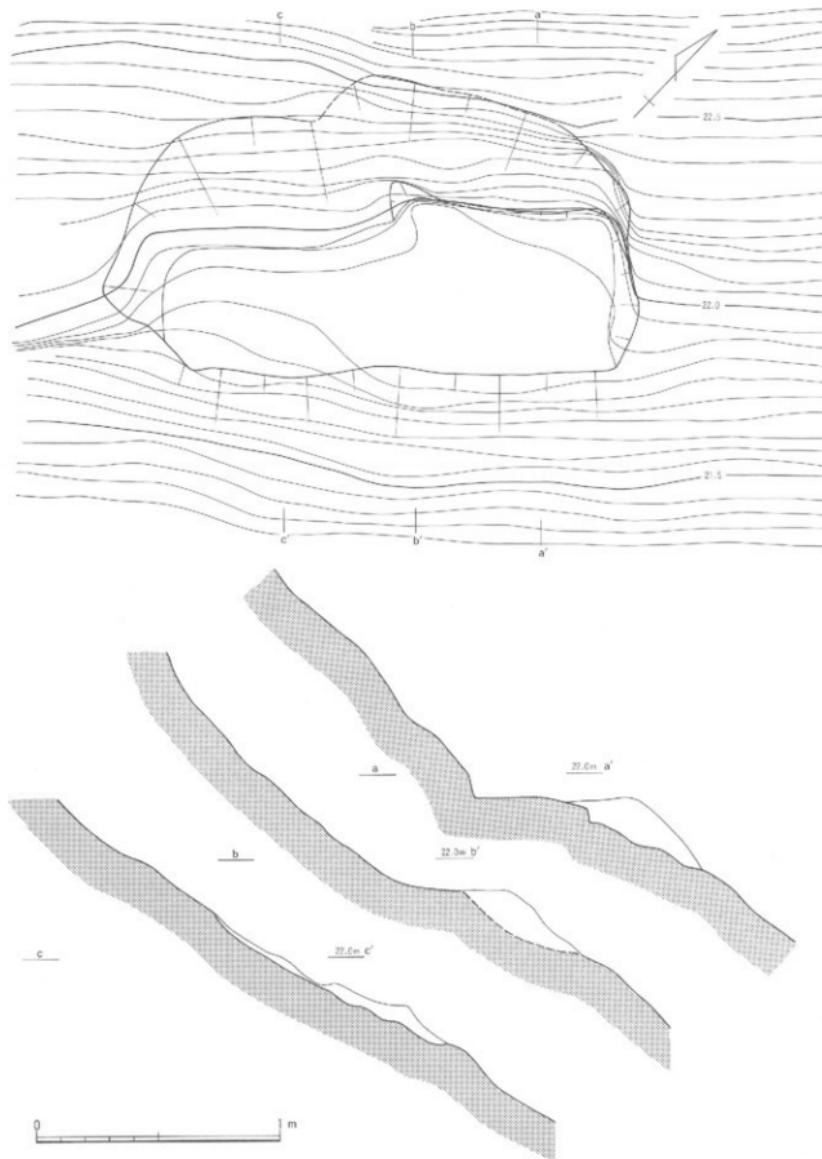
埋納坑および銅鐸・銅矛出土状況（正面から）

図版26



銅鐸・銅矛取り上げ直後の埋納坑の状況

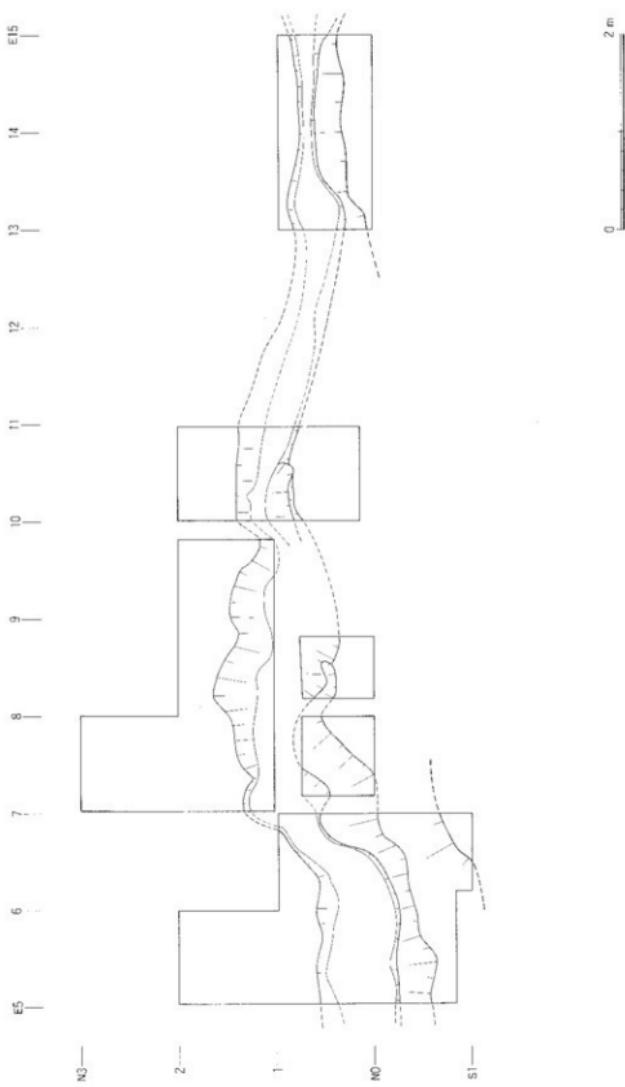
図版27

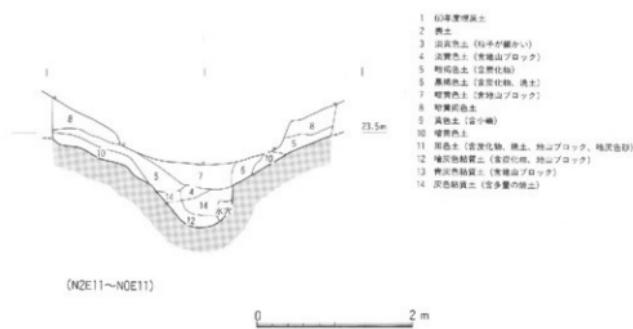
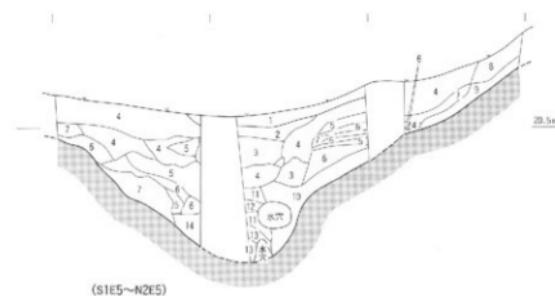
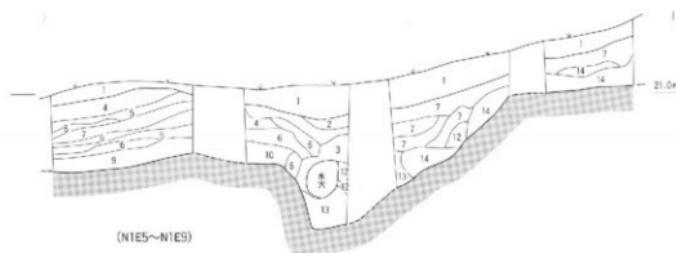


銅鐸・銅矛埋納坑（完掘後の状況）

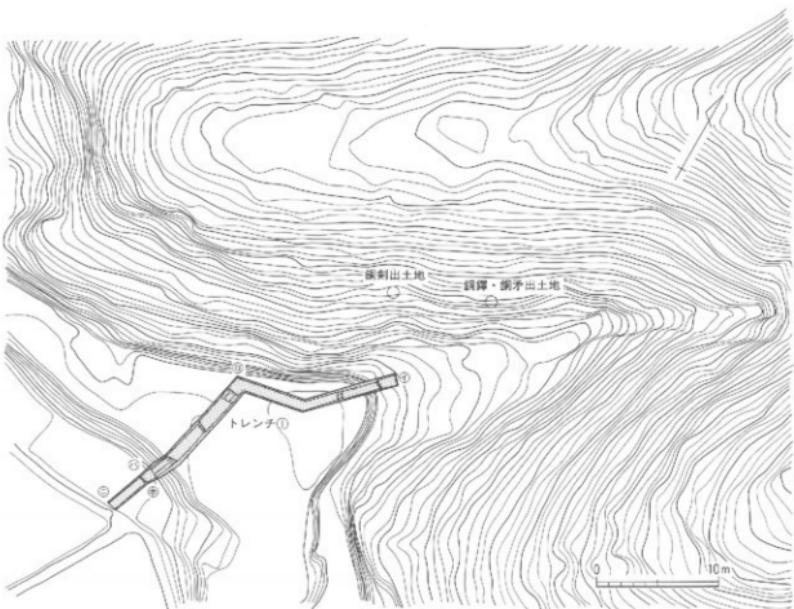
図版28







- 1 0年育成段土
- 2 表土
- 3 洪沢段土 (山手が大きい)
- 4 洪沢段土 (浅瀬山ブロック)
- 5 砂質段土 (自然化粧)
- 6 砂質段土 (変化粧、洪土)
- 7 黒色段土 (浅瀬山ブロック)
- 8 砂質段土
- 9 沈没段土 (山手)
- 10 塗壁段土
- 11 黒色土 (変化粧、洪土、堆山ブロック、堆灰段土)
- 12 塗灰色粘質土 (変化粧、堆山ブロック)
- 13 黑灰中粘質土 (変化粧ブロック)
- 14 深灰色段土 (多量の堆土)



1 黄褐色土(暗褐色に薄い褐色土)

2 中等褐色土(褐色)

3 黄褐色粘土土(褐色)

4 黄褐色土(灰化物を少量含む)

5 暗褐色土(灰化物、鉱土を少量含む)

6 黄褐色土(灰化物を少量含む)

7 灰土(褐色土)

8 灰土(よりやや深い)

9 灰白色土(褐色)

10 明黄色土(調査の跡による擾乱)



1 新作土(赤色土)

2 淡褐色土(灰土、灰化物を少量含む)

3 暗褐色土(褐色、灰化物を少しきり含む)

4 暗灰色土(褐色、鉱土を多く含む)

5 暗褐色土(褐色、鉱土を多く含む)

6 暗褐色土(褐色、灰化物を少量含む)

7 暗褐色土(褐色)

8 切削褐色土(由来及び褐色小ブロックを含む褐色土を含む)

9 黑色土(より深色っぽい)

10 明黄色土(褐色)

11 黄褐色土

12 淡褐色粘土土(褐色)

13 淡褐色砂質土

14 黑色土

15 淡褐色粘土土

16 黄褐色土

17 黑色土

18 黄褐色土

19 黑色土

20 黑色土(褐色を含む)

21 淡褐色土

22 淡褐色粘土土

23 淡褐色土

24 黑色土(褐色ブロックを多量に含む)

25 黑色粘土土

26 黑色粘土土

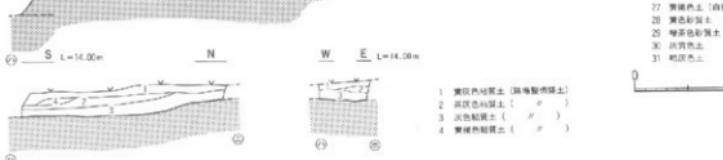
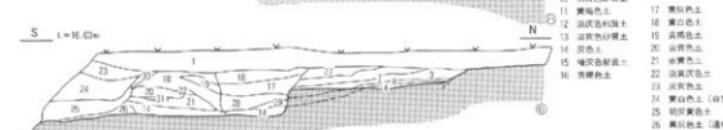
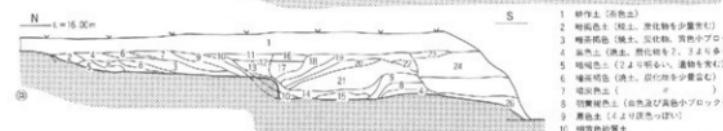
27 黑色土(白色及く白色ブロックを多量に含む)

28 黑色粘土土

29 黑色粘土土

30 淡褐色土

31 淡褐色土

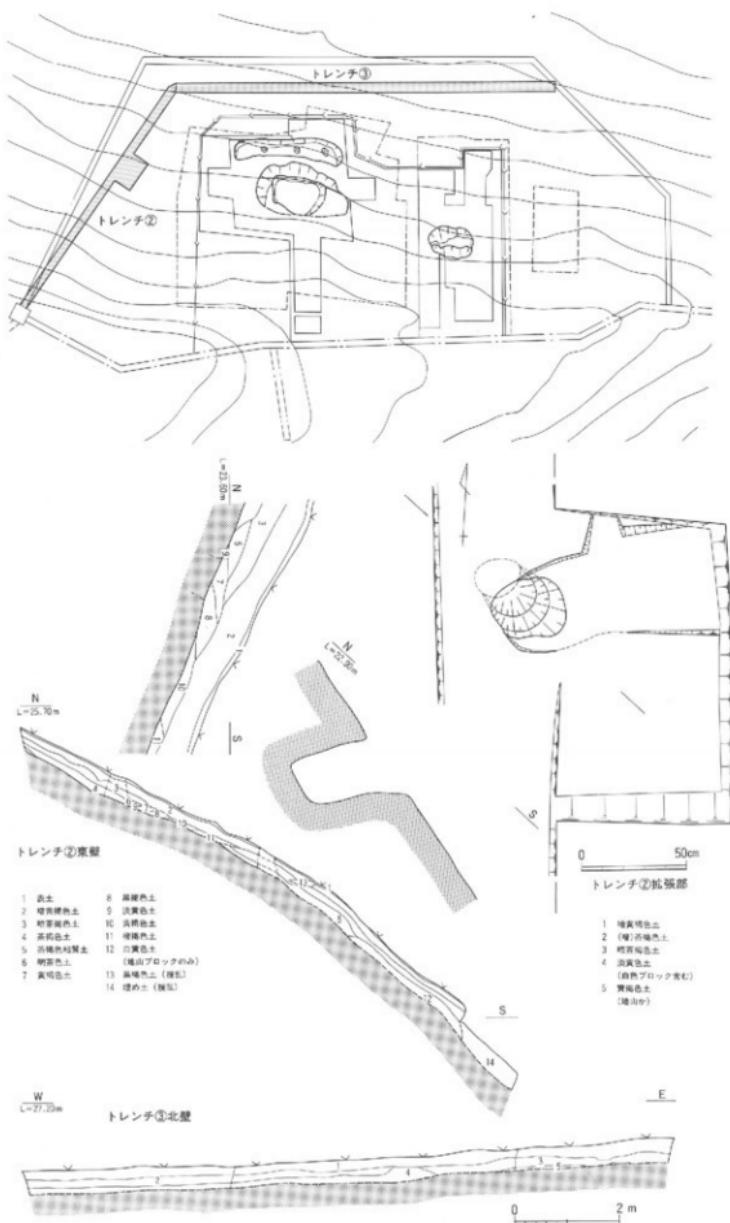


1 實地色粘土土(褐色堅土)

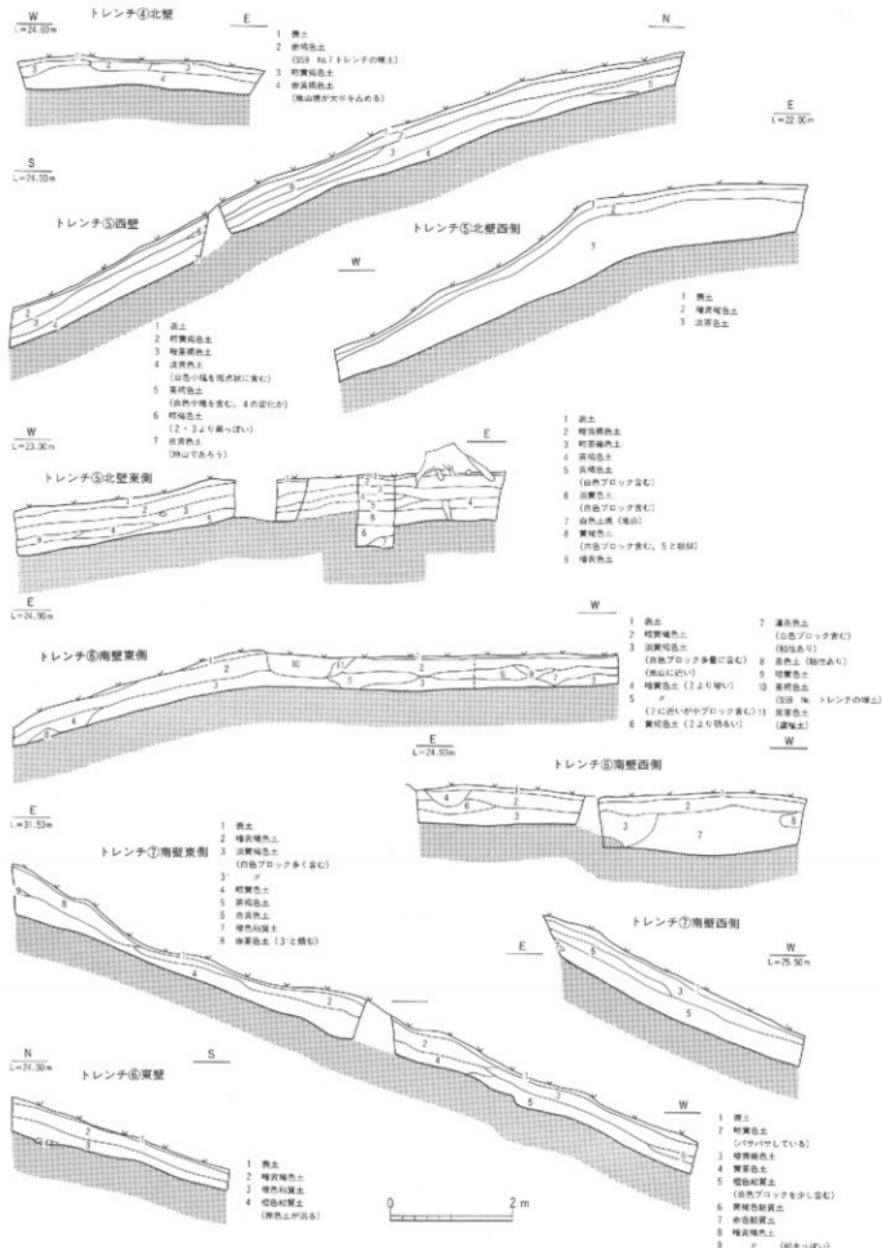
2 淡褐色粘土土(褐色)

3 淡褐色粘土土(褐色)

4 實地色粘土土(褐色)

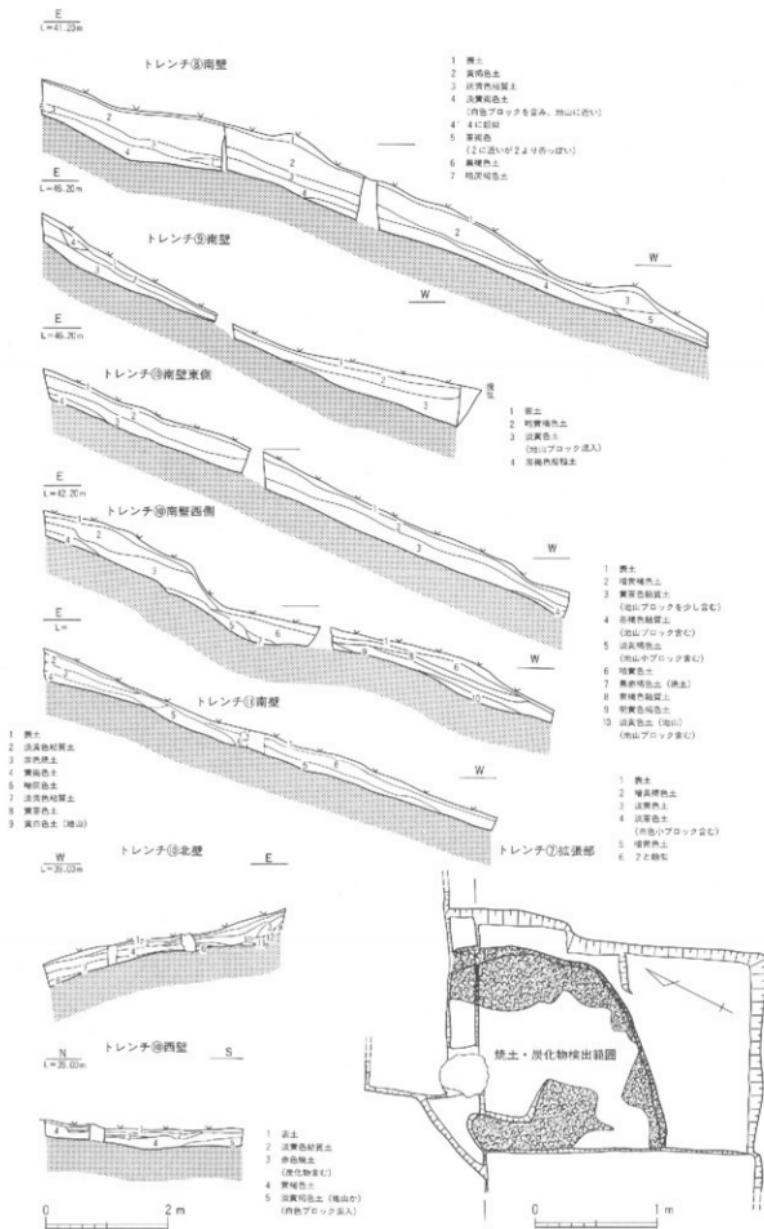






1990年度トレンチ土層断面図(2)

図版35



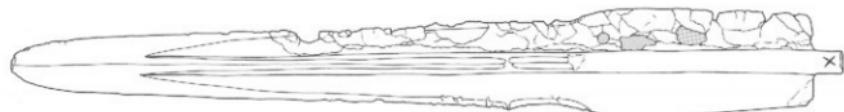
銅剣番号	A列3号	分類	III-1-②	全長	幅	51.50cm	開 幅	5.50cm														
切先方向	谷 口	色調	5G 5/6	現存長	51.10cm	末下端幅	1.41cm															
面	(A) 尾 横	(B) 谷		剝身長	49.70cm	突起の位置	18.75cm															
×印	(A) な し	(B) あ り		刀部長	30.95cm	剝身小端の位置	16.70cm															
重量(含液量)	390.2g	重量(含液量)	388.0g	剝方長	4.35cm	剝方下端の位置	13.80cm															
A面脊輪(a)	1.24cm	B面脊輪(a)	1.30cm	剝身	1.80cm	最大幅の位置	11.20cm															
〃 (b)	1.32cm	〃 (b)	1.33cm	突起	5.70cm	突起部厚	0.87cm															
〃 (c)	1.26cm	〃 (c)	1.32cm	剝方最下端幅	5.10cm	剝方下端脊厚	0.98cm															
〃 (d)	1.39cm	〃 (d)	1.37cm	剝下方端幅	6.00cm	最大幅部厚	1.02cm															
〃 (e)	1.50cm	〃 (e)	1.43cm	最大幅	6.55cm	開部脊厚	1.15cm															
特 徴	脊厚が薄い。剝方がやや短かい。 末が短かめで細い。																					
物理中の見	遺存状態																					
元部の調整良好	IV																					
静間位体比	206/204	207/206		208/206			実測年月日	1993年6月17日														
	17.798	0.8749		2.1629			実測者	佐藤綾子														
定量分析	Cu(%)	Sn(%)	Pb(%)	Ag(%)	As(%)	Bi(%)	Co(%)	Fe(%)	Mn(ppm)	Ni(%)	Sb(%)	Zn(ppm)										
試 料	色 調	測定条件1 (%)						測定条件2 (%)														
剝の変光X線	Cu Sn Pb Fe Sb Ag	Cu	Sn	Pb	Fe	As	Si	Al	K	Ca	Cl	S その他										
A3a	緑・茶	87	1.1	9.3	1.6	—	—	78	3.3	—	1.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
A3b	緑・茶	69	14	19	1.8	0.9	0.3	59	21	—	1.5	—	—	11	1.3	—	○	—	—	1.5	2.9	—
A3c	緑・茶	88	0.6	7.1	2.2	—	—	77	0.6	—	1.6	—	—	14	2.1	0.3	0.03	1.3	0.9	—	—	—
A1~3M	緑・茶	82	3.7	11	2.4	0.3	—	74	3.9	—	1.8	—	—	13	2.4	0.3	—	—	—	—	—	—

銅剣番号	A列2号	分類	II-1-③	全長	幅	51.20cm	開 幅	—cm											
切先方向	谷 奥	色調	5G 7/4	剝 作 長	48.65cm	末 下 端 幅	推	1.40cm											
面	(A) 地 横	(B) 谷		剝身長	推 49.20cm	突起の位置	推	18.20cm											
×印	(A) あ り			刀部長	推 31.90cm	剝方最下端の位置	—cm												
重量(含液量)	258.8g	重量(含液量)	244.0g	剝方長	—cm	剝方下端の位置	—cm												
A面脊輪(a)	1.25cm	B面脊輪(a)	1.26cm	剝身	2.00cm	最大幅の位置	—cm												
〃 (b)	1.24cm	〃 (b)	1.28cm	突起	—cm	突起部厚	0.74cm												
〃 (c)	1.31cm	〃 (c)	1.29cm	剝方最下端幅	—cm	剝方下端脊厚	0.86cm												
〃 (d)	1.37cm	〃 (d)	1.40cm	剝下方端幅	—cm	最大幅部厚	0.85cm												
〃 (e)	1.49cm	〃 (e)	1.48cm	最大幅	—cm	開部脊厚	0.90cm												
特 徴	傷みが著しい。																		
物理中の見	遺存状態																		
残存状態	IV																		
静間位体比	206/204	207/206		208/206			実測年月日	1993年5月31日											
	18.118	0.8612		2.1413			実測者	佐藤綾子											
定量分析	Cu(%)	Sn(%)	Pb(%)	Ag(%)	As(%)	Bi(%)	Co(%)	Fe(%)	Mn(ppm)	Ni(%)	Sb(%)	Zn(ppm)							
剝の変光X線	93.5	1.47	4.10	0.13	0.52	0.032	0.11	0.051	—	0.16	0.39	—							
	試 料	色 調	測定条件1 (%)						測定条件2 (%)										
	Cu Sn Pb Fe Sb Ag	Cu	Sn	Pb	Fe	As	Si	Al	K	Ca	Cl	S その他							
	A2a	緑・白	85	0.3	10	1.8	—	73	—	1.5	—	7.9	—	0.4	—	1.3	0.0	—	
	A2b	緑・茶	78	1.7	15	2.4	—	71	1.3	—	1.8	—	10	0.7	0.3	0.04	1.2	0.0	—
	A2c	緑・茶・白	78	1.5	17	1.6	0.1	84	2.1	—	1.3	—	6.3	0.1	△	1.9	3.4	—	—
	A2d	緑・茶	89	0.5	6.7	2.7	—	76	0.0	—	2.0	—	15	2.7	0.5	—	1.4	0.9	—
	A2e	緑・茶	86	0.8	9.9	2.2	—	77	1.6	—	1.5	—	14	2.6	△	×	1.4	1.3	—

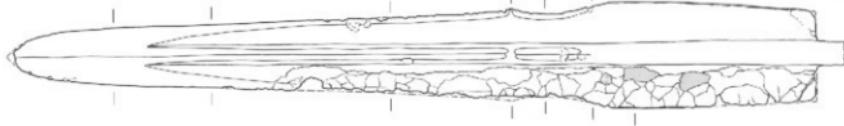
銅剣番号	A列1号	分類	I-1-③	全長	幅	52.00cm	開 幅	5.43cm												
切先方向	谷 口	色調	10Y 5/2	現存長	50.60cm	末下端幅	1.72cm													
面	(A) 尾 横	(B) 谷		剝身長	推 50.20cm	突起の位置	推	18.60cm												
×印	(A) 不 明	(B) な し		刀部長	推 31.60cm	剝方最下端の位置	—cm	16.00cm												
重量(含液量)	278.8g	重量(含液量)	256.0g	剝方長	5.575cm	剝方下端の位置	—cm	13.025cm												
A面脊輪(a)	1.37cm	B面脊輪(a)	1.37cm	剝身	1.80cm	最大幅の位置	—cm	10.00cm												
〃 (b)	1.37cm	〃 (b)	1.39cm	突起	5.62cm	突起部厚	—cm	0.66cm												
〃 (c)	1.46cm	〃 (c)	1.51cm	剝方最下端幅	4.70cm	剝方下端脊厚	—cm	0.72cm												
〃 (d)	1.515cm	〃 (d)	1.515cm	剝下方端幅	5.80cm	最大幅部厚	—cm	0.73cm												
〃 (e)	1.74cm	〃 (e)	1.71cm	最大幅	6.30cm	開部脊厚	—cm	0.78cm												
特 徴	脊厚が薄い。 末が短かめで太い。諸掛けあり。																			
物理中の見	遺存状態																			
諸掛けあり。	IV																			
静間位体比	206/204	207/206		208/206			実測年月日	1992年9月11日												
	17.966	0.8676		2.1524			実測者	尾立克												
定量分析	Cu(%)	Sn(%)	Pb(%)	Ag(%)	As(%)	Bi(%)	Co(%)	Fe(%)	Mn(ppm)	Ni(%)	Sb(%)	Zn(ppm)								
剝の変光X線	A1a	緑・茶・白	75	9.7	11	2.1	0.3	0.05	60	12	15	—	7.1	0.9	—	0.0	1.3	0.0	—	
	A1b	緑・茶	90	—	6.4	1.6	—	—	83	—	1.2	—	8.8	1.1	0.5	—	1.7	1.6	—	
	A1c	緑・茶	78	3.0	11	3.9	—	0.06	55	7.6	18	3.4	—	10	2.6	0.6	○	1.3	0.0	—
	A1d	緑・茶	92	—	5.5	1.4	—	—	82	—	1.1	—	9.1	—	0.4	0.1	1.9	1.4	—	

銅劍 (A1・A2・A3)

図版36



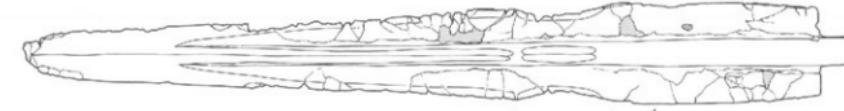
A3  
◎



A2  
○



A1  
○

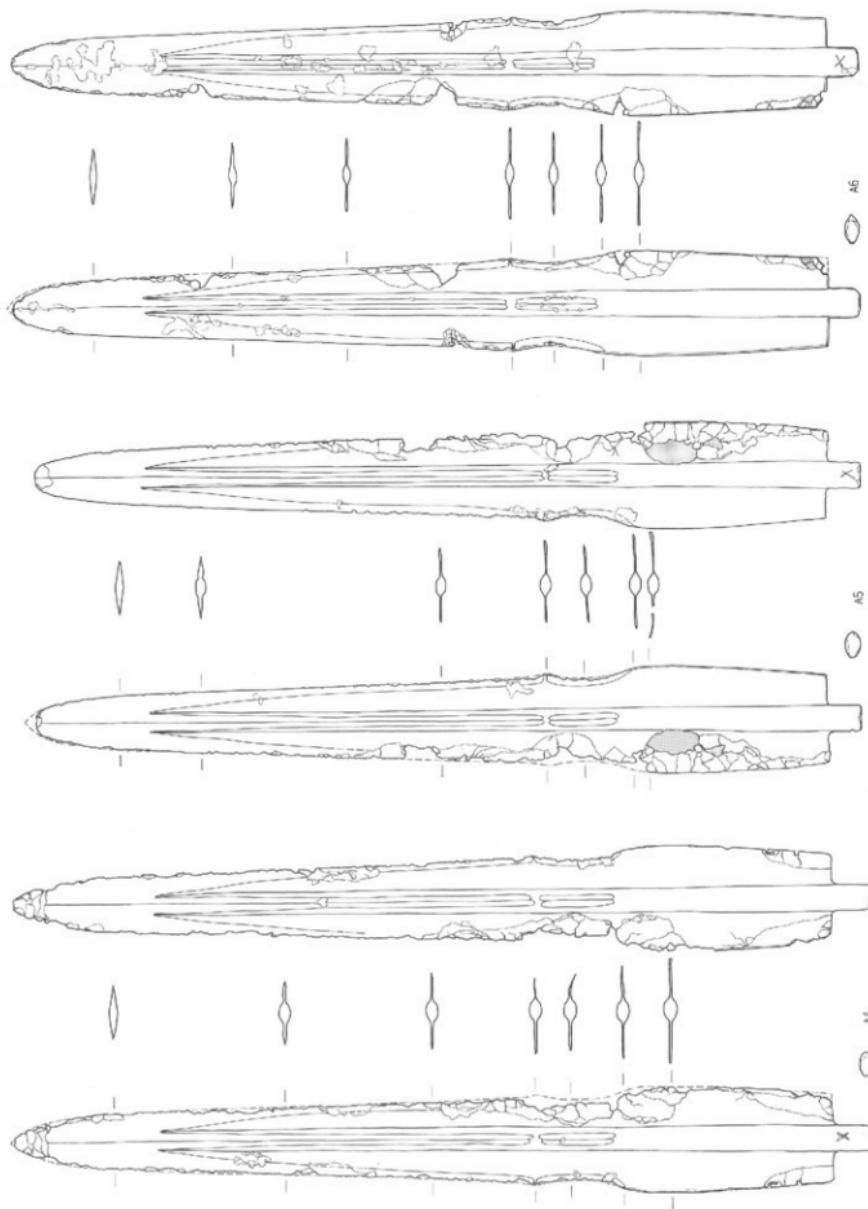


A0  
○

調査番号	A列6号	分類	III-1-①	全長	復	52.30cm	開	幅	推	5.40cm									
切先方向	谷 口	色 調	7.5Y 3/2	現 在 長	復	51.98cm	基 下 端 幅	推	1.80cm										
面	(A) 尾 梗	(B) 谷		側 身 長	復	50.35cm	突 起 の 位 置	平	19.40cm										
×印	(A) な し	(B) あ り		刀 部 長	復	30.90cm	剝 方 最 小 幅 の 位 置		16.80cm										
重量(含皮重)	344.7 g	重量(含皮重)	325.0 g	剝 方 長	平	5.60cm	剝 方 下 端 の 位 置		13.80cm										
A面骨輪(a)	1.42cm	B面骨輪(a)	1.34cm	茎 長	1.95cm	最大 幅 の 位 置			11.50cm										
" (b)	1.46cm	" (b)	1.40cm	突 起 幅	推	5.80cm	最大 幅 の 位 置		0.57cm										
" (c)	1.56cm	" (c)	1.47cm	剝 方 最 小 幅	推	5.10cm	剝 方 下 端 幅		0.61cm										
" (d)	1.56cm	" (d)	1.54cm	剝 方 下 端 幅	推	6.00cm	最大 幅 部 幅		0.63cm										
" (e)	1.71cm	" (e)	1.67cm	最 大 幅	復	6.50cm	胸 部 骨 厚		0.84cm										
特 徴	脊髄が薄く全体に細広な刺身。突起の位置が高い。 端部に平坦面残る。	遺存状態	II				最大 幅 部 骨 厚		0.16cm										
修理中の見見	元部の調整良好						開 端 部 厚		0.19cm										
修理中の見見	元部の調整良好						実測年月日	1993年6月22日											
修理中の見見	元部の調整良好						実測者	吉 田 広											
鉛同位体比	206/204		207/206		208/206														
	17.946		0.8687		2.1556														
定量分析	Cu(%)	Sn(%)	Pb(%)	Ag(%)	As(%)	Bi(%)	Co(%)	Fe(%)	Mn(ppm)	Ni(%)	Sb(%)	Zn(ppm)							
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—							
	試 料	色 調	測 定 条 件 1 (%)				測 定 条 件 2 (%)												
	Cu	Sn	Pb	Fe	Sb	Ag	Cu	Sn	Pb	Fe	As	Si	Al	K	Ca	Cl	S	その他の	
鈍の蛍光X線	A 6a	緑・茶・青	83	1.4	11	2.7	—	64	0.9	14	2.2	—	13	2.7	0.6	—	1.0	0.0	—
	A 6b	緑・茶・青	86	1.5	8.3	2.1	—	77	—	—	1.5	—	14	2.5	1.0	—	1.3	1.2	—
	A 6c	緑・茶	37	11	34	9.9	0.5	0.2	17	35	36	5.0	—	3.8	0.2	—	1.4	0.0	—
	A 6d	緑・茶	84	3.8	9.6	2.0	—	74	—	—	1.5	—	16	1.4	1.5	1.0	1.4	1.4	—
	A 3e	緑・茶	88	1.1	7.1	2.3	—	78	—	—	1.7	—	13	2.7	0.5	—	1.3	1.0	—

調査番号	A列5号	分類	II-2-③	全長	推	51.30cm	開	幅	推	5.41cm									
切先方向	谷 口	色 調	5GY 4/1	現 在 長	推	50.65cm	基 下 端 幅	推	1.52cm										
面	(A) 尾 梗	(B) 谷		側 身 長	推	49.22cm	突 起 の 位 置	平	17.35cm										
×印	(A) な し	(B) あ り		刀 部 長	推	31.95cm	剝 方 最 小 幅 の 位 置		15.00cm										
重量(含皮重)	388.6 g	重量(含皮重)	379.0 g	剝 方 長	5.35cm	剝 方 下 端 の 位 置			12.00cm										
A面骨輪(a)	1.32cm	B面骨輪(a)	1.31cm	茎 長	2.08cm	最大 幅 の 位 置			11.00cm										
" (b)	1.36cm	" (b)	1.32cm	突 起 幅	推	5.65cm	突 起 部 骨 厚		0.72cm										
" (c)	1.35cm	" (c)	1.38cm	物方最小幅	推	5.10cm	剝 方 下 端 幅		0.77cm										
" (d)	1.39cm	" (d)	1.40cm	剝 方 下 端 幅	推	6.20cm	最大 幅 部 骨 厚		0.77cm										
" (e)	1.57cm	" (e)	1.56cm	最 大 幅	推	6.51cm	胸 部 骨 厚		0.95cm										
特 徴	脊髄が薄い。刃部が長め。突起の位置が低め。鈍先端	遺存状態	III				最大 幅 部 骨 厚		0.15cm										
修理中の見見	刃部は粉状に廻食。短めの元部						開 端 部 厚		0.16cm										
修理中の見見	刃部の骨と翼の境界に刻離残る。						実測年月日	1993年6月22日											
修理中の見見	刃部は粉状に廻食。短めの元部						実測者	佐藤 機子											
鉛同位体比	206/204		207/206		208/206														
	206/204		0.8746		2.1637														
定量分析	Cu(%)	Sn(%)	Pb(%)	Ag(%)	As(%)	Bi(%)	Co(%)	Fe(%)	Mn(ppm)	Ni(%)	Sb(%)	Zn(ppm)							
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—							
	試 料	色 調	測 定 条 件 1 (%)				測 定 条 件 2 (%)												
	Cu	Sn	Pb	Fe	Sb	Ag	Cu	Sn	Pb	Fe	As	Si	Al	K	Ca	Cl	S	その他の	
鈍の蛍光X線	A 5a	緑・茶	94	0.07	3.9	1.1	—	86	0.0	—	0.8	—	8.5	1.7	0.2	—	1.6	0.6	—
	A 5b	緑・茶	88	0.1	5.4	3.7	—	65	0.05	4.3	2.8	—	19	6.1	0.8	—	1.2	0.0	—
	A 5c	緑・茶	73	10	10	4.2	—	51	14	12	3.3	—	12	3.9	—	0.0	1.2	0.0	—
	A 4 ~ 6 M	緑・茶・白	74	8.2	12	2.7	—	61	13	16	2.1	—	9.1	1.5	—	0.0	1.4	1.9	—

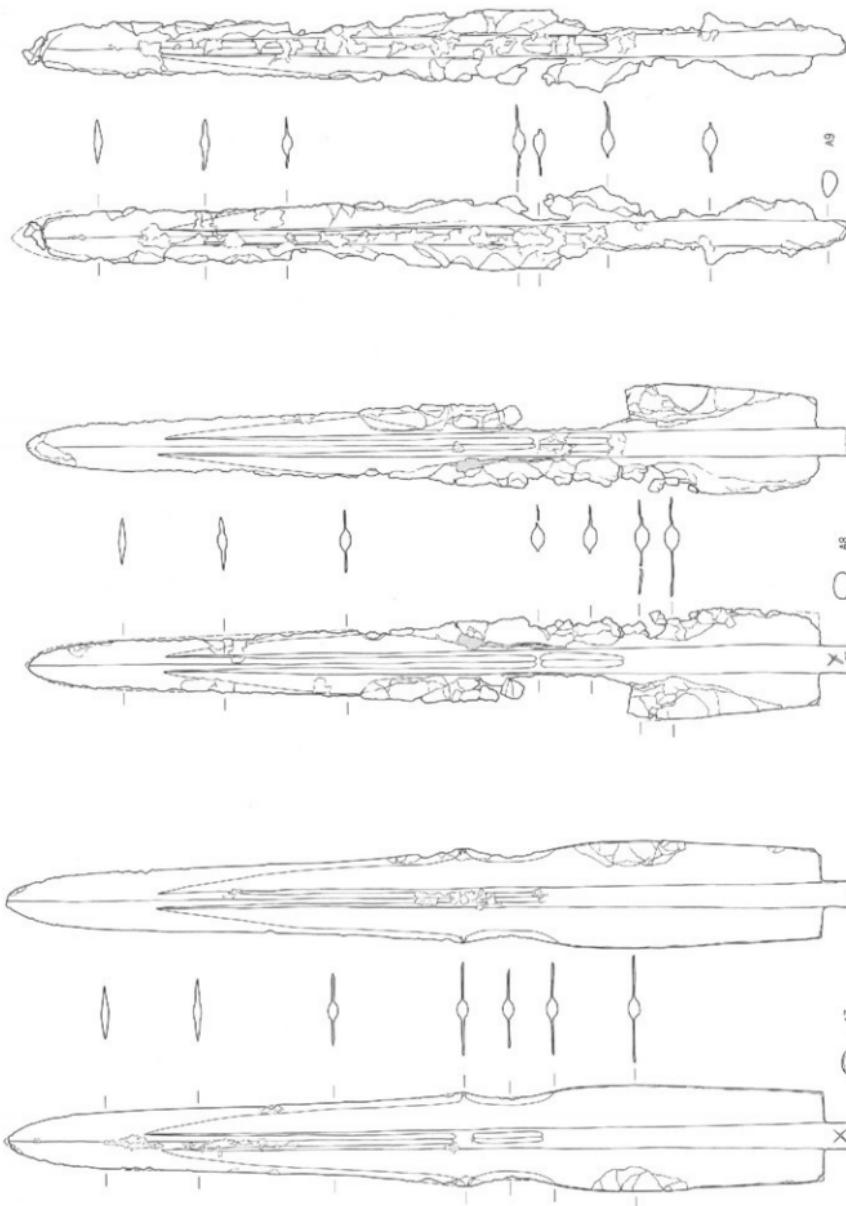
調査番号	A列4号	分類	II-1	全長	推	52.85cm	開	幅	推	5.30cm									
切先方向	谷 奥	色 調	5G 5/6	現 在 長	推	52.65cm	基 下 端 幅	推	1.51cm										
面	(A) 尾 梗	(B) 谷		側 身 長	推	50.45cm	突 起 の 位 置	平	18.30cm										
×印	(A) あ り	(B) な し		刀 部 長	推	32.15cm	剝 方 最 小 幅 の 位 置		16.10cm										
重量(含皮重)	432.1 g	重量(含皮重)	422.0 g	剝 方 長	5.45cm	剝 方 下 端 の 位 置			12.85cm										
A面骨輪(a)	1.41cm	B面骨輪(a)	1.43cm	多 長	2.40cm	最大 幅 の 位 置			9.90cm										
" (b)	1.40cm	" (b)	1.46cm	突 起 幅	推	5.60cm	突 起 部 幅		0.80cm										
" (c)	1.39cm	" (c)	1.44cm	剝 方 最 小 幅	推	5.00cm	剝 方 下 端 幅		0.84cm										
" (d)	1.43cm	" (d)	1.45cm	剝 方 下 端 幅	推	6.00cm	最大 幅 部 幅		0.85cm										
" (e)	1.57cm	" (e)	1.60cm	最 大 幅	推	6.50cm	胸 部 骨 厚		0.94cm										
特 徴	刃部がやや長い。 糸が長く細い。	遺存状態	III				最大 幅 部 骨 厚		0.13cm										
修理中の見見	他の糸より長い(約54cm)。						開 端 部 厚		0.11cm										
修理中の見見	他の糸より長い(約54cm)。						実測年月日	1993年5月7日											
修理中の見見	他の糸より長い(約54cm)。						実測者	佐藤 機子											
鉛同位体比	206/204		207/206		208/206														
	206/204		0.5718		2.1584														
定量分析	Cu(%)	Sn(%)	Pb(%)	Ag(%)	As(%)	Bi(%)	Co(%)	Fe(%)	Mn(ppm)	Ni(%)	Sb(%)	Zn(ppm)							
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—							
	試 料	色 調	測 定 条 件 1 (%)				測 定 条 件 2 (%)												
	Cu	Sn	Pb	Fe	Sb	Ag	Cu	Sn	Pb	Fe	As	Si	Al	K	Ca	Cl	S	その他の	
鈍の蛍光X線	A 4a	緑・茶	60	6.8	25	1.9	—	71	0.1	43	17	34	1.5	—	3.0	—	0.0	1.2	0.0
	A 4b	緑・茶	90	0.5	5.6	1.9	—	74	0.1	6.8	1.6	—	12	2.6	0.3	—	1.3	0.0	—
	A 4c	緑・茶	80	3.2	19	3.7	—	55	3.0	13	3.0	—	18	4.7	0.7	△	0.7	0.0	—
	A 4d	緑・茶	68	5.0	21	2.8	—	43	12	25	2.1	—	12	2.6	—	0.0	1.2	0.0	—



銅類番号	A列9号	分類	—	全長	推 51.40cm	開 鋸	—cm
切先方向	谷 口	色調	7.5G 4/6	現存長	推 50.55cm	茎下端 鋸	推 1.70cm
面	(A) 尾 横	(B) 谷	—	剝身長	推 49.40cm	突起の位置	推 18.30cm
×印	(A) —	(B) —	—	刀部長	推 31.10cm	前方最小幅の位置	—cm
重量(含骨頭)	293.1g	重量(含骨頭)	282.0g	剝方長	—cm	剝方下端の位置	—cm
A面骨頭(a)	1.30cm	B面骨頭(a)	1.30cm	剝方長	推 2.00cm	最大幅の位置	—cm
" (b)	1.25cm	" (b)	1.30cm	突起幅	—cm	突起部厚	0.76cm
" (c)	1.45cm	" (c)	1.35cm	剝方最小幅	—cm	剝方下端厚	0.81cm
" (d)	1.55cm	" (d)	1.55cm	剝方下端幅	—cm	最大幅部厚	0.89cm
" (e)	1.65cm	" (e)	1.55cm	最大幅	—cm	開部厚	1.01cm
特徴	脊厚がやや厚い。	遺存状態	IV	遺存状態	IV	最大幅部端部厚	—cm
査定中の知見	残存状態悪い。粉状に腐食。	査定年月日	1994年3月30日	実測者	高山	査定中的知見	—
船形位比	206/204	207/206	208/206	—	—	—	—
	17.740	0.8769	2.1644	—	—	—	—
定量分析	Cu(%) Sn(%) Pb(%) Ag(%) As(%) Bi(%) Co(%) Fe(%) Mn(ppm) Ni(%) Sb(%) Zn(ppm)	—	—	—	—	—	—
試料	色調	測定条件1 (%)	測定条件2 (%)	—	—	—	—
鉛の蛍光X線	Cu Sn Pb Fe Sb Ag Cu Sn Pb Fe As Si Al K Ca Cl S その他	—	—	—	—	—	—
A 9a	緑・茶	90 0.1 6.6 1.7 —	70 0.0 9.1 1.5 —	14 2.3 0.5 —	1.3 0.0 —	—	—
A 9b	緑・茶	70 2.9 20 1.6 —	55 4.0 30 1.4 —	7.2 0.7 —	△ 0.9 0.0 —	—	—
A 9c	緑・口・茶	75 4.5 16 1.1 —	59 6.5 26 1.0 —	5.0 — ○	— 1.2 0.0 —	—	—
A 1~9M	緑・茶	90 0.7 6.7 1.5 —	75 1.2 8.8 1.2 —	10 1.2 0.4 —	1.3 0.0 —	—	—

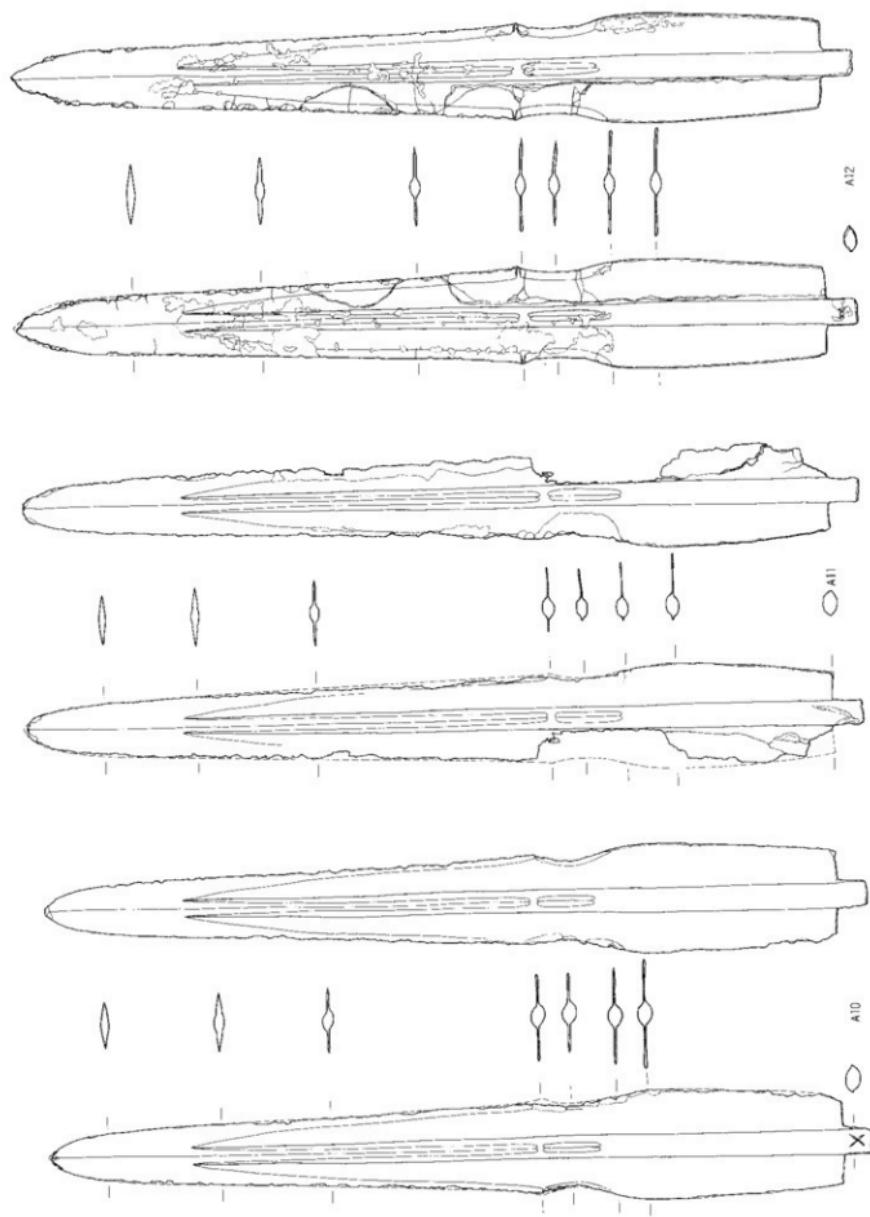
銅類番号	A列8号	分類	—	全長	推 50.80cm	開 鋸	推 5.60cm
切先方向	谷 奥	色調	10Y 4/2	現存長	推 50.60cm	茎下端 鋸	1.62cm
面	(A) 地 横	(B) 谷	—	剝身長	推 48.80cm	突起の位置	推 17.20cm
×印	(A) あ ひ	(B) な し	—	刀部長	推 31.50cm	前方最小幅の位置	—cm
重量(含骨頭)	403.0g	重量(含骨頭)	391.0g	剝方長	—cm	剝方下端の位置	—cm
A面骨頭(a)	1.42cm	B面骨頭(a)	1.36cm	茎長	平 2.00cm	最大幅の位置	9.00cm
" (b)	1.49cm	" (b)	1.45cm	突起幅	—cm	突起部厚	0.82cm
" (c)	1.52cm	" (c)	1.49cm	剝方最小幅	—cm	剝方下端厚	0.91cm
" (d)	1.60cm	" (d)	1.49cm	剝方下端幅	—cm	最大幅部厚	0.91cm
" (e)	1.68cm	" (e)	1.74cm	最大幅	—cm	開部厚	1.02cm
特徴	脊厚が厚い。突起の骨質が低め。	遺存状態	III	遺存状態	III	最大幅部端部厚	—cm
査定中の知見	基下端に垂直方向のタガネ底あり。直切断時の抜歯か?	査定年月日	1994年3月25日	実測者	佐藤 桂子	査定中の知見	—
船形位比	206/204	207/206	208/206	—	—	—	—
	17.721	0.8766	2.1643	—	—	—	—
定量分析	Cu(%) Sn(%) Pb(%) Ag(%) As(%) Bi(%) Co(%) Fe(%) Mn(ppm) Ni(%) Sb(%) Zn(ppm)	—	—	—	—	—	—
試料	色調	測定条件1 (%)	測定条件2 (%)	—	—	—	—
鉛の蛍光X線	Cu Sn Pb Fe Sb Ag Cu Sn Pb Fe As Si Al K Ca Cl S その他	—	—	—	—	—	—
A 8a	緑・茶	92 0.06 5.0 1.7 —	85 — 1.4 — 9.5 — 0.4 — 1.7 0.7 —	—	—	—	—
A 8b	緑・白・茶	89 0.3 6.4 1.9 —	80 — 1.4 — 12 1.6 0.6 0.08 1.6 0.9 —	—	—	—	—
A 8c	緑・茶・青	81 3.1 12 1.8 —	61 6.3 18 1.6 — 9.7 1.6 — △ 0.8 0.0 Bi	—	—	—	—

銅類番号	A列7号	分類	VII	全長	推 52.40cm	開 鋸	復 5.50cm
切先方向	谷 口	色調	7.5Y 4/3	現存長	推 52.20cm	茎下端 鋸	1.68cm
面	(A) 尾 横	(B) 谷	—	剝身長	推 50.25cm	突起の位置	推 22.00cm
×印	(A) あ ひ	(B) な し	—	刀部長	推 38.70cm	前方最小幅の位置	推 19.20cm
重量(含骨頭)	384.0g	重量(含骨頭)	370.0g	剝方長	平 5.85cm	剝方下端の位置	平 16.35cm
A面骨頭(a)	1.18cm	B面骨頭(a)	1.13cm	茎長	推 2.15cm	最大幅の位置	11.50cm
" (b)	1.22cm	" (b)	1.19cm	突起幅	推 5.83cm	突起部厚	0.69cm
" (c)	1.25cm	" (c)	1.22cm	剝方最小幅	推 5.00cm	剝方下端厚	0.72cm
" (d)	1.31cm	" (d)	1.31cm	剝方下端幅	推 5.85cm	最大幅部厚	0.77cm
" (e)	1.56cm	" (e)	1.50cm	最大幅	推 6.60cm	開部厚	0.89cm
特徴	脊厚が強い。骨質が薄い。突起部に「外引」あり。A面に穴孔あり。	遺存状態	II	遺存状態	II	最大幅部端部厚	0.14cm
査定中の知見	複数のある無い骨質付着。元部に穴(3mm位)あり。研磨痕。	査定年月日	1994年3月24日	実測者	木島 いすみ	査定中の知見	—
船形位比	206/204	207/206	208/206	—	—	—	—
	17.763	0.8752	2.1635	—	—	—	—
定量分析	Cu(%) Sn(%) Pb(%) Ag(%) As(%) Bi(%) Co(%) Fe(%) Mn(ppm) Ni(%) Sb(%) Zn(ppm)	—	—	—	—	—	—
試料	色調	測定条件1 (%)	測定条件2 (%)	—	—	—	—
鉛の蛍光X線	Cu Sn Pb Fe Sb Ag Cu Sn Pb Fe As Si Al K Ca Cl S その他	—	—	—	—	—	—
A 7a	緑・茶・青	90 1.2 4.5 2.3 —	75 — 1.8 — 16 3.7 0.6 — 1.3 0.6 —	—	—	—	—
A 7b	青・緑・茶	84 3.3 11 1.1 —	74 4.5 15 1.0 — 3.2 — — 0.6 0.0 —	—	—	—	—
A 7c	緑・青・茶	92 0.3 4.9 1.5 —	83 — 1.1 — 9.8 2.7 0.2 — 1.4 0.9 —	—	—	—	—



鋼種番号	A列12号	分類	I-1-①	全長	復	51.7cm	関	鉄	鋼	3.37cm		
初先方向	谷 燐	色調	10Y 5/2	現存長	復	51.6cm	基ト端	基	1.54cm			
面	(A)尾	種	(B)斧	前身長	復	49.8cm	突起の位置	甲	18.70cm			
×印	(A)あ	り	(B)な	刀部長	復	31.10cm	刃物小屋の位置	刃	16.50cm			
夏量(技術)	345.4 g	重量(含銅量)	350.0 g	側方長		5.5cm	側方刀端の位置		13.15cm			
A面背輪(a)	1.26cm	B面背輪(a)	1.27cm	茎長	復	1.98cm	最大幅の位置		10.30cm			
" (b)	1.26cm	" (b)	1.30cm	突起輪	復	5.90cm	突起部厚		0.64cm			
" (c)	1.32cm	" (c)	1.31cm	剣尖方小輪	復	5.12cm	刃下端穿孔		0.68cm			
" (d)	1.36cm	" (d)	1.38cm	剣下端輪	復	6.32cm	最大幅部穿孔		0.71cm			
" (e)	1.54cm	" (e)	1.51cm	最大輪	復	6.67cm	四部穿孔		0.80cm			
特徴	有厚が無い。元端部のズレが目立つ。	漢存状態	II	最大幅部穿孔		0.17cm	最大幅部穿孔		0.17cm			
修理中の見付	硬い鍔付着。研磨低。鍔広な劍身。			関端部厚		0.13cm						
実測年月日	1993年6月28日											
測定者	吉田 広											
鉛同位体比	206/204		207/206		208/206							
	18.098		0.8609		2.1418							
定量分析	Cu(%)	Sn(%)	Pb(%)	Ag(%)	As(%)	Bi(%)	Co(%)	Fe(%)	Mn(ppm)	Ni(%)	Sb(%)	Zn(ppm)
82.7	11.7	7.56	0.674	0.32	0.058	0.050	0.023	—	0.088	0.23	—	—
試料	色調	測定条件	1 (%)		測定条件	2 (%)						
	Cu Sn Pb Fe Sb Ag	Cu Sn Pb Fe As Si Al K Ca Cl S	その他の									
銅の光沢X線	A12 銀・青・茶	85 5.4 7.0 1.9 —	—	68 5.3 10 1.7 —	9.6 2.8 0.3 ×	0.9 0.0 —						

銅製番号 切先方向	A列11号 管 口	分類 色調	H=1 5G 5/8	全 長	推 51.6cm	開 開	壓 5.50cm
面 (A) 尾 垂	(b) 立	現 在 長	51.30cm	急 下 通 気	1.50cm		
×印 (A) 不 明	(b) 不 明	解 伸 身 長	49.65cm	空 次 の 位 置	17.30cm		
重積(合計)	377.1 g	重量(合後)	368.6 g	刃 部 長	32.40cm	刃方素小品の位置	15.20cm
A面面幅(a)	1.22cm	B面脊幅(a)	1.23cm	側 方 長	4.65cm	刃方下端の位置	12.65cm
" (b)	1.29cm	" (b)	1.24cm	茎 民	1.95cm	最大幅の位置	9.60cm
" (c)	1.35cm	" (c)	1.26cm	突 脊 頂	5.55cm	突起部厚	0.74cm
" (d)	1.38cm	" (d)	1.36cm	側方小幅(b)	4.90cm	刃方下端厚	0.76cm
" (e)	1.50cm	" (e)	1.30cm	刃方下端幅	5.70cm	最大幅部厚	0.82cm
特 徵	刃部が長め、突起の位置が低め。 刃方が細かい。	遺存状態	II	最 大 幅	6.50cm	肩 部 厚	0.90cm
修復中の見付	闇部の段差らしい			最 大 幅 加厚部		最 大 幅 加厚部	0.12cm
如何修復此	206/294 17.699	207/206 9.877	208/206 2.1664	闇 部 厚		闇 部 厚	0.16cm
定義分析	Cu(%) Sn(%) Pb(%) Ag(%) As(%) Bi(%) Co(%)	Fe(%) Mn(ppm) Ni(%) Sb(%) Zn(ppm)					
鉄の当量X線	試 料 色 調	測 定 条 件 1 (%)		測 定 条 件 2 (%)			
	Cu Sn Pb Fe Sb Ag	Cu Sn Pb Fe As Si Al K Ca Cl S その他					

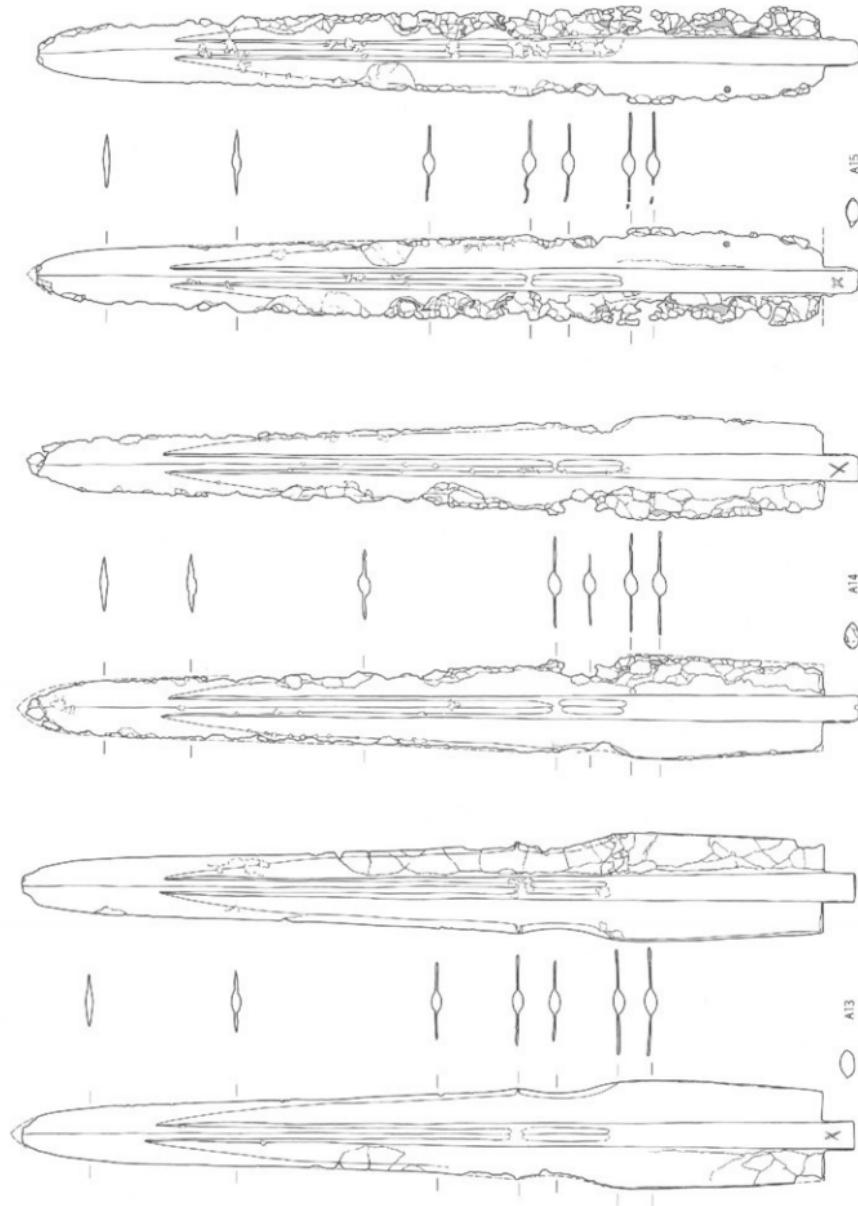


銅番号		A列15号		分類		全長		復		51.05cm		開		幅		—cm			
初次方向		谷 口		色調		5G 5/6		現存長		50.55cm		重下端		推		1.75cm			
面		(A) 尾根		(B) 谷		刺身長		刺身復		48.80cm		突起の位置		18.00cm					
×白		(A) あり		(B) なし		刃部長		刃部復		30.80cm		刃片最小幅の位置		—cm					
重量(含前)		387.0 g		重量(含後)		365.0 g		刃片長		—cm		刃片下端の位置		—cm					
A歯齊幅(a)		1.38cm		B歯齊幅(b)		推1.33cm		茎長		2.25cm		最大幅の位置							
# (b)		1.40cm		# (b)		1.39cm		突起端		—cm		突起部厚		0.82cm					
# (c)		1.43cm		# (c)		1.41cm		側方最小幅		—cm		刃片下端幅		0.79cm					
# (d)		1.44cm		# (d)		1.42cm		刃片下端幅		—cm		最大幅部厚		0.84cm					
# (e)		1.51cm		# (e)		1.53cm		最大幅		—cm		開辟部厚		0.91cm					
特徴		多がやや長い。鉤掛けあり。		遺存状態		IV		—cm		開端部厚		—cm							
基準寸法の如き		表裏がクリーテー状に腐食										実測年月日		1993年6月29日					
船同様体		206/204		207/206		208/206						実測者		吉田 広					
定年 分析		17.731		0.8769		2.1653													
Cu(%)		Sn(%)		Pb(%)		Ag(%)		As(%)		Bi(%)		Co(%)		Fe(%)		Mn(ppm)			
91.0		3.93		5.76		0.13		0.54		0.052		0.031		—		0.15			
試料		色調		測定条件1 (%)								測定条件2 (%)							
著の後光 X線		Cu		Sn		Pb		Fe		Sb		Ag		Cu		Sn		Pb	
		Fe		As		Sb		As		Sb		As		Sb		As		Sb	
		K		Ca		Cl		S		K		Ca		Cl		S		その他	

調査番号	A列14号	分類	H-2-①	全長	推	51.72cm	回転輪	推	5.30cm							
初先方角	谷 奥	色調	5G 6/8	現存長	推	51.20cm	左下端輪	推	1.59cm							
面	(A) 尾根	(B) 谷	前身長	推	49.40cm	穴起の位度	推	16.40cm								
×印	(A) なし	(B) あり	刀部長	推	33.00cm	刃羽根小輪の位置	推	14.30cm								
重積(含後面)	414.9 g	重量(含後面)	401.0 g	制力	推	4.60cm	刃引下端の位置	推	11.80cm							
A型管輪(a)	1.41cm	B型管輪(a)	1.34cm	多長	推	2.32cm	最大幅の位置	推	10.00cm							
π (b)	1.42cm	π (b)	1.37cm	次 超 端	推	5.90cm	穴起部厚	推	0.84cm							
π (c)	1.48cm	π (c)	1.38cm	制力最小端	推	5.30cm	刃下端遊隙	推	0.88cm							
π (d)	1.50cm	π (d)	1.43cm	刃下端端	推	6.10cm	最大幅部厚	推	0.88cm							
π (e)	1.52cm	π (e)	1.45cm	最 大 端	推	6.40cm	回 転 葉 厚	推	0.96cm							
特徴	背びがやや厚い、穴起の位置が低い。刃脚が長い。元部が細かい。茎が長い。刃方が短かい。	遺存状態	III	最大幅部厚	推	0.14cm										
参考書の見出	表記がクレーター状に齧食。						実年月日	1993年6月24日								
始端位体比	206/294		207/296		208/296		実測者	古田 広								
	17.997		0.8653		2.1479											
定量分析	Cu(%)	Sn(%)	Pb(%)	Ag(%)	As(%)	Bi(%)	Co(%)	Fe(%)	Mn(ppm)	Ni(%)	Sb(%)	Zn(ppm)				
被の堂光X線	試料	色調	測定条件 J	(%)	測定条件 Z	(%)										
	Cu	Sn	Pb	Fe	Sb	Ag	Cu	Sn	Pb	Fe	As	Si	Al	K	Ca	Cl

銅劍 (A13・A14・A15)

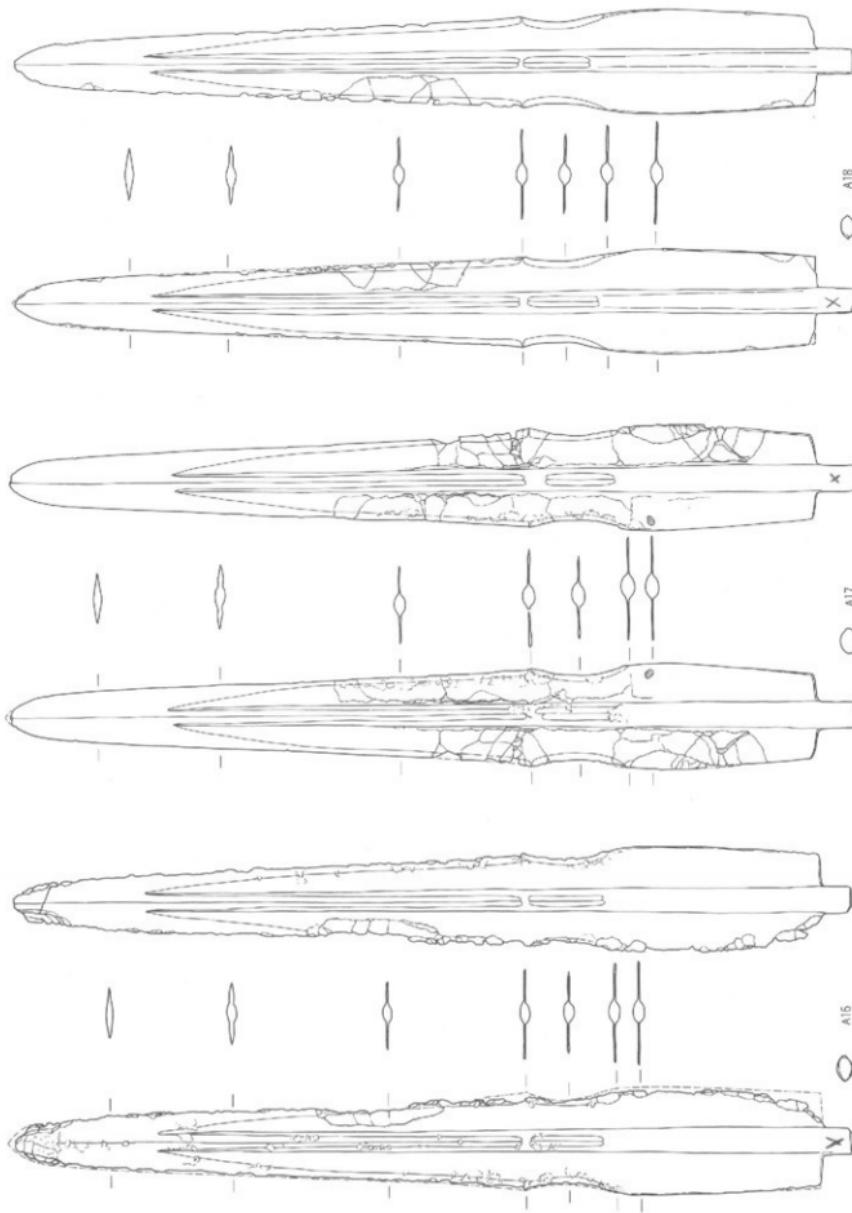
図版40





銅剣 (A16・A17・A18)

図版41



銅 制 帯 号	A列21号	分 類	—	全 長	推 51.95cm	開 端	—cm
切 先 方 向	谷 L1	色 調	5G 5/4	現 在 長	51.15cm	差 下 領	1.53cm
曲	(A) 極 埋	(B) 谷		現 有 長	49.49cm	突 起 の 位 置	
×印	(A) な し	(B) あ り		刃 部 長	推 32.70cm	刃 付 点 の 位 置	—cm
重量(表記)	407.1g	重量(実測)	385.0g	刃 部 長	—cm	刃 付 下 端 の 位 置	—cm
A面 脊幅(a)	1.33cm	B面 脊幅(a)	1.33cm	茎 長	2.46cm	最 大 脊 の 位 置	—cm
" (b)	1.29cm	" (b)	1.30cm	突 起 幅	—cm	突 起 底 部 厚	0.95cm
" (c)	1.35cm	" (c)	1.40cm	刃 部 最 小 幅	—cm	刃 付 下 端 幅 度	0.94cm
" (d)	1.36cm	" (d)	1.38cm	刃 付 下 領	—cm	最 大 脊 肩 高	0.96cm
" (e)	1.49cm	" (e)	1.51cm	最 大 墓	—cm	開 部 齒 深	1.05cm
特 徴	脊厚が無い、突起の位置が低い。 刃部が長め、谷と裏の境に際取りが明瞭。	遺存状態	IV			大根頭頭部厚	—cm
修理中の如見	丸みのある長めの茎部。残存状態悪い。					開 部 沢	—cm
突出部位北	206/204	207/206		208/206		突出部位年月	1993年5月20日
	17.723	0.8777		2.1650		突 出 時	者 佐藤 機子
定 量 分 析	Cu(%) Sn(%) Pb(%) Ag(%) As(%) Bi(%) Co(%) Fe(%) Mn(ppm)					Ni(%) Sb(%) Zn(ppm)	
試 料	色 調	測 定 条 件 1 (%)			測 定 条 件 2 (%)		
	Cu Sn Pb Fe Sb Ag	Cu Sn Pb Fe As Si Al K Ca Cl S その他					
種の當光X線							

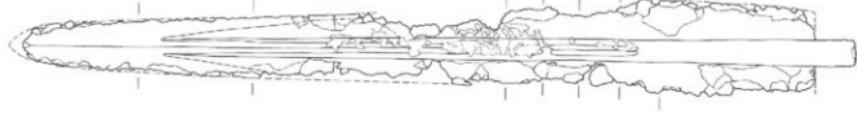
鋼種番号	A列19号	分類	I-2-③	全長	推進	5.80cm	開口幅	推進	5.75cm						
初先方向	谷口	色調	5Y 3/2	現有長	50.50cm		基下幅	幅	1.65cm						
西	(A) 屋根	(b)	谷	頸身長	推進	48.83cm	突起の位置		17.20cm						
×印	(A) あり	(b)	なし	刃部長	推進	31.60cm	刃方最大幅の位置		14.50cm						
重量(含前後)	369.0 g	重量(含後)	350.0 g	刃部長	平均	5.46cm	刃方下端の位置		11.70cm						
A面角幅(a)	1.40cm	B面角幅(a)	1.35cm	茎長		1.97cm	最大幅の位置		11.29cm						
π (b)	1.43cm	π (b)	1.36cm	突起幅		5.85cm	突起部厚		0.68cm						
π (c)	1.47cm	π (c)	1.39cm	刃方最小幅		5.30cm	刃方下端厚		0.72cm						
π (d)	1.50cm	π (d)	1.40cm	刃方下端幅	推進	6.30cm	最大輪郭厚		0.72cm						
π (e)	1.61cm	π (e)	1.64cm	最大幅		6.43cm	開口部厚		0.85cm						
特徴	右側に深い、突起の位置が低め。 元部が傾かず。	造脊状態	II				最大輪郭部厚		0.18cm						
修理部の細見	輪郭な斜削。茎部前面にヒレ状の突起あり(甲張りが残存?)。						開口部厚		0.13cm						
初期回位比	206/204		207/206		208/206		実測年月日	1993年1月28日							
	17.720		0.8771		2.1646		実測者	佐藤 繁子							
定量分析	Cu(%)	Sn(%)	Pb(%)	Ag(%)	As(%)	Bi(%)	Co(%)	Fe(%)	Mn(ppm)						
	—	—	—	—	—	—	—	—	Ni(%)						
	試料	色調	剖定条件	i (%)			剖定条件	2 (%)							
	Cu	Sn	Pb	Fe	Sb	Ag	Cu	Sn	Pb						
鉄の先端X線							Fe	As	Si	Al	K	Ca	Cl	S	その他

銅劍 (A19・A20・A21)

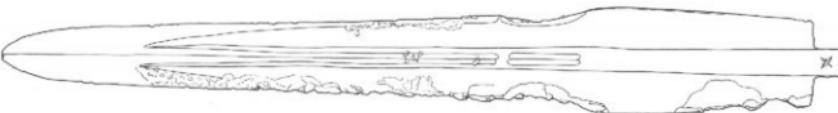
図版42



A21



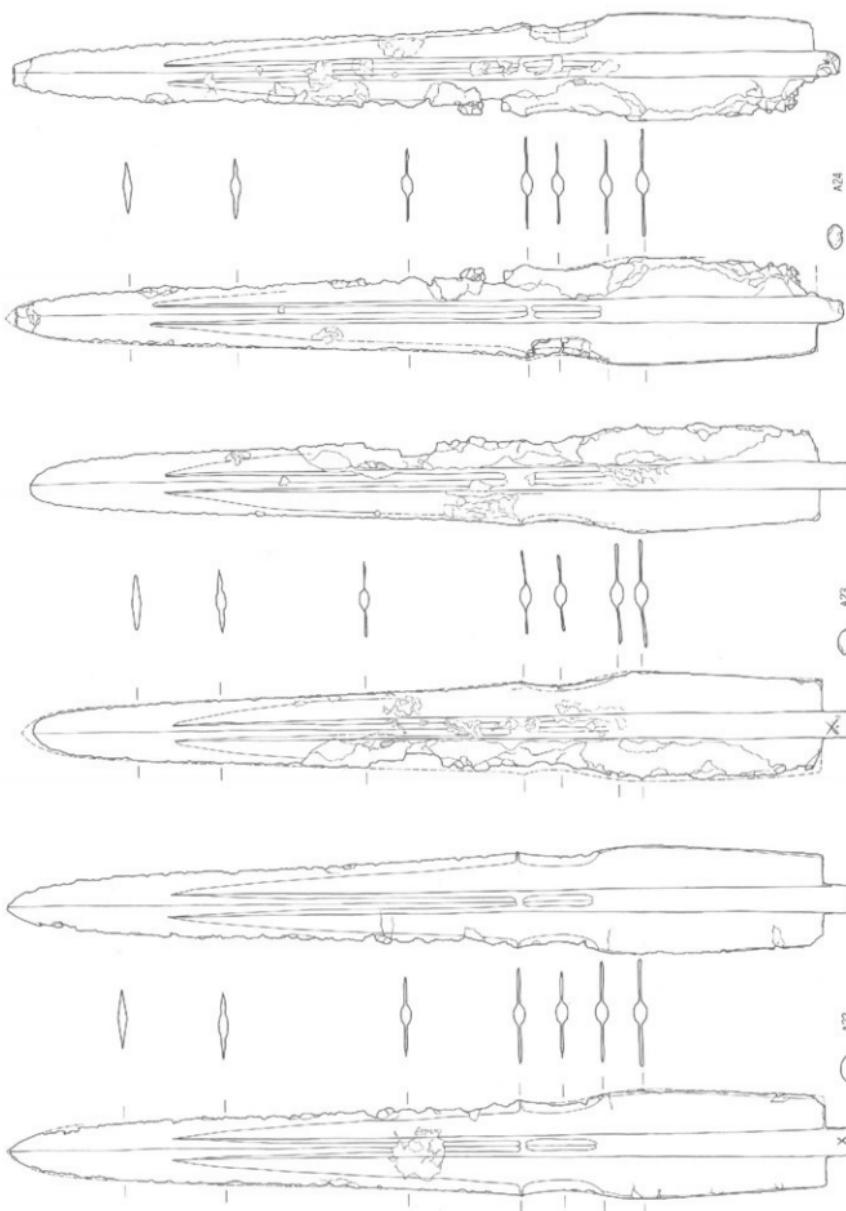
A20



A19



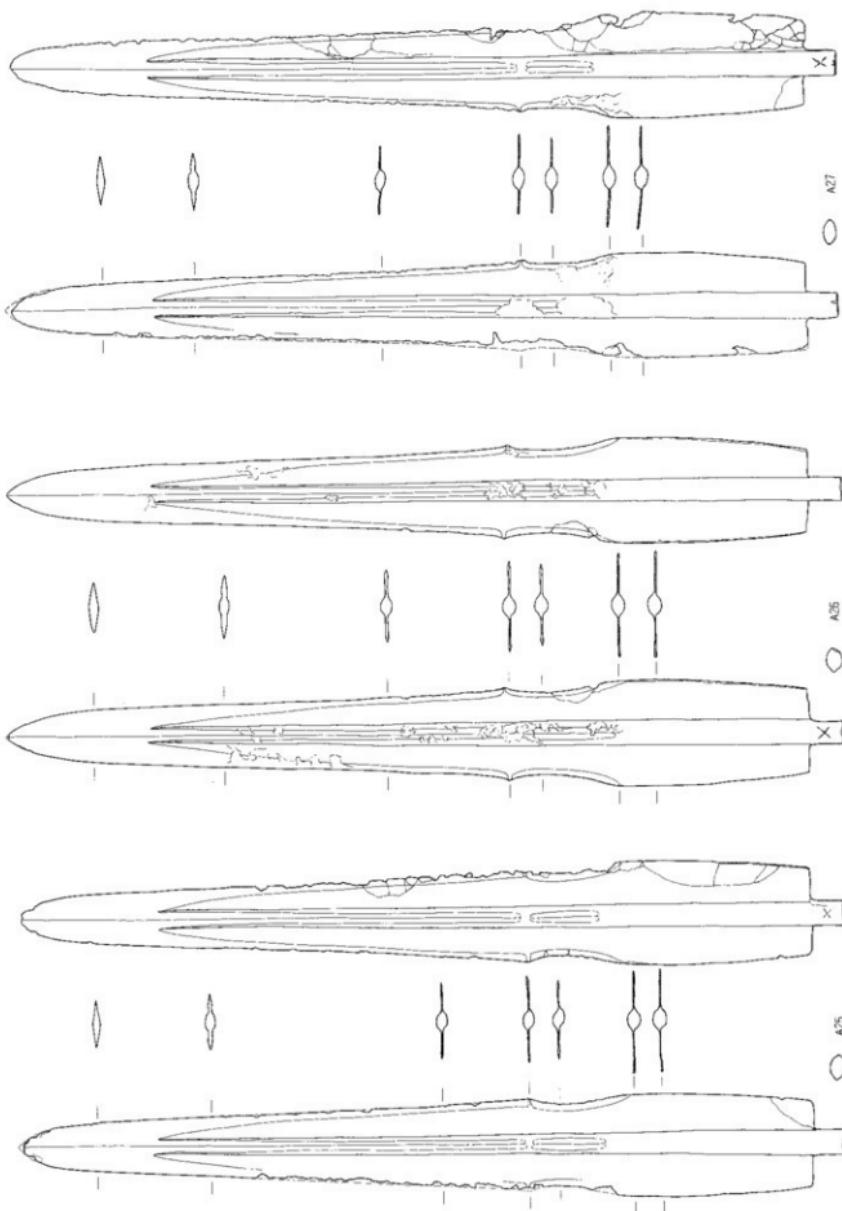




鋼種番号	A列27号	分類	1-2-⑤	全長	後	51.10cm	開	輪	推	5.25cm										
切先方四 刃	谷口	色調	5GY 5/2	塊	块	50.70cm	束	端	轉	1.55cm										
面	(A) 尾板	(B)	谷	側身	身	49.10cm	起	位	置	17.50cm										
×印	(A) なし	(B)	あ	刀部	刀部	31.60cm	剝	方	小	15.50cm										
重量(含荷重)	429.5 g	重量(含荷重)	408.0 g	剝	方	5.50cm	剝	刀下	位置	12.00cm										
A面曲率(a)	1.33cm	B面曲率(a)	1.31cm	茎	長	2.00cm	剝	大柄	位若	10.00cm										
# (b)	1.37cm	# (b)	1.32cm	起	尾	5.55cm	起	曲	厚	0.77cm										
# (c)	1.43cm	# (c)	1.37cm	剝	方小帽	5.15cm	剝	下落	厚	0.79cm										
# (d)	1.41cm	# (d)	1.38cm	剝	刀下摩	6.25cm	剝	大柄	厚	0.80cm										
# (e)	1.56cm	# (e)	1.51cm	剝	大	6.50cm	開	部	厚	0.90cm										
特	種	谷	が	やや	曲	遠	存	状	態	II										
谷	が	やや	曲	め	め	遠	存	状	態	II										
発現する知見	鍛打記り	り	方	元部	は綴	りか	な	か	カーブ	を描く。										
如何に位相	206/204	207/206	208/206																	
	17.534	0.8825	2.1717																	
定量分析	Cu(%)	Sn(%)	Pb(%)	Ag(%)	As(%)	Bi(%)	Co(%)	Fe(%)	Mn(ppm)	Ni(%)	Sb(%)	Zn(ppm)								
	74.2	9.45	13.2	0.14	0.37	0.068	0.045	0.051	-	0.13	0.30	<0.1								
試	料	色	調	測	定	条件	1	(%)	測	定	条件	2	(%)							
	Cu	Sn	Ph	Fe	Sb	Ag	Cu	Sn	Pb	Fe	As	Si	Al	K	Ca	Cl	S	その他		
の	7A27-256	緑	青	青	88	0.3	10	6.1	-	60	0.0	17	5.4	12	1.8	0.9	0.2	0.8	0.0	
の	1A27-256	緑	青	青	0.02	4.3	19	-	-	57	1.9	3.2	16	-	16	2.6	○	-	1.0	0.2
の	A27-296	緑	青	青	93	0.2	8.0	1.9	-	71	1.0	14	1.7	--	9.0	0.9	△	-	1.3	0.0
の	A27-296	緑	青	青	89	1.2	7.2	1.9	0.1	0.01	93	0.5	0.0	1.5	0.2	-	0.3	0.05	0.2	1.5

銅劍 (A 25・A 26・A 27)

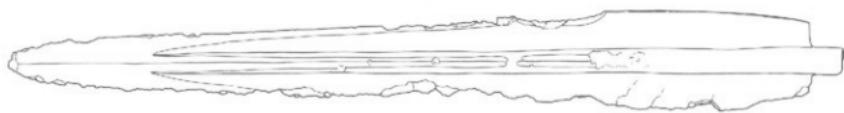
図版44



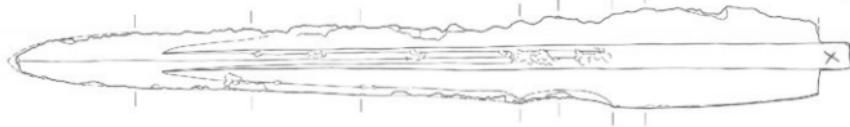
銅剤番号	A列30号	分類	I 1-①	全長	推	51.89cm	開幅	推	4.60cm													
初先方向	谷 奥	色調	5G 5/4	現存長	51.30cm	基下端幅	1.60cm															
面	(A) 尾根	(B)	谷	剝身長	推	49.86cm	突起の位置	18.40cm														
×印	(A) あり	(B)	なし	刀部長	推	31.40cm	剝方最下端の位置	16.00cm														
重量(含浸液)	442.1g	重量(含浸後)	429.0g	剝方長	5.70cm	剝方下端の位置	12.70cm															
A面脊輪(a)	1.39cm	B面脊輪(a)	1.28cm	基長	平	1.94cm	最大幅の位置	16.70cm														
" (b)	1.38cm	" (b)	1.34cm	突起幅	推	5.75cm	剝方部脊厚	0.79cm														
" (c)	1.41cm	" (c)	1.38cm	剝方最下端	推	5.05cm	剝方下端脊厚	0.83cm														
" (d)	1.42cm	" (d)	1.42cm	剝下方端幅	推	6.19cm	最大幅部脊厚	0.86cm														
" (e)	1.53cm	" (e)	1.60cm	最大幅	推	6.39cm	開部脊厚	0.96cm														
特徴	全体に細なつくり。有厚が厚め。	遺存状態	II				最大幅部端幅	0.19cm														
修理手の加見	表面の調整良好。						開部厚	0.17cm														
鉛同位体比	206/204		207/206		208/206		実測年月日	1993年4月15日														
	17.628		0.8809		2.1704		実測者	佐藤 繁														
定量分析	Cu(%)	Sn(%)	Pb(%)	Ag(%)	As(%)	Bi(%)	Co(%)	Fe(%)	Mn(ppm)													
	—	—	—	—	—	—	—	—	Ni(%)													
	試料	色調	測定条件1 (%)	Cu	Sn	Pb	Fe	Sb	Ag	測定条件2 (%)	Sb(%)	Zn(ppm)										
種の変光X線				Cu	Sn	Pb	Fe	Sb	Ag	Cu	Sn	Pb	Fe	As	Si	Al	K	Ca	Cl	S	その他	
				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

銅剤番号	A列29号	分類	III 1-②	全長	推	51.67cm	開幅	推	5.30cm													
初先方向	谷 口	色調	5G 6/4	現存長	50.40cm	基下端幅	1.60cm															
面	(A) 尾根	(B)	谷	剝身長	推	49.60cm	突起の位置	16.60cm														
×印	(A) あり	(B)	なし	刀部長	推	31.00cm	剝方最下端の位置	16.60cm														
重量(含浸前)	418.2g	重量(含浸後)	402.0g	剝方長	推	5.10cm	剝方下端の位置	推	13.50cm													
A面脊輪(a)	1.42cm	B面脊輪(a)	1.29cm	基長	平	2.07cm	最大幅の位置	9.10cm														
" (b)	1.44cm	" (b)	1.33cm	突起幅	推	6.00cm	剝方部脊厚	0.65cm														
" (c)	1.44cm	" (c)	1.34cm	剝方最下端	推	5.40cm	剝方下端脊厚	0.71cm														
" (d)	1.51cm	" (d)	1.43cm	剝下方端幅	推	6.30cm	最大幅部脊厚	0.73cm														
" (e)	1.58cm	" (e)	1.53cm	最大幅	推	6.70cm	開部脊厚	0.86cm														
特徴	有厚が薄い。 剝方がやや透かい。	遺存状態	II				最大幅部端幅	0.18cm														
修理手の加見	筋骨部の詰付差。						開部厚	0.23cm														
鉛同位体比	206/204		207/206		208/206		実測年月日	1993年7月15日														
	17.594		0.8797		2.1696		実測者	佐藤 繁														
定量分析	Cu(%)	Sn(%)	Pb(%)	Ag(%)	As(%)	Bi(%)	Co(%)	Fe(%)	Mn(ppm)	Ni(%)	Sb(%)	Zn(ppm)										
	84.6	2.62	9.07	0.11	0.47	0.025	0.093	0.19	<1	0.12	0.67	47										
	試料	色調	測定条件1 (%)	Cu	Sn	Pb	Fe	Sb	Ag	測定条件2 (%)	Cu	Sn	Pb	Fe	As	Si	Al	K	Ca	Cl	S	その他
種の変光X線	A27~29h	緑・青・白	82	0.1	15	1.9	—	66	0.5	21	1.6	—	7.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—

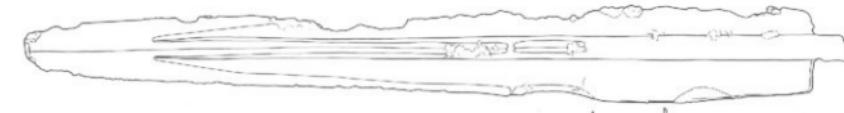
銅剤番号	A列28号	分類	I 1-②	全長	推	51.32cm	開幅	推	5.45cm												
初先方向	谷 奥	色調	5G 5/4	現存長	50.32cm	基下端幅	1.65cm														
面	(A) 尾根	(B)	谷	剝身長	推	49.60cm	突起の位置	17.80cm													
×印	(A) なし	(B)	あり	刀部長	推	31.20cm	剝方最下端の位置	推	15.50cm												
重量(含浸前)	387.3g	重量(含浸後)	374.0g	剝方長	推	5.70cm	剝方下端の位置	推	12.10cm												
A面脊輪(a)	1.36cm	B面脊輪(a)	1.40cm	基長	平	2.22cm	最大幅の位置	11.20cm													
" (b)	1.40cm	" (b)	1.45cm	突起幅	推	6.00cm	剝方部脊厚	0.74cm													
" (c)	1.42cm	" (c)	1.46cm	剝方最下端	推	5.35cm	剝方下端脊厚	0.76cm													
" (d)	1.46cm	" (d)	1.46cm	剝下方端幅	推	6.00cm	最大幅部脊厚	0.77cm													
" (e)	1.59cm	" (e)	1.58cm	最大幅	推	6.70cm	開部脊厚	0.86cm													
特徴	有厚が薄い。筋が細めで太い。	遺存状態	III				最大幅部端幅	0.16cm													
修理手の加見	筋骨部の繻が明顯。						開部厚	—													
鉛同位体比	206/204		207/206		208/206		実測年月日	1993年7月1日													
	17.623		0.8820		2.1754		実測者	青田 広													
定量分析	Cu(%)	Sn(%)	Pb(%)	Ag(%)	As(%)	Bi(%)	Co(%)	Fe(%)	Mn(ppm)	Ni(%)	Sb(%)	Zn(ppm)									
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—									
	試料	色調	測定条件1 (%)	Cu	Sn	Pb	Fe	As	Si	Al	K	Ca	Cl	S	その他						
種の変光X線	A27~29h	緑・青・茶	89	0.1	7.7	2.5	—	82	0.0	14	2.3	—	0.2	—	0.3	0.09	0.05	0.0	—	—	—
	A27~29h	緑・青・茶	89	0.07	7.2	2.3	—	75	0.9	9.2	2.0	—	9.6	1.2	—	1.3	0.0	—	—	—	—
	A27~29g	緑・青・茶	85	0.1	8.0	4.6	—	67	0.0	13	4.1	—	10	2.0	0.6	0.2	0.9	0.0	—	—	—
	A27~29	緑・青・茶	76	0.02	21	1.8	—	63	1.2	22	1.3	—	7.4	0.3	0.1	1.7	0.0	—	—	—	—



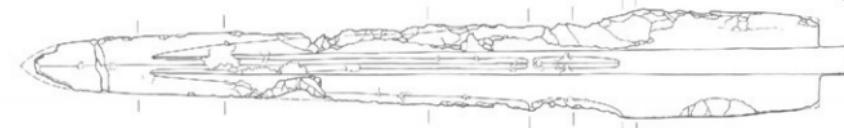
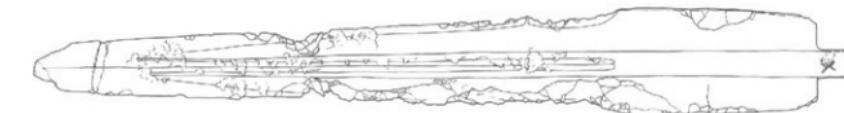
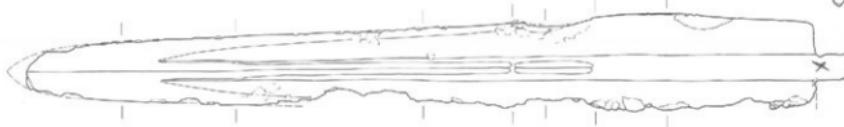
A 30



A 29

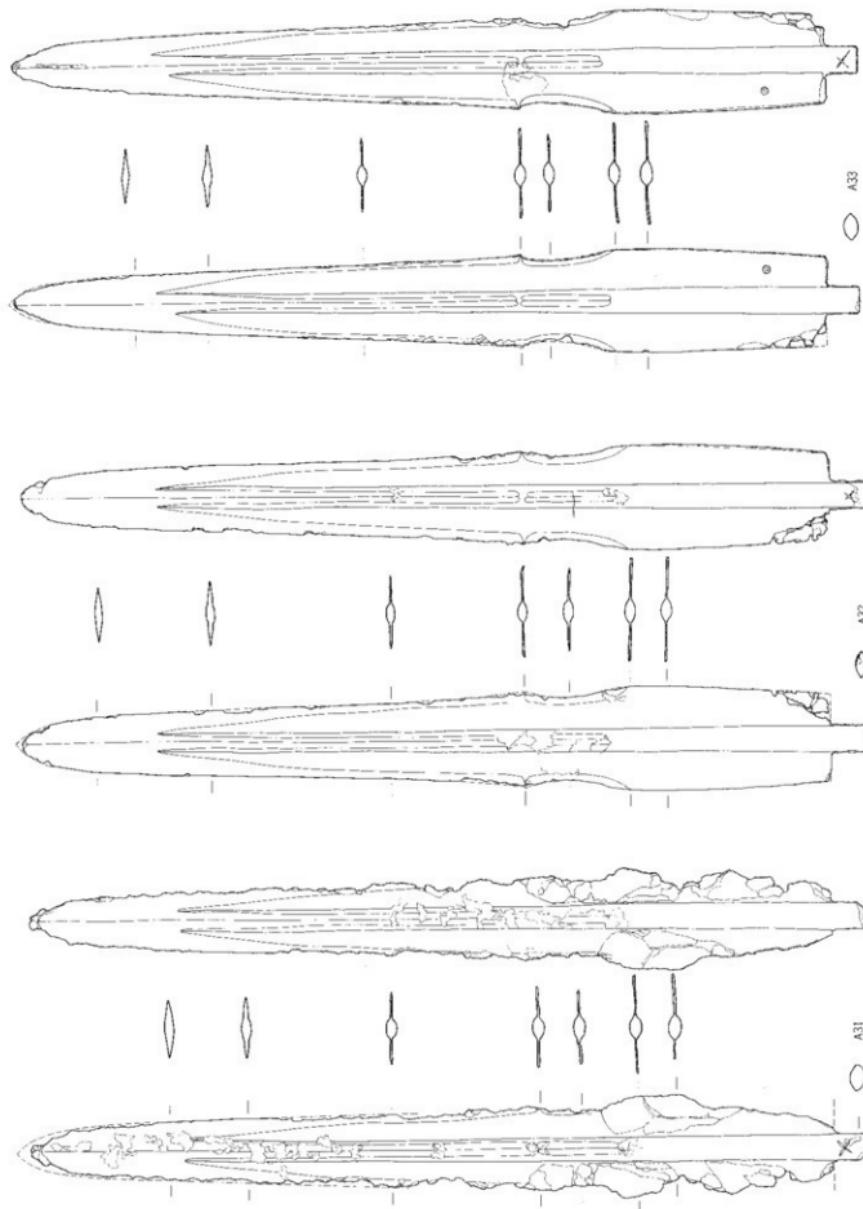


A 28

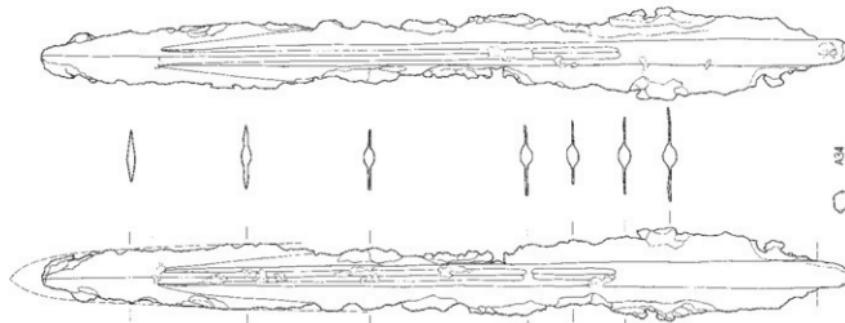


銅 制 品 号	A列33号	分類	1-1	全 長	推 52.20cm	開 編	推 5.40cm
切 先 方 向	谷 I	色 暗	5GY 4/2	現 在 我	推 51.94cm	半 下 鋸	1.64cm
面	(A) 笔 直	(B) 谷		身 伸 延	推 50.15cm	起 斜 の 位 置	18.80cm
(A) なし	(B) あり			力 弱 伸 延	推 31.40cm	剪方下端の位置	17.00cm
重量(含前)	426.4 g	重量(含後)	413.0 g	力 强 伸 延	平 5.80cm	剪方下端の位置	13.00cm
A面(右側)(a)	1.35cm	B面(左側)(b)	1.35cm	柔 弱 伸 延	平 2.05cm	最大幅の 位 置	11.00cm
n (b)	1.36cm	n (b)	1.33cm	突 起 幅	推 5.80cm	最大幅の 位 置	0.66cm
n (c)	1.44cm	n (c)	1.43cm	弓 弛 伸 延	推 5.00cm	剪方最 小幅	0.72cm
n (d)	1.45cm	n (d)	1.46cm	剪方下端	推 6.25cm	最大幅 部厚	0.76cm
n (e)	1.56cm	n (e)	1.61cm	最 大 幅	推 6.34cm	剪方 部 厚	0.925cm
其 他	無	其 他	無	遺 留 状 態		最大幅部 部 厚	0.145cm

修理中の細見：系下端はシャープに切断。元部に正円の鉤掛けあり。







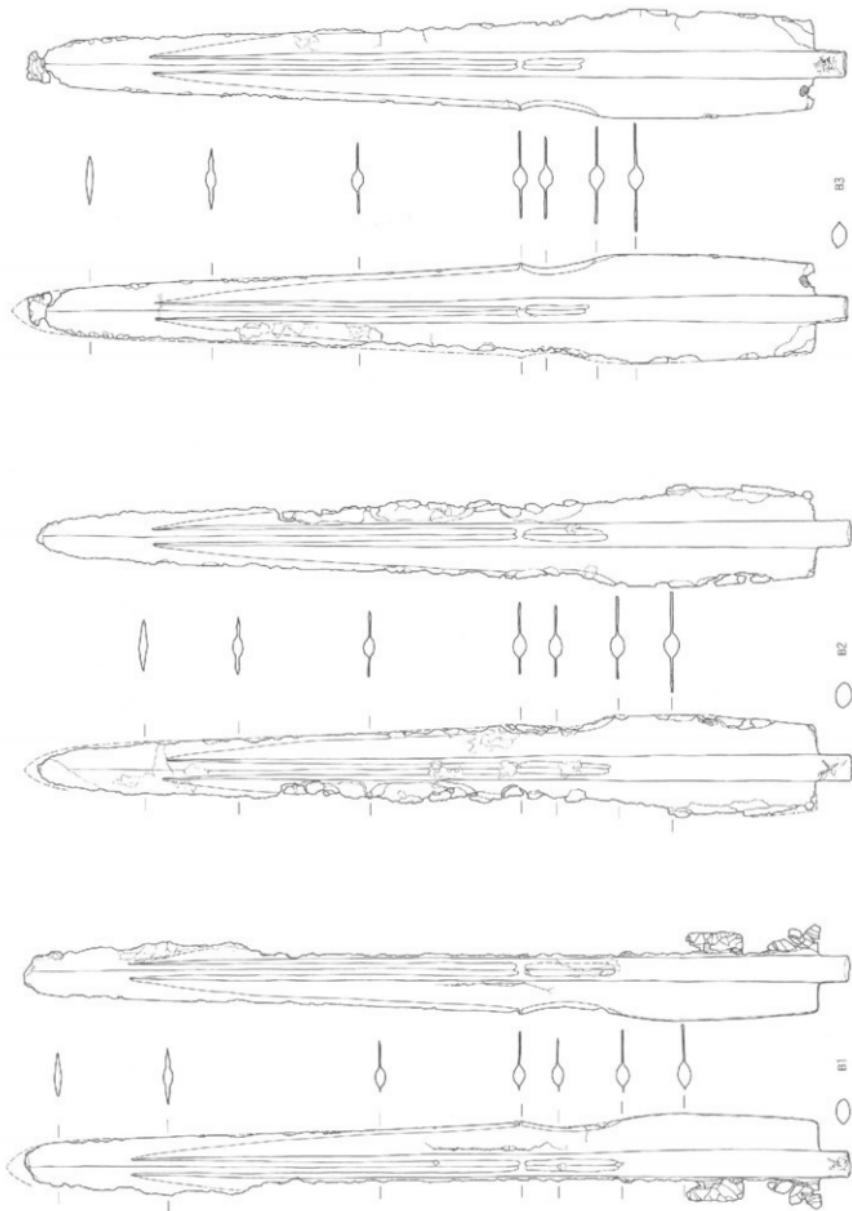
銅削番号	B列3号	分類	III-1-②		全長	推	51.30cm	開	幅	5.38cm
			色調	5G 5/2						
切先方向	谷 口	(A) 尾 横	(B) 谷	現 有 長	50.35cm	刃 下 端 幅	1.49cm			
面		(A) あ り	(B) な し	剝 身 長	49.30cm	突 起 の 位 置	18.05cm			
×印		(A) あ り	(B) な し	刀 部 長	31.25cm	刃方巻きの位置	16.50cm			
重量(含後)	398.6g	重量(含後)	388.0g	剝 方 長	4.70cm	剝方下端の位置	13.25cm			
A面脊幅(a)	1.45cm	B面脊幅(a)	1.48cm	最 大 幅	2.00cm	最大幅の位置	11.00cm			
π (b)	1.43cm	π (b)	1.50cm	突 起 幅	5.80cm	突起部厚	0.91cm			
π (c)	1.41cm	π (c)	1.55cm	剝方巻小幅	5.20cm	剝方下端厚	0.94cm			
π (d)	1.47cm	π (d)	1.37cm	剝方下端幅	6.40cm	最大幅部厚	0.95cm			
π (e)	1.57cm	π (e)	1.62cm	最 大 幅	6.71cm	開 部 幅	0.92cm			
特徴				遺存状態	II	最大幅部端部厚	0.18cm			
						開 部 厚	0.13cm			
修理中の知見	高部側面にヒレ状突起あり(甲張りが残る?)、鏽掛けあり。					実測年月日	1993年7月14日			
鉛同位体比	206/204 17.732		207/206 0.8768		208/206 2.1653					
定量分析	Cu(%) Sn(%) Pb(%) Ag(%) As(%) Bi(%) Co(%) Fe(%) Mn(ppm) Ni(%) Sb(%) Zn(ppm)									
試料	色調	測定条件1 (%)			測定条件2 (%)					
鋼の合金X線	B3 緑・茶	Cu Sn Pb Fe Sb Ag Cu Sn Pb Fe As Si Al K Ca Cl S その他	71 8.9 17 1.8 — 0.1 50 15 24 1.5 — 6.3 — 0.0 1.2 0.0 —							

銅削番号	B列2号	分類	全長	推	50.90cm	開	幅	5.30cm	
切先方向	谷 口	(A) 尾 横	(B) 谷	現 有 長	50.90cm	刃 下 端 幅	1.56cm		
面	(A) あ り	(B) な し		剝 身 長	48.67cm	突 起 の 位 置	18.20cm		
×印	(A) あ り	(B) な し		刀 部 長	30.50cm	刃方巻小幅の位置	16.00cm		
重量(含後)	412.2g	重量(含後)	402.0g	剝 方 長	6.00cm	剝方下端の位置	12.20cm		
A面脊幅(a)	1.42cm	B面脊幅(a)	1.42cm	最 大 幅	2.23cm	最大幅の位置	8.90cm		
π (b)	1.49cm	π (b)	1.43cm	突 起 幅	—cm	突起部厚	0.81cm		
π (c)	1.45cm	π (c)	1.45cm	剝方巻小幅	—cm	剝方下端厚	0.89cm		
π (d)	1.49cm	π (d)	1.50cm	剝方下端幅	—cm	最大幅部厚	0.92cm		
π (e)	1.62cm	π (e)	1.63cm	最 大 幅	—cm	開 部 幅	1.00cm		
特徴	脊厚が厚い。	脊と翼の境に摩取りが時々		遺存状態	IV	最大幅部端部厚	0.10cm		
						開 部 厚	0.16cm		
修理中の知見	光部の調整良好。					実測年月日	1993年7月9日		
鉛同位体比	206/204 17.740		207/206 0.8763		208/206 2.1647				
定量分析	Cu(%) Sn(%) Pb(%) Ag(%) As(%) Bi(%) Co(%) Fe(%) Mn(ppm) Ni(%) Sb(%) Zn(ppm)								
試料	色調	測定条件1 (%)			測定条件2 (%)				
鋼の合金X線	B2 緑・茶・白	Cu Sn Pb Fe Sb Ag Cu Sn Pb Fe As Si Al K Ca Cl S その他	37 21 37 1.8 1.1 0.7 19 28 47 1.0 — 1.9 — 1.2 0.0 --						

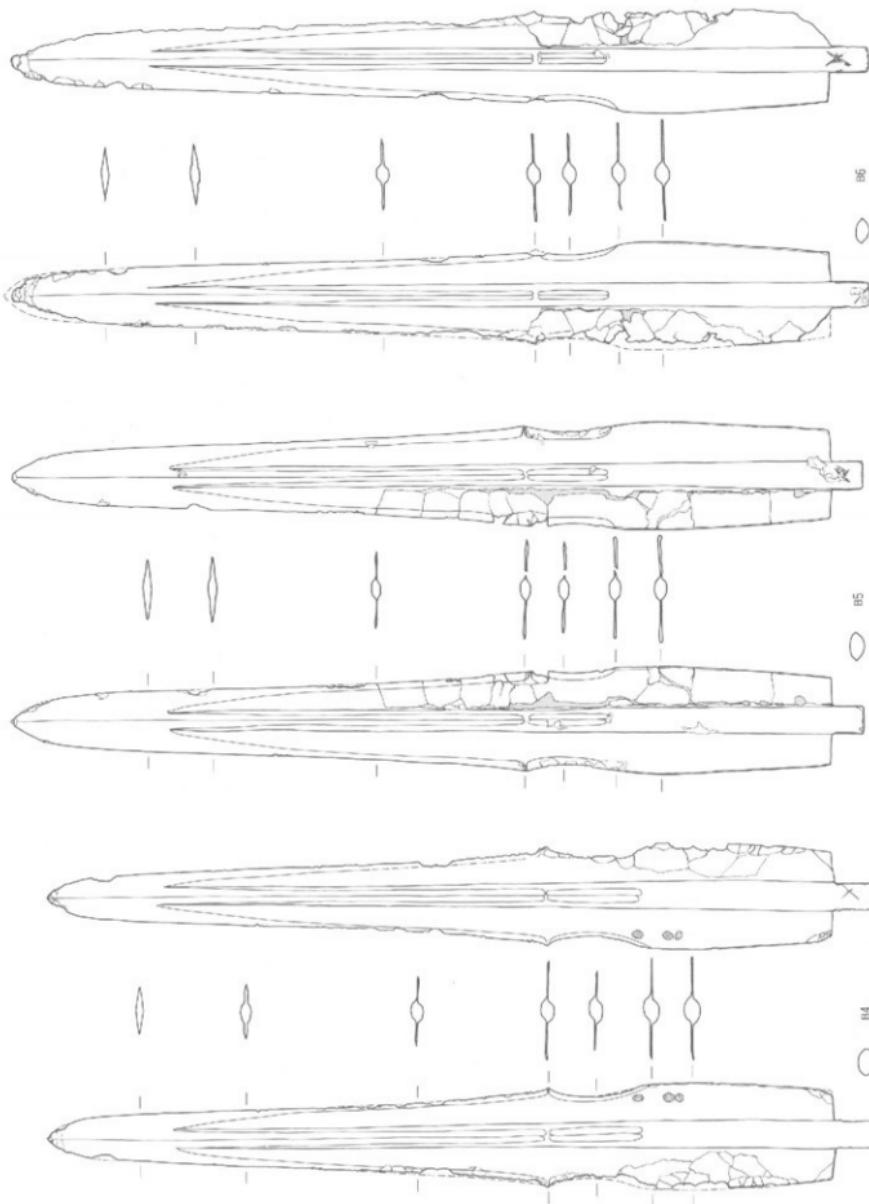
銅削番号	B列1号	分類	全長	推	51.86cm	開	幅	5.10cm
切先方向	谷 口	(A) 尾 横	(B) 谷	現 有 長	50.76cm	刃 下 端 幅	1.56cm	
面	(A) あ り	(B) な し		剝 身 長	49.30cm	突 起 の 位 置	18.30cm	
×印	(A) あ り	(B) な し		刀 部 長	31.60cm	刃方巻小幅の位置	16.00cm	
重量(含後)	338.2g	重量(含後)	332.0g	剝 方 長	6.20cm	剝方下端の位置	12.10cm	
A面脊幅(a)	1.34cm	B面脊幅(a)	1.35cm	最 大 幅	1.96cm	最大幅の位置	8.30cm	
π (b)	1.42cm	π (b)	1.41cm	突 起 幅	5.00cm	突起部厚	0.74cm	
π (c)	1.53cm	π (c)	1.45cm	剝方巻小幅	4.65cm	剝方下端厚	0.81cm	
π (d)	1.62cm	π (d)	1.45cm	剝方下端幅	5.53cm	最大幅部厚	0.88cm	
π (e)	1.62cm	π (e)	1.62cm	最 大 幅	6.30cm	開 部 幅	0.86cm	
特徴	剝方が長め。			遺存状態	IV	最大幅部端部厚	0.13cm	
						開 部 厚	0.13cm	
修理中の知見	正下端は横長の楕円形を呈する。片半邊ほどんど欠損。					実測年月日	1993年7月1日	
鉛同位体比	206/204 17.815		207/206 0.8737		208/206 2.1598			
定量分析	Cu(%) Sn(%) Pb(%) Ag(%) As(%) Bi(%) Co(%) Fe(%) Mn(ppm) Ni(%) Sb(%) Zn(ppm)							
試料	色調	測定条件1 (%)			測定条件2 (%)			
鋼の合金X線	B1 茶・緑・白	Cu Sn Pb Fe Sb Ag Cu Sn Pb Fe As Si Al K Ca Cl S その他	20 43 21 4.6 2.3 0.6 10 40 41 2.5 ○ 2.6 0.03 ○ 1.3 0.0 —					
B1	白色四形物	10 47 35 2.0 3.1 1.2	9.7 46 44 1.1 0.3 — — 1.8 0.0					

銅劍 (B1・B2・B3)

図版48



銅劍番号	B列5号	分類	III-1-②	全長	復	52.40cm	間隔	無	5.40cm									
先切方向	谷 奥	色調	5G 4/0	現有長	復	52.25cm	半下油	漆	1.71cm									
面	(A)尾 横	測定	谷	劍身長	復	50.45cm	突起の位置		18.90cm									
×印	(A)交 立	(B)	あ り	刀部長	復	31.50cm	刃部最細小の位置		16.56cm									
重量(含背頭)	— g	重量(含背頭)	406.0 g	制力長	平	5.45cm	制力刀端の位置	平	13.40cm									
A面脊峰(a)	1.30cm	B面脊峰(a)	1.27cm	茎長	長	1.95cm	最大幅の位置	長	10.50cm									
# (b)	1.34cm	# (b)	1.32cm	突起	幅	—cm	突起部脊厚	—cm	0.63cm									
# (c)	1.48cm	# (c)	1.35cm	制力最短幅	—cm	—cm	制力下端脊厚	—cm	0.72cm									
# (d)	1.48cm	# (d)	1.40cm	制力下端幅	—cm	—cm	最大幅(含脊厚)	—cm	0.77cm									
# (e)	1.70cm	# (e)	1.61cm	最大幅	—cm	6.65cm	開 門 齒 齿	厚	0.88cm									
特 徴	脊厚が無い。刃端部に凹み。 ×印明瞭。鉛掛けの抜けた穴が見られる。	遺存状態	III				最大幅(含鋸部厚)	—cm	0.26cm									
							開 門 齒 齿	厚	0.17cm									
前歴の如き	臨庇な劍身。脊部に研磨痕。						実測年月日	1994年5月13日										
鑄合部位比	206/204		207/206		208/206		発見者名	佐藤 敏子										
	17.728		0.8758		2.1611													
定量分析	Cu(%): 9.96	Sn(%): 7.92	Pb(%): 0.11	Ag(%): 0.56	Tl: 0.038	Bi(%):	Co(%): 0.13	Fe(%): 0.064	Mn(ppm): <1	Ni(%): 0.15	Sh(%): 0.53	Zn(ppm): <10						
	28.5																	
試 料	色 調	測定 条件 1 (%)					測定 条 件 2 (%)											
	Cu	Sn	Pb	Fe	Sb	Ag	Cu	Sn	Pb	Fe	As	Si	Al	K	Ca	Cl	S	その他の元素
新の光色X線	H-S	緑・茶・青	92	0.8	4.8	1.8	—	80	0.9	5.2	1.6	—	9.1	—	—	—	—	—



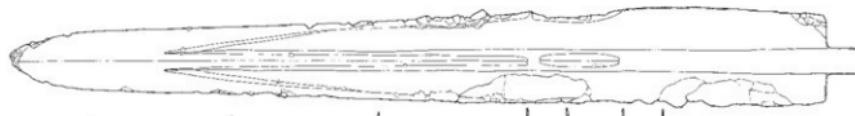
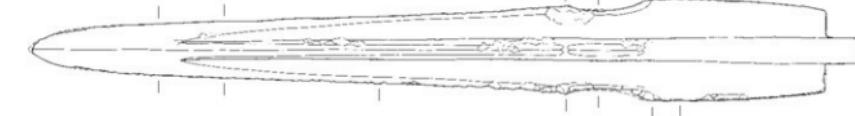
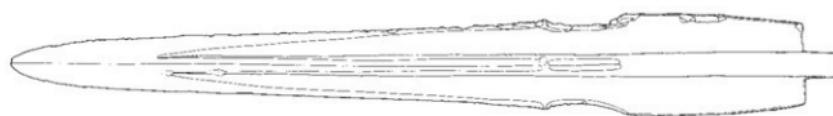
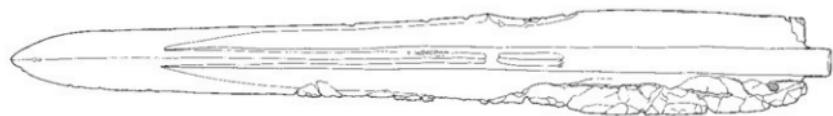
銅類番号	B列9号	分類	VI	全長	復	50.55cm	開	幅	復	5.50cm
切先方向	谷 奥	色調	5G 4/4	塊 有 長	復	50.40cm	基 下 端 幅	復		1.70cm
面	(A) 尾 棒	(B) 谷		劍 身 長	復	48.95cm	突 起 の 位 置			19.4cm
×印	(A) あ り	(B) な し		刀 部 長	復	29.50cm	剝 方 級 の 位 置			17.0cm
重量(合表前)	—g	重量(合表後)	384.0 g	剝 方 長		5.45cm	剝 方 下 端 の 位 置			13.95cm
A面脊輪(a)	1.25cm	B面脊輪(a)	1.32cm	素 長		1.60cm	最大幅の位置			11.00cm
" (b)	1.28cm	" (b)	1.39cm	突 起 幅	復	5.90cm	突 起 部 幅			0.70cm
" (c)	1.33cm	" (c)	1.43cm	剝 方 級 小 幅	復	5.20cm	剝 方 下 端 幅			0.75cm
" (d)	1.44cm	" (d)	1.46cm	剝 方 下 端 幅	復	6.10cm	最大幅部厚			0.77cm
" (e)	1.70cm	" (e)	1.64cm	最 大 幅	復	6.40cm	開 部 突 厚			0.97cm
特 徴	脊骨が薄い。突起の位置が高い。鋸掛けあり。	鑄造状態	II				最大幅部端部厚			0.12cm
	刃部が短い。全長がやや細め。	開端部厚	—cm							
修理中の如見	扁平で太底の系部。光部に正円に近い鋸掛けあり。幅広な剝方。						東洋年月日	1993年7月16日		
船同体比	206/204		207/206		208/206		実測者	佐藤 繁子		
	17.704		0.8770		2.1644					
定量分析	Cu(%) Sn(%) Pb(%) Ag(%) As(%) Bi(%) Co(%) Fe(%) Mn(ppm) Ni(%) Sb(%) Zn(ppm)									
81.6	5.65	6.72	0.13	0.54	0.048	0.061	0.071	<1	0.15	0.35
試 料	色 調	測 定 条 件 1 (%)		測 定 条 件 2 (%)						
Cu Sn Pb Fe Sb Ag	Cu Sn Pb Fe As Si Al K Ca Cl S その他									
鉛の電気X線	B9 茶・緑	66 5.7 21 6.8 0.1	59 7.1 27 5.8 0.0	6.8 0.8 —	— 0.8 0.0 —					

銅類番号	B列8号	分類	IV	全長	復	51.10cm	開	幅	4.91cm
切先方向	谷 口	色調	5G 3/0	塊 有 長	復	50.87cm	基 下 端 幅	復	1.49cm
面	(A) 尾 棒	(B) 谷		劍 身 長	復	48.98cm	突 起 の 位 置		15.93cm
×印	(A) な し	(B) な し		刀 部 長	復	33.05cm	剝 方 級 の 位 置		14.00cm
重量(合表前)	—g	重量(合表後)	485.0 g	剝 方 長	平	5.20cm	剝 方 下 端 の 位 置	平	10.75cm
A面脊輪(a)	1.33cm	B面脊輪(a)	1.33cm	素 長		2.12cm	最大幅の位置		9.00cm
" (b)	1.38cm	" (b)	1.33cm	突 起 幅		5.49cm	突 起 部 突 厚		0.96cm
" (c)	1.38cm	" (c)	1.37cm	剝 方 最 小 幅	復	4.90cm	剝 方 下 端 幅		1.02cm
" (d)	1.40cm	" (d)	1.39cm	剝 方 下 端 幅	復	6.25cm	剝 方 級 幅		1.00cm
" (e)	1.53cm	" (e)	1.52cm	最 大 幅	復	6.28cm	開 部 突 厚		1.08cm
特 徴	脊骨が厚い。突起の位置が低い。	鑄造状態	I				最大幅部端部厚		0.11cm
	刃部が長い。	開端部厚	—cm						0.08cm
修理中の如見	丸みのある背部。小振りの側約51cm。未付着?						実測年月日	1994年5月18日	
船同体比	206/204		207/206		208/206		実測者	佐藤 浩一	
	17.707		0.8771		2.1643				
定量分析	Cu(%) Sn(%) Pb(%) Ag(%) As(%) Bi(%) Co(%) Fe(%) Mn(ppm) Ni(%) Sb(%) Zn(ppm)								
		測 定 条 件 1 (%)		測 定 条 件 2 (%)					
試 料	色 調	Cu Sn Pb Fe Sb Ag	Cu Sn Pb Fe As Si Al K Ca Cl S その他						
鉛の電気X線	B8a 緑・茶・白	77 0.5 19 1.6 0.04 —	58 0.7 34 1.4 0.0 3.7 —	— × 1.0 0.0 —	— ○ 11 5.2 —				
	B8b 緑	82 0.3 11 1.2 0.02 —	44 0.0 11 0.7 0.0 11 1.0 —	— ○ 11 5.2 —					

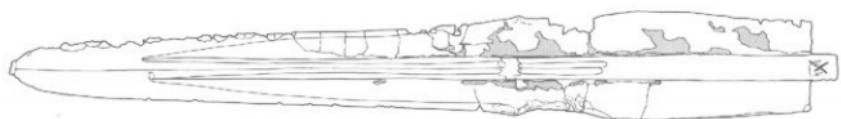
銅類番号	B列7号	分類	I - 1 - ③	全長	復	52.54cm	開	幅	補	5.55cm
切先方向	谷 奥	色調	5G 3/2	塊 有 長	復	52.38cm	基 下 端 幅	復		1.55cm
面	(A) 尾 棒	(B) 谷		劍 身 長	復	50.30cm	突 起 の 位 置			18.20cm
×印	(A) あ り	(B) な し		刀 部 長	復	32.10cm	剝 方 級 の 位 置			15.80cm
重量(合表前)	—g	重量(合表後)	386.0 g	剝 方 長	平	5.70cm	剝 方 下 端 の 位 置	平		12.50cm
A面脊輪(a)	1.23cm	B面脊輪(a)	1.28cm	素 長		2.24cm	最大幅の位置			10.00cm
" (b)	1.24cm	" (b)	1.33cm	突 起 幅		6.05cm	突 起 部 突 厚			0.76cm
" (c)	1.26cm	" (c)	1.34cm	剝 方 最 小 幅	復	5.30cm	剝 方 下 端 幅			0.81cm
" (d)	1.27cm	" (d)	1.36cm	剝 方 下 端 幅	復	6.20cm	最大幅部厚			0.81cm
" (e)	1.44cm	" (e)	1.46cm	最 大 幅	復	6.50cm	開 部 突 厚			0.92cm
特 徴	刃部が長め。鋸付近の橋が凹凸状で弱め。長い茎。	鑄造状態	II				最大幅部端部厚			0.12cm
		開端部厚	—cm							
修理中の如見	頗るな削身。側に貼面状の凹みあり。						実測年月日	1993年7月2日		
船同体比	206/204		207/206		208/206		実測者	吉田		
	17.775		0.8746		2.1608					
定量分析	Cu(%) Sn(%) Pb(%) Ag(%) As(%) Bi(%) Co(%) Fe(%) Mn(ppm) Ni(%) Sb(%) Zn(ppm)									
	83.8	4.45	7.06	0.11	0.47	0.037	9.19	0.58	<1	0.16 0.51 27
試 料	色 調	Cu Sn Pb Fe Sb Ag	Cu Sn Pb Fe As Si Al K Ca Cl S その他				測 定 条 件 1 (%)		測 定 条 件 2 (%)	
鉛の電気X線	B-7 茶	86 0.6 10 2.6 0.03	47 0.0 30 2.2 × 5.0 0.6 1.6 0.0 0.6 0.0 —							

銅劍 (B 7 · B 8 · B 9)

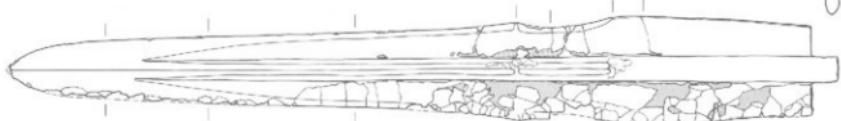
圖版50



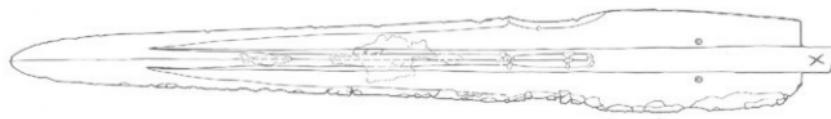




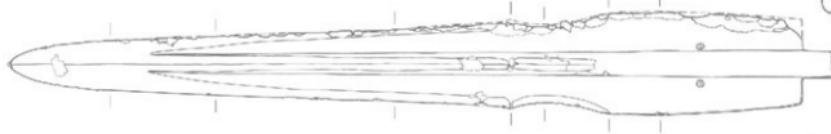
B 12



O



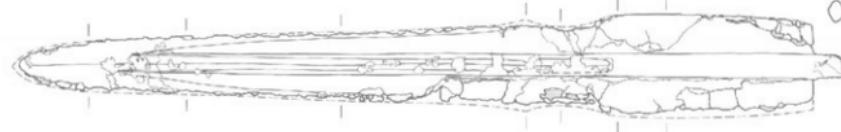
O



O



X

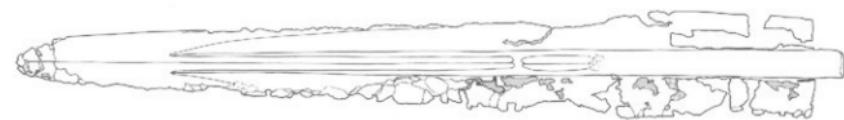


X

測定番号	B列15号	分類	IV	全長	幅	深	6.00mm
切先方向	谷 奥	色調	5GY 5/4	現存長	幅	深	1.70mm
面	(A) 尾 棒	(B) 谷		剝身長	幅	深	18.10mm
×印	(A) あり	(B) なし		刀部長	幅	深	
重量(含液量)	299.7 g	重量(含液量)	293.0 g	刀方長	幅	深	
A面脊輪(a)	1.44cm	B面脊輪(a)	1.47cm	茎 長	幅	深	
〃 (b)	1.49cm	〃 (b)	1.48cm	突 起 幅	幅	深	
〃 (c)	1.51cm	〃 (c)	1.50cm	剝方最小幅	幅	深	0.72mm
〃 (d)	1.56cm	〃 (d)	1.57cm	剝方下端幅	幅	深	0.77mm
〃 (e)	1.63cm	〃 (e)	1.65cm	最大幅	幅	深	0.92mm
特徴	脊厚が薄め。						
				遺存状態	IV		
修理中の知見	ル部は粒状に腐食、腐食性脊部。太短い茎部。						実測年月日 1993年9月3日 実測者 佐藤 勉子
始間位比	206/204	207/206		208/206			
	17.627						
定量分析	Cu(%) Sn(%) Pb(%) Ag(%) As(%) Bi(%) Co(%) Fe(%) Mn(ppm) Ni(%) Sb(%) Zn(ppm)						
試料	色調	測定条件1 (%)		測定条件2 (%)			
	Cu Sn Pb Fe Sb Ag Cu Sn Pb Fe As Si Al K Ca Cl S その他						
鉛の蛍光X線							

測定番号	B列14号	分類	I-1-(3)	全長	幅	深	5.10mm
切先方向	谷 口	色調	5GY 5/0	現存長	幅	深	3.47mm
面	(A) 尾 棒	(B) 谷		剝身長	幅	深	18.15mm
×印	(A) なし	(B) あり	9	刀部長	幅	深	16.25mm
重量(含液量)	403.7 g	重量(含液量)	390.0 g	剝方長	幅	深	12.78mm
A面脊輪(a)	1.55cm	B面脊輪(a)	1.46cm	茎 長	幅	深	10.25mm
〃 (b)	1.41cm	〃 (b)	1.48cm	突 起 幅	幅	深	0.82mm
〃 (c)	1.42cm	〃 (c)	1.51cm	剝方最小幅	幅	深	0.85mm
〃 (d)	1.41cm	〃 (d)	1.53cm	剝方下端幅	幅	深	0.84mm
〃 (e)	1.55cm	〃 (e)	1.61cm	最大幅	幅	深	0.92mm
特徴	茎がやや細かめで、漏斗の切削痕と思われるあとが残る。			遺存状態	III		
修理中の知見	ル部の調整良好。研磨底。						実測年月日 1994年3月19日 実測者 今津 まり子
始間位比	206/204	207/206		208/206			
	17.642						
定量分析	Cu(%) Sn(%) Pb(%) Ag(%) As(%) Bi(%) Co(%) Fe(%) Mn(ppm) Ni(%) Sb(%) Zn(ppm)						
試料	色調	測定条件1 (%)		測定条件2 (%)			
	Cu Sn Pb Fe Sb Ag Cu Sn Pb Fe As Si Al K Ca Cl S その他						
鉛の蛍光X線							

測定番号	B列13号	分類	IV	全長	幅	深	5.05mm
切先方向	谷 奥	色調	5GY 3/0	現存長	幅	深	1.34mm
面	(A) 尾 棒	(B) 谷		剝身長	幅	深	49.35mm
×印	(A) あり	(B) なし	II	刀部長	幅	深	48.03mm
重量(含液量)	387.4 g	重量(含液量)	379.0 g	剝方長	幅	深	32.00mm
A面脊輪(a)	1.34cm	B面脊輪(a)	1.28cm	茎 長	幅	深	5.45mm
〃 (b)	1.32cm	〃 (b)	1.32cm	突 起 幅	幅	深	2.32mm
〃 (c)	1.41cm	〃 (c)	1.28cm	剝方最小幅	幅	深	5.14mm
〃 (d)	1.41cm	〃 (d)	1.32cm	剝方下端幅	幅	深	4.90mm
〃 (e)	1.50cm	〃 (e)	1.50cm	最大幅	幅	深	6.00mm
特徴	脊厚が厚い、茎が抜かれた。突起の位置が低い。			遺存状態	III		
修理中の知見	全体的に暗灰色を呈する。全体に粉状で軟らかい。						実測年月日 1993年8月18日 実測者 佐藤 勉子
始間位比	206/204	207/206		208/206			
	17.701						
定量分析	Cu(%) Sn(%) Pb(%) Ag(%) As(%) Bi(%) Co(%) Fe(%) Mn(ppm) Ni(%) Sb(%) Zn(ppm)						
	82.6 2.85	8.03 0.11	0.56 0.036	0.22 1.0	<1	0.16 0.48	43
試料	色調	測定条件1 (%)		測定条件2 (%)			
	Cu Sn Pb Fe Sb Ag Cu Sn Pb Fe As Si Al K Ca Cl S その他						
鉛の蛍光X線							

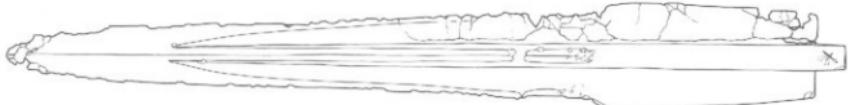


B 15



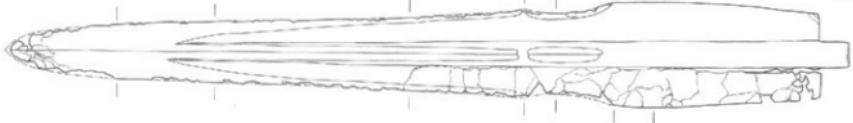
○

X



○

X



○

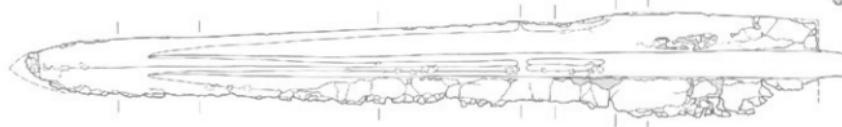
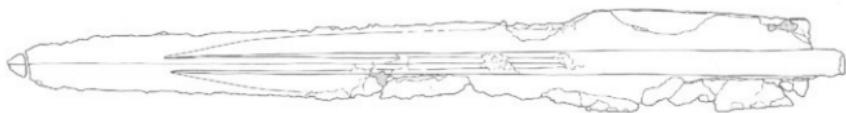


○

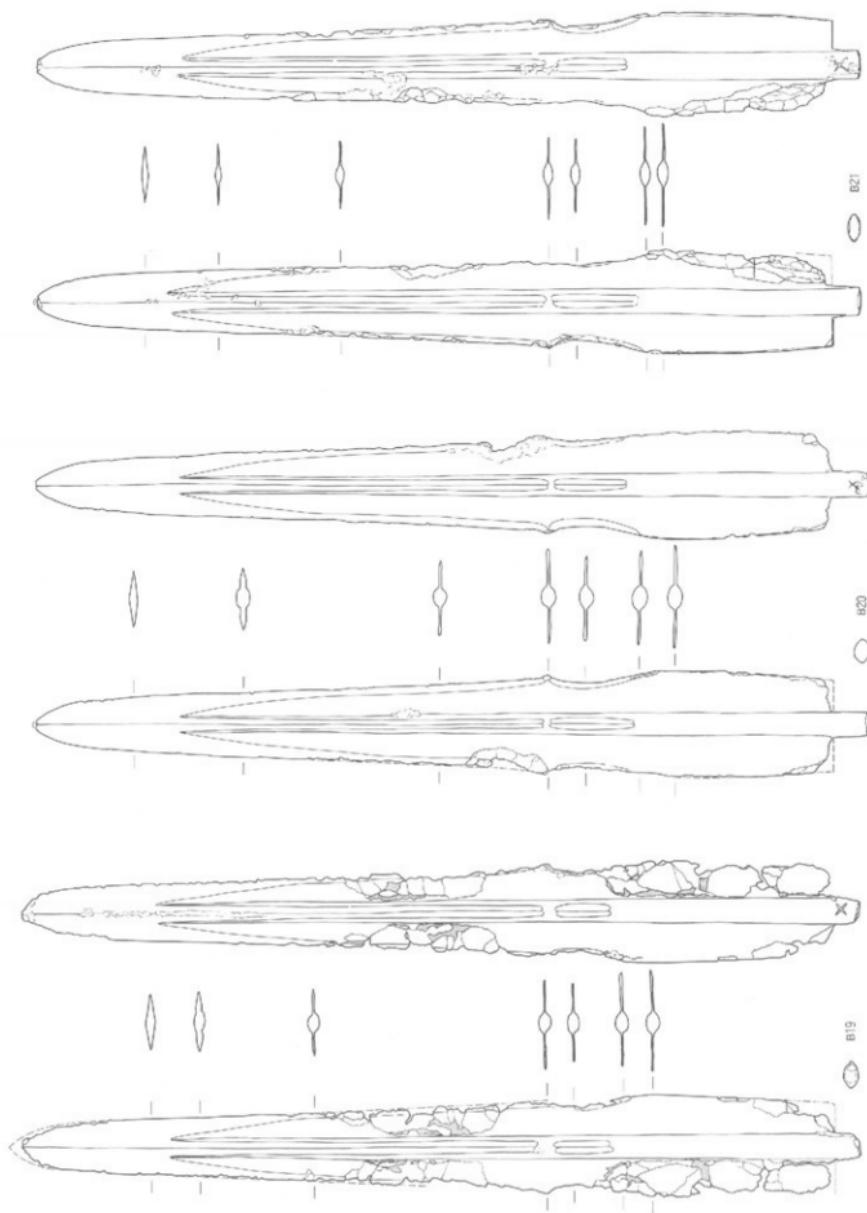
X







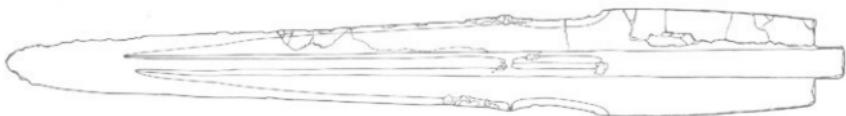




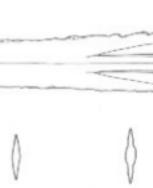
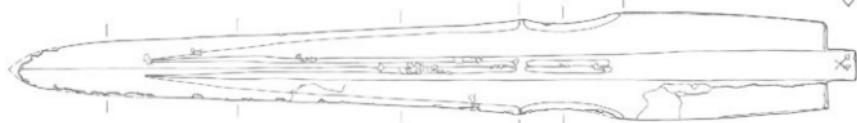
銅製番号	B列24号	分類	I-2-(1)	全長	復52.0cm	間下端幅	5.30cm
切先方向	谷 口	色調	5GY 4/0	現存長	51.40cm	差下端幅	1.83cm
面	(A) 尾 梢	(B) 谷		剝身長	復50.20cm	尖起の位置	平 18.775cm
×印	(A) あり	(B) なし		刀部長	推平31.425cm	剝方最小幅の位置	16.20cm
重量(含浸液)	420.5g	重量(含浸液)	411.0g	剝方長	推平6.275cm	剝方下端の位置	12.30cm
A面骨厚(a)	1.36cm	B面骨厚(a)	1.37cm	剝方反	1.80cm	最大幅の位置	10.70cm
" (b)	1.41cm	" (b)	1.44cm	尖起幅	5.80cm	尖起部脊厚	0.692cm
" (c)	1.49cm	" (c)	1.51cm	剝方最小幅	推5.30cm	剝方下端脊厚	0.765cm
" (d)	1.52cm	" (d)	1.53cm	剝方下端幅	6.60cm	最大幅各厚	0.79cm
" (e)	1.72cm	" (e)	1.69cm	最大幅	6.60cm	間部脊厚	0.92cm
特徴	脊等が金体にやや薄い。剝方が長め。	遺存状態	II			最大幅部端幅	0.15cm
	革が太め。					間端部厚	0.19cm
修理中の特見	鱗脚底、メタル充填量多い。茎端面縫チャーブ。					実測年月日	1994年5月24日
						実測者	金 沢まり子
鉛同位体比	206/204		207/206		208/206		
	18.030		0.8631		2.1424		
定量分析	Cu(%) Sn(%) Pb(%) Ag(%) As(%) Bi(%) Co(%) Fe(%) Mn(ppm) Ni(%) Sb(%) Zn(ppm)						
	78.6 8.97 8.70 0.13 0.41 0.031 0.093 0.16 <1 0.17 0.40 <10						
試料	色調	測定条件1 (%)		測定条件2 (%)			
	Cu Sn Pb Fe Sb Ag	Cu Sn Pb Fe As Si Al K Ca Cl S その他					
茎の蛍光X線							

銅製番号	B列23号	分類	—	全長	推51.30cm	間下端幅	5.20cm
切先方向	谷 奥	色調	5G 5/4	現存長	51.00cm	差下端幅	1.45cm
面	(A) 尾 梢	(B) 谷		剝身長	推49.20cm	尖起の位置	18.20cm
×印	(A) あり	(B) なし		刀部長	推31.00cm	剝方最小幅の位置	16.00cm
重量(含浸液)	441.8g	重量(含浸液)	425.0g	剝方反	5.20cm	剝方下端の位置	13.00cm
A面骨厚(a)	推1.42cm	B面骨厚(a)	推1.32cm	剝方長	2.30cm	最大幅の位置	10.00cm
" (b)	1.43cm	" (b)	1.34cm	尖起幅	—cm	尖起部脊厚	0.84cm
" (c)	1.38cm	" (c)	1.35cm	剝方最小幅	—cm	剝方下端脊厚	0.865cm
" (d)	1.40cm	" (d)	1.42cm	剝方下端幅	—cm	最大幅各厚	0.88cm
" (e)	1.53cm	" (e)	1.44cm	最大幅	—cm	間部脊厚	1.15cm
特徴	脊の先端部、郡取りやすい。	遺存状態	IV			最大幅部端幅	—cm
						間端部厚	0.10cm
修理中の特見	脊部分に發状の小さき穴(巻)?。					実測年月日	1994年5月20日
						実測者	木 島 いすみ
鉛同位体比	206/204		207/206		208/206		
	17.502		0.8832		2.1759		
定量分析	Cu(%) Sn(%) Pb(%) Ag(%) As(%) Bi(%) Co(%) Fe(%) Mn(ppm) Ni(%) Sb(%) Zn(ppm)						
試料	色調	測定条件1 (%)		測定条件2 (%)			
	Cu Sn Pb Fe Sb Ag	Cu Sn Pb Fe As Si Al K Ca Cl S その他					
茎の蛍光X線							

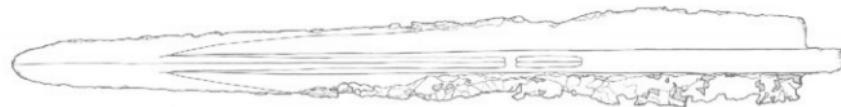
銅製番号	B列22号	分類	I-2-(2)	全長	推51.80cm	間下端幅	5.60cm
切先方向	谷 口	色調	5GY 4/4	現存長	51.40cm	差下端幅	1.80cm
面	(A) 尾 梢	(B) 谷		剝身長	推50.62cm	尖起の位置	18.10cm
×印	(A) あり	(B) なし		刀部長	推31.90cm	剝方最小幅の位置	16.00cm
重量(含浸液)	—g	重量(含浸液)	424.0g	剝方長	推6.60cm	剝方下端の位置	推11.50cm
A面骨厚(a)	1.46cm	B面骨厚(a)	1.50cm	尖起長	1.78cm	最大幅の位置	10.00cm
" (b)	1.45cm	" (b)	1.51cm	尖起幅	推5.70cm	尖起部脊厚	0.79cm
" (c)	1.50cm	" (c)	1.54cm	剝方最小幅	復5.30cm	剝方下端脊厚	0.80cm
" (d)	1.51cm	" (d)	1.55cm	剝方下端幅	推6.50cm	最大幅各厚	0.80cm
" (e)	1.65cm	" (c)	1.67cm	最大幅	6.50cm	間部脊厚	0.90cm
特徴	刀部や長い、やや粗広な劍身。	遺存状態	III			最大幅部端幅	0.16cm
	剝方が長い、横に匙面状に凹みあり。					間端部厚	—cm
修理中の特見	元部の調整良好であるが、鶴形のズレの痕跡が残る。太短い茎。					実測年月日	1993年11月17日
						実測者	佐藤 緑子
鉛同位体比	206/204		207/206		208/206		
	17.644		0.8838		2.1808		
定量分析	Cu(%) Sn(%) Pb(%) Ag(%) As(%) Bi(%) Co(%) Fe(%) Mn(ppm) Ni(%) Sb(%) Zn(ppm)						
試料	色調	測定条件1 (%)		測定条件2 (%)			
	Cu Sn Pb Fe Sb Ag	Cu Sn Pb Fe As Si Al K Ca Cl S その他					
茎の蛍光X線							



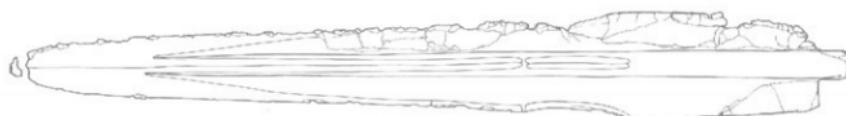
B 24



B 23



B 22



B 22

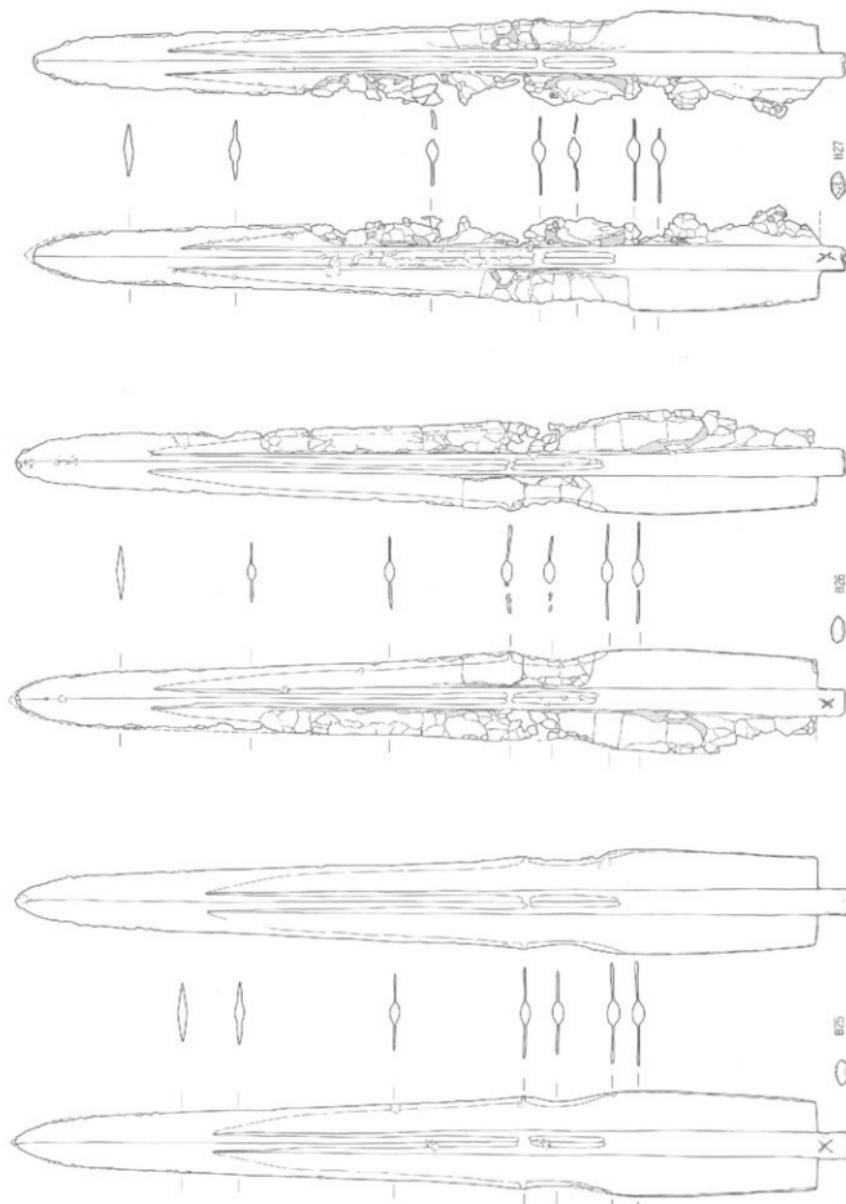


B 22

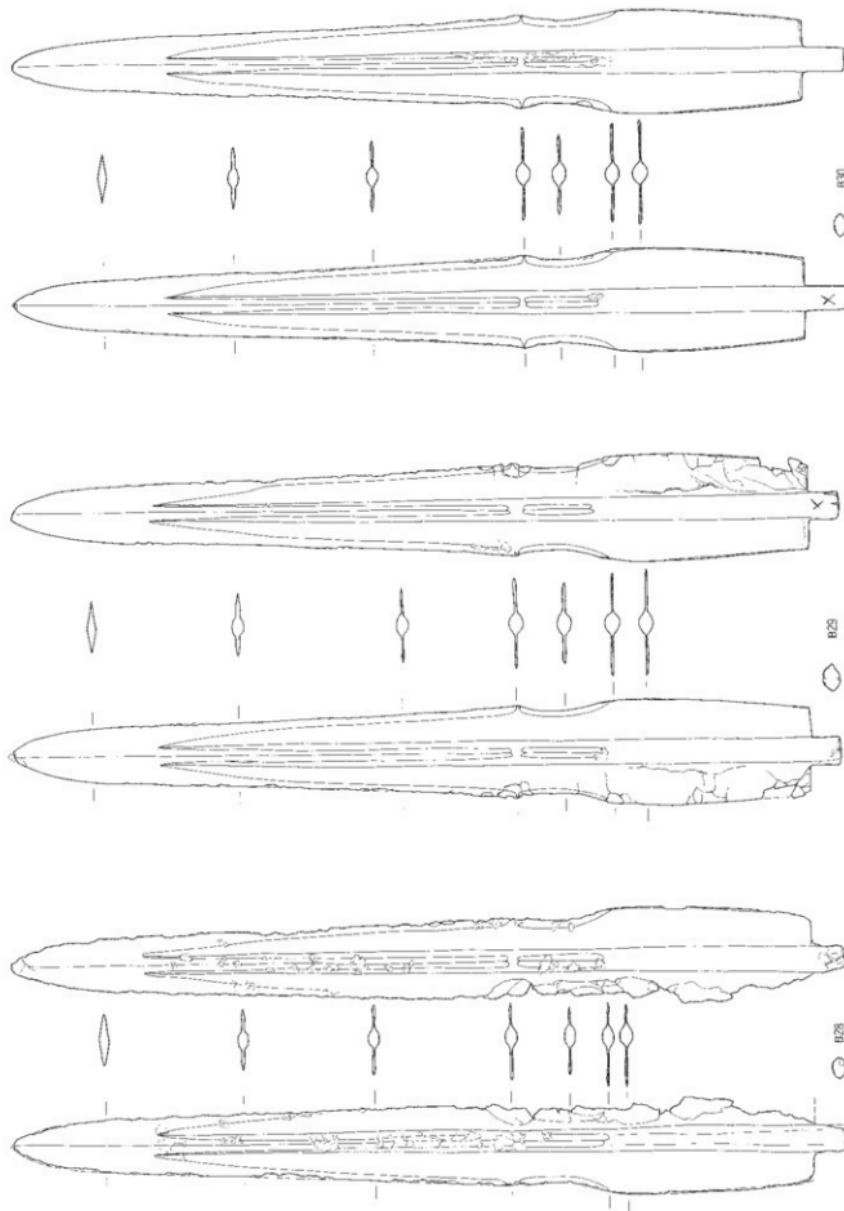
銅剣番号	B列27号	分類	—	全長	推 50.40cm	開	幅	推 4.95cm
切先方向	谷 奥	色調	5G 5/4	現 在 長	49.86cm	基 下 端 幅	推	1.56cm
面	(A) 尾 條	(B) 谷		側 身 長	推 48.70cm	突 起 の 位 置	平	17.16cm
×印	(A) あ り	(B) な し		刀 部 長	推 31.60cm	剣方最小幅の位置	推	14.80cm
重量(含液量)	378.5 g	重量(含液後)	367.0 g	剣 方 長	推 3.80cm	剣方下端の位置	推	11.30cm
A面脊輪(a)	1.33cm	B面脊輪(a)	1.31cm	茎 長	推 1.70cm	最大幅の位置	推	9.80cm
" (b)	1.36cm	" (b)	1.35cm	突 起 幅	—cm	突起部脊厚	推	0.78cm
" (c)	1.39cm	" (c)	1.40cm	剣方最小幅	—cm	剣方下端脊厚	推	0.83cm
" (d)	1.40cm	" (d)	1.42cm	剣方下端幅	—cm	最大幅部脊厚	推	0.83cm
" (e)	1.48cm	" (e)	1.49cm	最 大 幅	—cm	開 部 脊 厚	推	1.01cm
特 徴	突起の位置が低め、茎が短い。A・B面とも横先端での遺存状態			IV		最大幅部頭厚	推	0.11cm
株査中の知見	脊輪の立ち上がりが少し。					開 端 部 厚	推	0.15cm
鉛同位体比	206/204 17.441	207/206 0.8879	208/206 2.1781			実測年月日	1993年4月7日	
定量分析	Cu(%) Sn(%) Pb(%) Ag(%) As(%) Bi(%) Co(%) Fe(%) Mn(ppm) Ni(%) Sb(%) Zn(ppm)					実測者	吉田 広	
試 料	色 調	測 定 条 件 1 (%)		測 定 条 件 2 (%)				
		Cu Sn Pb Fe Sb Ag		Cu Sn Pb Fe As Si Al K Ca Cl S その他				
株査中の知見								

銅剣番号	B列26号	分類	I - 1 - ①	全長	復 51.30cm	開	幅	推 5.25cm
切先方向	谷 口	色調	5G 5/2	現 在 長	推 50.94cm	基 下 端 幅	推	1.63cm
面	(A) 尾 條	(B) 谷		側 身 長	推 49.55cm	突 起 の 位 置	平	18.90cm
×印	(A) あ り	(B) な し		刀 部 長	推 30.70cm	剣方最小幅の位置	復	16.25cm
重量(含液量)	— g	重量(含液後)	331.0 g	剣 方 長	推 6.00cm	剣方下端の位置	推	12.85cm
A面脊輪(a)	復1.30cm	B面脊輪(a)	1.28cm	茎 長	推 1.75cm	最大幅の位置	推	10.85cm
" (b)	1.33cm	" (b)	1.34cm	突 起 幅	—cm	突起部脊厚	推	0.64cm
" (c)	1.39cm	" (c)	1.37cm	剣方最小幅	推 4.80cm	剣方下端幅	推	0.66cm
" (d)	1.41cm	" (d)	1.42cm	剣方下端幅	推 5.90cm	最大幅部脊厚	推	0.68cm
" (e)	1.54cm	" (e)	1.68cm	最 大 幅	推 6.28cm	開 部 脊 厚	推	0.82cm
特 徴	脊輪が薄い。 茎が短い。			遺存状態	III	最大幅部頭厚	推	0.19cm
株査中の知見	茎が短い。 跡掛けあり。					開 端 部 厚	推	0.22cm
鉛同位体比	206/204 17.716	207/206 0.8768	208/206 2.1640			実測年月日	1993年4月5日	
定量分析	Cu(%) Sn(%) Pb(%) Ag(%) As(%) Bi(%) Co(%) Fe(%) Mn(ppm) Ni(%) Sb(%) Zn(ppm)					実測者	吉田 広	
試 料	色 調	測 定 条 件 1 (%)		測 定 条 件 2 (%)				
		Cu Sn Pb Fe Sb Ag		Cu Sn Pb Fe As Si Al K Ca Cl S その他				
株査中の知見	やや肩平な茎部、鋒部に裏あり。元部の調整良好。							

銅剣番号	B列25号	分類	I - 2 - ①	全長	復 51.45cm	開	幅	推 5.50cm
切先方向	谷 奥	色調	5G 4/0	現 在 長	推 51.20cm	基 下 端 幅	推	1.60cm
面	(A) 尾 條	(B) 谷		側 身 長	推 49.53cm	突 起 の 位 置	平	18.00cm
×印	(A) あ り	(B) な し		刀 部 長	復 31.50cm	剣方最小幅の位置	推	16.00cm
重量(含液量)	420.1 g	重量(含液後)	407.0 g	剣 方 長	推 6.10cm	剣方下端の位置	平	11.90cm
A面脊輪(a)	1.44cm	B面脊輪(a)	1.38cm	茎 長	推 1.92cm	最大幅の位置	推	11.00cm
" (b)	1.42cm	" (b)	1.41cm	突 起 幅	推 5.71cm	突起部脊厚	推	0.67cm
" (c)	1.49cm	" (c)	1.50cm	剣方最小幅	推 5.25cm	剣方下端脊厚	推	0.73cm
" (d)	1.46cm	" (d)	1.50cm	剣方下端幅	推 6.42cm	最大幅部脊厚	推	0.73cm
" (e)	1.56cm	" (e)	1.60cm	最 大 幅	推 6.50cm	開 部 脊 厚	推	0.87cm
特 徴	脊輪が奥い。鍔型のズレが美しい。 全体に錆が不明瞭で実先も未完成。			遺存状態	I	最大幅部頭厚	推	0.16cm
株査中の知見	やや幅広な劍身。全面に朱が付箋。刀部の研ぎ出し未調整、粗い研磨痕。					開 端 部 厚	推	0.15cm
鉛同位体比	206/204 17.750	207/206 0.8755	208/206 2.1641			実測年月日	1994年5月31日	
定量分析	Cu(%) Sn(%) Pb(%) Ag(%) As(%) Bi(%) Co(%) Fe(%) Mn(ppm) Ni(%) Sb(%) Zn(ppm)					実測者	佐藤 緑子	
試 料	色 調	測 定 条 件 1 (%)		測 定 条 件 2 (%)				
		Cu Sn Pb Fe Sb Ag		Cu Sn Pb Fe As Si Al K Ca Cl S その他				
株査中の知見	やや幅広な劍身。全面に朱が付箋。刀部の研ぎ出し未調整、粗い研磨痕。							

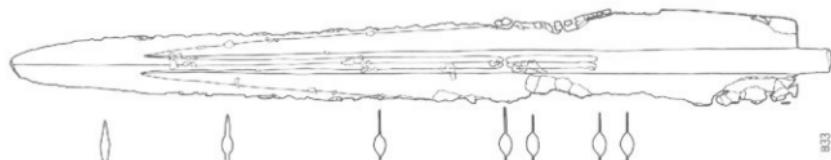






調査番号	B列33号	分類	I-1-②	全長	後	50.90cm	開	幅	4.80cm
初先方向	谷 奥	色調	5G 5/4	現存	後	50.38cm	茎下端	幅	1.47cm
面	(A) 尾根	(B)	谷	刺身	長	48.80cm	突起の位置		17.90cm
×(D)	(A) あ	(B)	谷	刀部	長	50.90cm	刺身最小の幅	無	16.20cm
重さ(公称)	413.9 g	重量(全重量)	404.0 g	刺身	長	5.70cm	刀部下端の位置	無	12.20cm
A面輪郭(a)	1.40cm	B面輪郭(a)	1.38cm	基	長	2.10cm	最大幅の位置	無	19.50cm
π (b)	1.42cm	π (a)	1.38cm	刺	短	5.55cm	次起部骨突		0.81cm
π (c)	1.46cm	π (c)	1.41cm	刺	短	4.90cm	刃下端骨突		0.84cm
π (d)	1.49cm	π (d)	1.45cm	刃下端	短	6.25cm	坂大彎部有刺		0.88cm
π (e)	1.53cm	π (e)	1.54cm	大	短	6.75cm	閉	開存	0.95cm
骨	茎が細め。			造有状態	III		前部端部厚		0.10cm
茎				開	幅		幅	感度	0.10cm

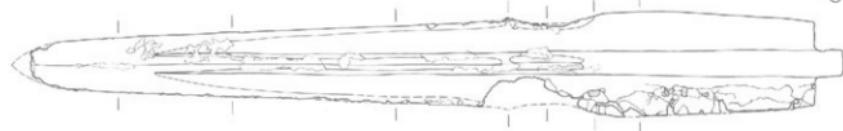
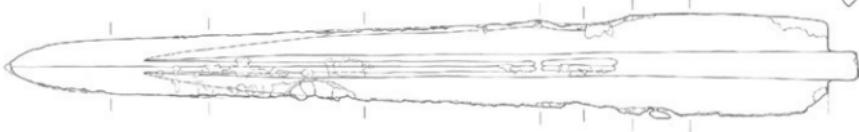
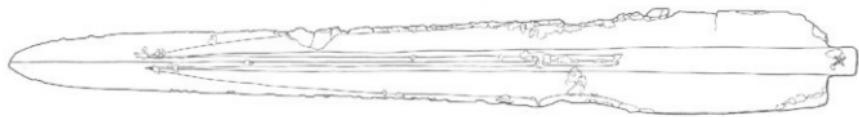
修理中の知見 刀部の腐食著しい



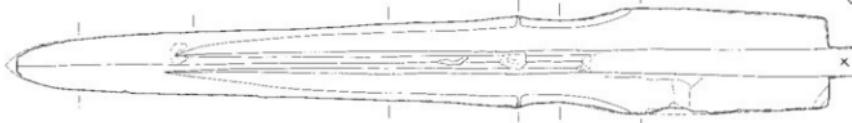
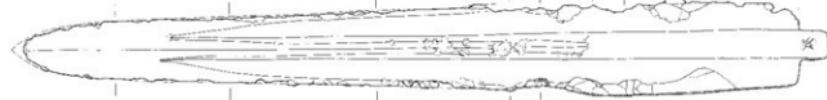
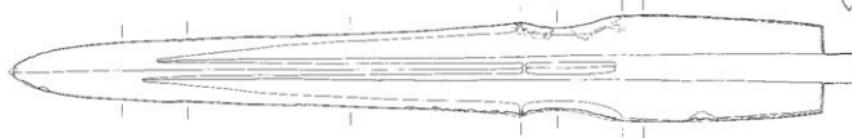
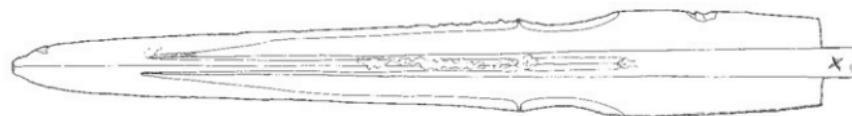
B 33

B 32

B 31







銅 剑 手	B列37号	分類	全 長	推	52.05cm	圓	鈍	—cm										
切先 方向	合 美	色 調	5G 6/4	規	春 長	51.58cm	下 端	幅										
面	(A) 尾 横	(D) 谷		劍	身 長	50.20cm	次 右	位 置										
重量(含鉛)	465.0g	重量(含鉛)	391.0 g	刀 部	長	33.00cm	何方義小毎の位置	推										
A面 銘文(a)	1.34cm	B面 銘文(a)	1.34cm	劍	方	推	刀口下端の位置	推										
" (b)	1.35cm	" (b)	1.35cm	劍	長	4.70cm	刀口下端の位置	推										
" (c)	1.42cm	" (c)	1.39cm	突 起	鈍	—cm	最大幅の位置	推										
" (d)	1.48cm	" (d)	1.52cm	劍口下端	厚	—cm	刀口下端厚	0.83cm										
" (e)	1.50cm	" (e)	1.53cm	最 大	鈍	—cm	最大幅部厚	0.88cm										
特 徴	劍が短い。突起の位置が低め。 刀幅が長い。	造存状態	III	同 部	厚	—cm	同 部 頂 部	0.90cm										
各部位の寸法	表面がクレーラー状に崩す。刃部の腐食が多い。			同 部	底 部	—cm	最大幅部底部分	—cm										
和同位体比	206/204	207/206		同 部	薄 底	—cm	同 部 薄 底	—cm										
定 妥 分 析	17.685	0.8785	208/206															
	Cu (%)	Sn (%)	Pb (%)	Ag (%)	As (%)	Bi (%)	Co (%)	Fe (%)	Mn (ppm)	Ni (%)	Sb (%)	Zn (ppm)						
試 料	色 調	測 定 条 件 1 (%)		測 定 条 件 2 (%)														
銅の蛍光X線	Cu	Sn	Pb	Fe	Sb	Ag	Cu	Sn	Pb	Fe	As	Si	Al	K	Ca	Cl	S	その他の

銅剣 (B 37・B 38・B 39)

図版60

